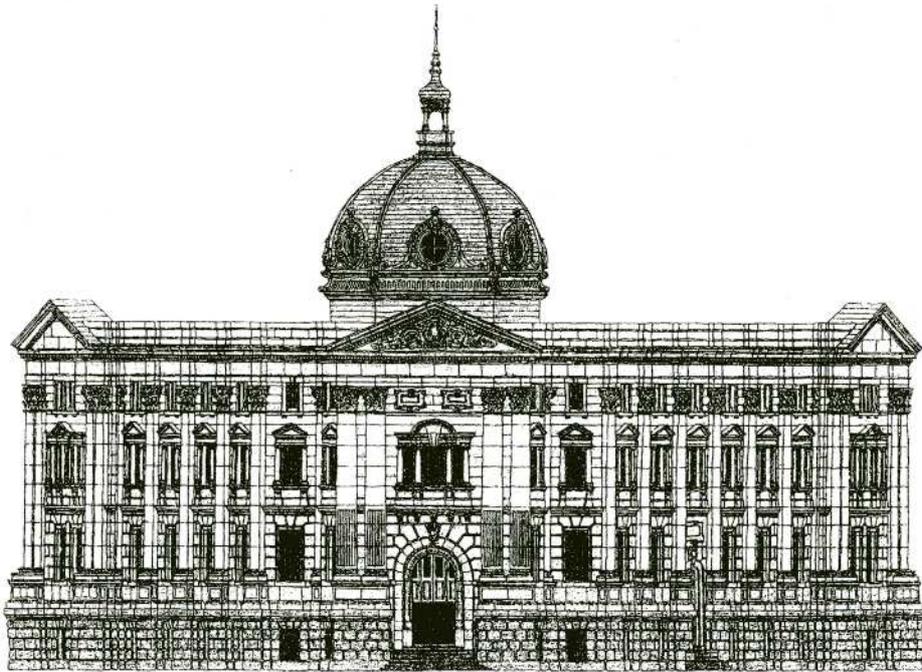


神奈川県立歴史博物館年報

平成26年度



神奈川県立歴史博物館

2015年

はじめに

平成 26 年度の広報活動は、営業部長 2 年目の「パンチの守」の活動域を拡大し、ファミリーコミュニケーションフェスティバルで、象の鼻パークに出張したのをはじめ、クイズラリーPR では、参加館 8 館に出張して広報に努めました。

展示活動では、常設展のほかに特別展 3 回、特別陳列とコレクション展各 1 回を開催しました。特別展「クリスチャン・ポラックコレクション 繭と鋼 神奈川とフランスの交流史」は、明治大学クリスチャン・ポラックコレクションから、日仏の国交開始後の絹貿易の様子、横浜に在住した仏人、製鉄所、造船所の地横須賀、保養地鎌倉、箱根の様子をラベル、絵葉書、スナップ写真等から、当時の神奈川の活気を推し量る展示としました。特別展「白絵 祈りと寿ぎのかたち」では、平安時代から江戸時代の、出産、成長、婚礼といった人生の節目に深くかかわる「白絵」の表現、変化に注目し、人々の意識の奥底に受け継がれた、祈りと寿ぎの美の有り様を考える展示としました。特別展「陸にあがった海軍 連合艦隊司令部日吉地下壕からみた太平洋戦争」では、太平洋戦争末期の連合艦隊司令部のあった日吉地下壕から発掘された遺物、残されていた手紙等から、地下壕に関する最新の調査研究成果をご紹介する展示としました。特別陳列「開催 50 周年記念 よみがえる東京オリンピック」は 50 年前（1964 年）の東京オリンピックの金メダルや記念貨幣、聖火リレーのトーチや五輪旗など約 200 点を展示しました。コレクション展「庶民の祈り 御札・御守コレクション」では、本館所蔵の御札・御守と、保存のための札箱などを紹介し、庶民の祈りをみえました。

このほかに、平成 26 年度かながわの遺跡展「発掘された御仏と仏具」を神奈川県教育委員会と共催し、考古学の視点から民間信仰を含めた古代・中世の仏教信仰について探る遺跡展を開催しました。

また、学芸員の研究活動の成果を『研究報告』などにより公開するとともに、講座の開催や学校連携を中心とした学習支援活動、さらには、子ども博物館教室、夏の恒例行事である「ミュージアム・クイズラリーよこはま」、7 年目を迎えた「ミュージアムコンサート」など、多彩な教育普及活動に取り組み、ホームページについても内容の充実につとめました。

なお、様々な場面で、展示解説などについてご協力いただいているボランティアの方々に例年のとおりご活躍いただきました。

当館の活動に対して頂戴した展示や教育普及活動などについての貴重なご意見を参考に、今後もより一層、皆様の期待に応えられるよう心がけてまいります。

神奈川県立歴史博物館

目次

はじめに

目次

1 沿革・理念

- (1) 沿革…………… 3
- (2) 神奈川県立歴史博物館の理念…………… 4

2 管理運営

- (1) 組織…………… 5
 - ア 組織及び分掌
 - イ 職員名簿
- (2) 歳入・歳出…………… 6
 - ア 歳入
 - イ 歳出
- (3) 入館者状況…………… 6
 - ア 入館者数
 - イ 有料入館者内訳
 - ウ 無料入館者内訳
 - エ 特別展の入館者状況
- (4) 広報・広聴…………… 8
 - ア 広報実績
 - イ 「県博フレンズ」会議の開催

- (5) 施設概要…………… 8
 - ア 概要
 - イ 館内施設
 - ウ 外部協力
 - エ 平面図

3 調査・研究

- (1) 館独自の研究事業費によるもの…………… 13
 - ア 総合研究
 - イ 個別研究
 - ウ グループ研究
 - エ 調査研究成果報告会
- (2) 日本学術振興会科学研究費助成事業によるもの…………… 14
- (3) 個人研究活動…………… 16
 - ア 研究報告書
 - イ 個人研究活動

4 資料収集・修理・保管・利用

- (1) 考古資料…………… 23
- (2) 歴史資料…………… 24
- (3) 美術資料…………… 27
- (4) 民俗資料…………… 32
- (5) 写真資料…………… 33
- (6) 資料の燻蒸等…………… 33
- (7) その他の資料…………… 33
 - ア 図書
 - イ 映像
 - ウ 写真
 - エ 情報システム

5 展示・教育普及・学習支援

- (1) 常設展…………… 37
- (2) 特別展…………… 37
- (3) コレクション展…………… 51
- (4) その他の展示…………… 53
- (5) 学習支援事業…………… 68
 - ア 講座
 - イ 特別展記念講演会等行事
 - ウ 学芸員による展示解説
 - エ ミュージアムトーク
 - オ その他の行事
 - カ 子ども・青少年向け教育普及事業
 - キ 学校連携事業の状況

- (6) ミュージアムライブラリー…………… 78
- (7) 普及印刷物…………… 79

- ア 図録
- イ 広報印刷物
- ウ 神奈川県立歴史博物館だより

- (8) ボランティアの活動…………… 79
 - ア 活動状況及び実績
 - イ 博物館入門講座
 - ウ 専門研修
 - エ その他の研修

- (9) 博物館実習生の受け入れ…………… 81
 - ア 見学実習
 - イ 実務実習

6 資料

- (1) 条例・規則…………… 84
 - ア 神奈川県立の博物館条例
 - イ 神奈川県立の博物館組織規則
 - ウ 神奈川県立の博物館の利用等に関する規則
- (2) 利用案内…………… 88

1 沿革・理念

(1) 沿革

- 昭和 38 年 6 月 教育庁に博物館準備事務室を設置
- 昭和 41 年 11 月 神奈川県立博物館条例の制定により、神奈川県立博物館を設置
神奈川県立博物館組織規則の制定により、庶務部、学芸部の 2 部を置く
- 昭和 42 年 3 月 神奈川県立博物館開館
- 4 月 附属機関の設置に関する条例の一部改正により神奈川県博物館協議会を設置(委員 20 名)
- 6 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、庶務部に庶務課、経理課の 2 課を置く
- 昭和 43 年 4 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部に学芸課、人文課、自然課の 3 課を置く
- 昭和 44 年 3 月 旧館である旧横浜正金銀行本店が国の重要文化財に指定される
- 昭和 44 年 7 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、庶務部を管理部に、庶務課を管理課に名称変更
- 昭和 47 年 8 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部の各課の名称を廃し、企画調整課、学芸第一課、学芸第二課及び学芸第三課の 4 課を置く
- 昭和 49 年 8 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、管理部に施設保全課を置く
- 昭和 52 年 5 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部の各課を廃止
- 昭和 53 年 9 月 文部省学術研究機関の指定を受ける
- 昭和 55 年 2 月 入館者数 100 万人達成
- 昭和 62 年 4 月 第 2 次新神奈川計画の重点政策「文化施設 21 世紀構想」の一環として、博物館再編整備事業策定
- 昭和 63 年 12 月 神奈川県立博物館整備構想懇談会が「神奈川県立博物館整備構想に関する提言 - 自然系博物館・人文系博物館の基本的な考え方 - 」を提出
- 平成 2 年 3 月 人文系博物館の整備計画・展示計画策定
- 平成 3 年 3 月 博物館総合情報システム整備計画、資料収集計画を策定
- 平成 4 年 3 月 展示基本設計
- 平成 5 年 3 月 改修工事基本・実施設計、展示工事実施設計
- 4 月 県立博物館休館(～7 年 3 月)
- 10 月 改修工事及び展示工事開始
- 平成 6 年 11 月 改修工事終了
- 平成 7 年 1 月 神奈川県立博物館条例改正に伴い「神奈川県立博物館」は「神奈川県立歴史博物館」と名称変更、神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、企画情報部に企画普及課及び情報資料課の 1 部 2 課を置き、管理部の施設保全課を廃止
- 3 月 展示工事終了、博物館情報システムの一部稼働開始
神奈川県立歴史博物館開館(18 日)
- 6 月 国の史跡に指定される
- 平成 9 年 7 月 博物館ボランティアが活動を開始
- 平成 11 年 2 月 金銅装笈・椿彫木朱漆笈・清拙正澄墨跡・石室善玖墨跡・源頼朝袖判下文・源頼家袖判下文が県の重要文化財に指定される
神奈川の職人の道具(17 職種 1,982 点)が県の有形民俗文化財に指定される
- 平成 11 年 4 月 重要文化財の公開承認施設として文化庁から承認される
- 平成 13 年 1 月 三浦市間口洞窟遺跡出土品(450 点)が県の重要文化財に指定される
- 平成 13 年 3 月 附属機関の設置に関する条例の一部改正により、神奈川県博物館協議会を廃止
- 平成 18 年 4 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、管理部管理課と経理課を統合し管理課に改め、企画情報部企画普及課、情報資料課及び学芸部の 2 部 3 課となる
- 平成 19 年 11 月 旧館である旧横浜正金銀行本店が、経済産業省により近代化産業遺産(横浜港周辺の関連建築物群)に認定される
- 平成 21 年 8 月 入館者数 200 万人達成

(2) 神奈川県立歴史博物館の理念

神奈川県立歴史博物館の前身は昭和42年開館の神奈川県立博物館である。昭和62年から自然系と人文系が分離分館する再編整備の検討が行なわれ、平成7年のリニューアル開館に至るまで、3回にわたって博物館活動の理念やテーマが検討・提案された。

ア 昭和63年12月、神奈川県立博物館整備構想懇談会から提出された「神奈川県立博物館整備構想に関する提言 - 自然系博物館・人文系博物館の基本的な考え方 - 」(以下「提言」という。)

イ 平成2年3月に策定された「神奈川県立人文系博物館(仮称)整備計画」(以下「整備計画」という。)

ウ 平成7年3月の再編整備時に作られた「神奈川県立歴史博物館概要説明」(以下「概要」という。)

ア 「提言」における活動理念・テーマ

(ア) 人文系博物館の「意義」(「提言」を要約、抜粋)

- a 文化の視点からの未来の探求
- b 考古、歴史、美術、民俗等を統合化した新しい文化史の創造
- c 歴史的、文化的特色による神奈川のアイデンティティーの探求
- d 振幅の大きな神奈川の歴史にみる人々の生き方の探求
- e 神奈川の文化と内外の文化との交流や相互関係の探求
- f 文化史的意義のある資料の集積と後世への継承

(イ) 「基本テーマ」等の設定

a 基本テーマ：「文化の交流と変容」

上記の意義を踏まえ、また、神奈川の文化と歴史を専門的かつ学際的な観点から総合的にとらえる唯一の博物館として活動していくため、基本テーマが設定された。

b サブテーマ：「神奈川の文化と歴史を考える」「日本・世界の神奈川を考える」

空間的、時間的な広がりのある視点や、先人から受け継がれた地域の固有性をとらえる視点に立って2つのサブテーマが設定された。

c 展開の視点

これらの基本テーマ、サブテーマを、展示をはじめとした様々な博物館活動に反映させるため、次のような展開の視点が設けられた。

[継承] 各時代の文化と時代を超えて継承される文化を歴史の流れの中でとらえる

[交流] 他の国や他の地域との文化交流を空間的、時間的広がりの中でとらえる

[変容] 文化の変容をダイナミックにとらえる

[風土] 文化の特色を地域風土を通してとらえる

イ 「整備計画」における活動理念・テーマ

上記「提言」を受け、平成2年に「整備計画」が策定され、再編整備の具体的な内容がまとめられたが、「提言」における博物館の意義、性格、基本テーマなどは、歴史博物館のあるべき姿を示す目標・指針として継承されることとなった。

ウ 「概要」における活動理念・テーマ

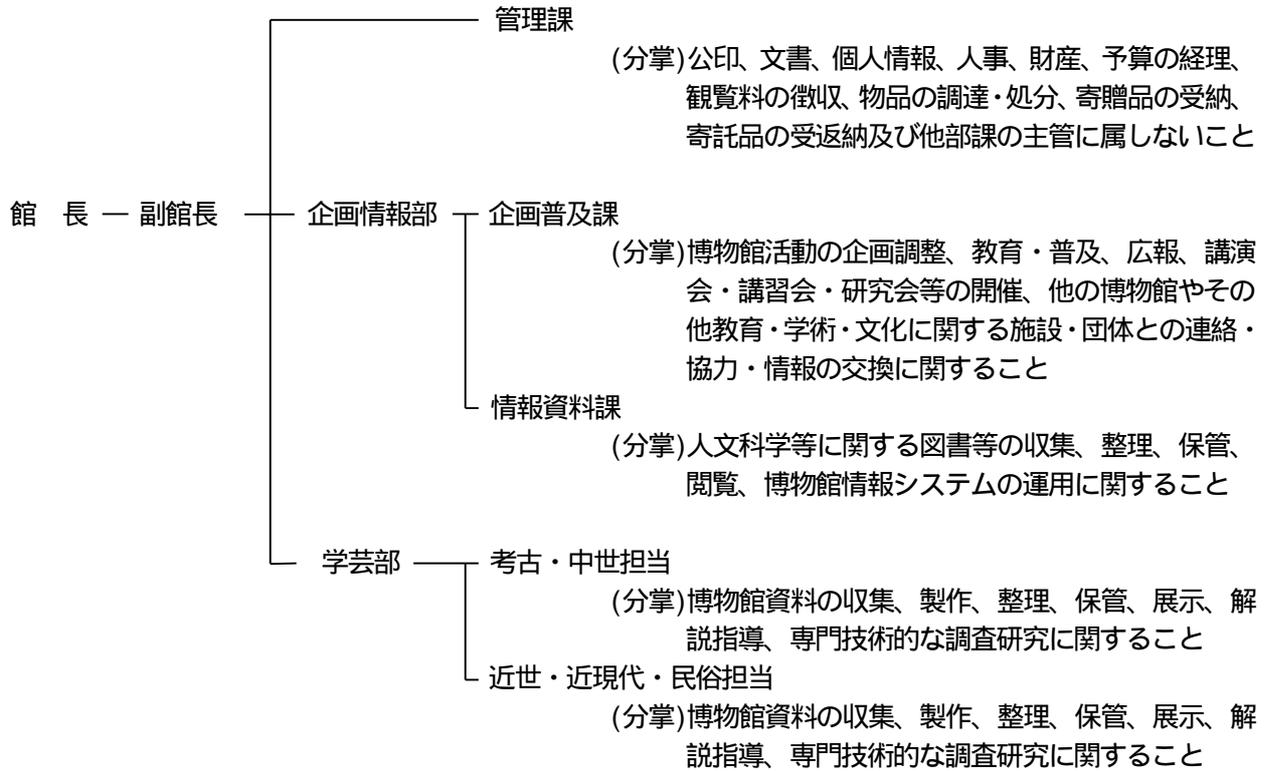
平成7年のリニューアル開館に際して作成された「概要」では、当館を「かながわの文化と歴史」を総合的に扱う博物館と位置付けて博物館活動の基本テーマとし、展示テーマを「文化の交流と変容」とすることが示された。

2 管理運営

(1) 組織

(平成26年4月1日現在)

ア 組織及び分掌



イ 職員名簿

館長(技術)	薄井 和男	専門員(司書)	山中 潤
副館長	竹内 廣一	専門員(事務)	岩田 正明
管理課長	小山田 明	非常勤事務補助員	柳生 真弓
管理課 副主幹	樋渡 功	〃	斎藤 由樹
主査(事務)	細山 富幸	〃	鈴木 敏子
〃	中山 聖枝	非常勤資料整理員	檜皮 千穂
主事	奥田 春菜	〃	浅井 真里子
専門員(事務)	瀬戸 昇	非常勤写真職	岸山 浩之
〃	柴田 健治	学芸部長(技術)	寺寄 弘康
非常勤自動車運転員	大塚 清志	(考古・中世担当)	
非常勤事務補助員	丸山 百合子	専門学芸員	永井 晋
企画情報部長	柏木 弘子	主任学芸員	古川 元也
企画普及課長(技術)	古宮 雅明	学芸員	小井川 理
企画普及課 副主幹	山口 真喜子	〃	千葉 毅
主事	伊藤 瑞湖	専門員(技術)	鳥居 和郎
専門員(事務)	余合 和歌子	(近世・近現代・民俗担当)	
非常勤教育普及員	有村 泰治	主任学芸員	嶋村 元宏
非常勤職員	野島 愛子	〃	桑山 童奈
非常勤学芸員	田辺 可奈	〃	丹治 雄一
〃	泉山 花江	学芸員	角田 拓朗
〃	内山 美代子	〃	新井 裕美
情報資料課長	木佐貫 健二	専門員(事務)	鈴木 尚遠
情報資料課 副主幹	篠崎 淑子	〃	小堀 信夫
副主幹	伊藤 友久	非常勤資料整理員	吉澤 智恵子

非常勤資料整理員	中村 茉貴	非常勤学芸員	根本 佐智子
非常勤学芸員	武田 周一郎	”	三浦 麻緒

(2) 歳入・歳出

ア 歳入

(単位：千円)

科 目	金 額	内 訳
行政財産使用料	571	ミュージアムショップ等の建物使用料
歴史博物館使用料	12,473	観覧料収入(常設展 5,116、特別展 7,357)
立替収入	403	喫茶室等の電気料・水道料
雑入	5,762	図録販売収入、ライブラリー複写料金等
教育受講料収入	207	県立機関活用講座受講料
合 計	19,416	

イ 歳出(人件費含まず)

(単位：千円)

事 業 名	金 額	内 訳
維持運営費	57,998	維持管理・事業運営
展示事業費	15,534	常設展示維持管理、特別展の開催、総合案内業務
調査研究事業費	556	総合研究・基礎研究、調査研究報告書の作成
資料整備費	9,670	博物館資料収集、資料修繕
学習支援事業費	919	講座・講演会の開催、ボランティア活動推進、 図書等資料整備、広報用資料作成
情報システム整備費	53,653	システム運用、データ入力等
県立機関活用講座開催事業費	233	講座の開催
教育施設維持修繕費	1,404	施設・設備の修繕
電気工作物等保安業務委託費	475	電気工作物の修繕
教育施設各所営繕費	2,484	設備の設置
合 計	142,926	

(3) 入館者状況

ア 入館者数

(単位：人)

月	展示室入館者			フリーゾーン 利用者	合 計
	有料入館者	無料入館者	小 計		
4	2,075	1,493	3,568	5,003	8,571
5	4,565	3,628	8,193	6,072	14,265
6	3,068	2,551	5,619	4,892	10,511
7	1,967	1,255	3,222	4,942	8,164
8	2,987	1,389	4,376	6,915	11,291
9	2,038	1,602	3,640	7,165	10,805
10	2,453	1,465	3,918	7,524	11,442
11	3,125	12,158	15,283	5,135	20,418
12	1,507	888	2,395	3,889	6,284
1	1,859	1,457	3,316	4,140	7,456
2	6,284	2,553	8,837	4,723	13,560
3	6,810	7,042	13,852	5,574	19,426
合 計	38,738	37,481	76,219	65,974	142,193

イ 有料入館者内訳

(単位：人)

月	個人				団体(団体扱い含む)				合計
	20歳以上	20歳未満	高校生	65歳以上	20歳以上	20歳未満	高校生	65歳以上	
4	838	52	388	645	129	21	0	2	2,075
5	1,477	149	510	1,731	572	126	0	0	4,565
6	1,136	214	10	1,171	443	94	0	0	3,068
7	1,053	132	51	538	189	4	0	0	1,967
8	1,732	140	124	632	350	9	0	0	2,987
9	1,180	162	9	579	44	2	0	62	2,038
10	918	68	53	1,055	233	28	0	98	2,453
11	1,248	136	112	1,175	319	22	0	113	3,125
12	751	134	19	532	33	3	0	35	1,507
1	906	82	24	646	126	3	0	72	1,859
2	2,352	211	74	2,409	1,084	110	0	44	6,284
3	2,541	257	202	2,549	1,166	95	0	0	6,810
合計	16,132	1,737	1,576	13,662	4,688	517	0	426	38,738

ウ 無料入館者内訳

(単位：人)

月	条例別表備考欄指定 の無料入館者 (A)				減免による無料入館者 (B)						合計
	未就学 幼児	小学生	中学生	特別支 援学校	高校生	生徒引 率者	優待券	招待券	障が い者	その他	
4	12	491	258	0	259	23	8	169	86	187	1,493
5	11	471	1,494	0	421	54	15	799	163	200	3,628
6	14	316	657	2	194	51	18	1,107	108	84	2,551
7	11	233	478	0	51	17	2	194	104	165	1,255
8	35	321	410	0	44	12	13	262	128	164	1,389
9	21	168	590	27	67	27	8	413	100	181	1,602
10	7	300	239	0	43	32	14	478	94	258	1,465
11	17	1,449	532	0	280	83	24	9,498	153	122	12,158
12	9	106	122	0	124	15	21	362	79	50	888
1	15	241	359	0	12	19	7	619	85	100	1,457
2	31	279	890	0	185	30	18	866	179	75	2,553
3	38	146	401	0	6	13	25	6,161	175	77	7,042
合計	221	4,521	6,430	29	1,686	376	173	20,928	1,454	1,663	37,481

エ 特別展の入館者状況(前掲表内数)

(単位：人)

特 別 展 名	有料入館者	無料入館者	合計
明治大学 クリスマン・ボラックコレクション 繭と鋼 - 神奈川とフランスの交流史 -	4,275	6,336	10,611
白絵 - 祈りと寿ぎのかたち -	2,387	8,448	10,835
陸にあがった海軍 - 連合艦隊司令部日吉地下壕からみた太平洋戦争 -	8,804	7,012	15,816
合 計	15,466	21,796	37,262

(4) 広報・広聴

ア 広報実績

平成 26 年度の広報実績は下記の通り(館の P R、特別展・テーマ展、催しもの等)。

媒体別	紙媒体				電波媒体		インター ネット	計
	新聞	雑誌	単行書	その他	テレビ	ラジオ		
件数	271	91	2	8	10	8	100	490

イ 「県博フレンズ」会議の開催

開かれた博物館づくりをめざし、当館が実施する事業について県民の意見を組織的・継続的に聴くため、公募により委嘱した 50～60 代の男女 6 名を構成員とする「県博フレンズ」会議を開催し、館職員との双方向の話し合いを行った。なお、本事業は当館の事業を実施する際の指針である「中長期計画」に位置付けられた事業(博物館モニター会議)として開催したものである。

(ア) 開催状況(年 4 回)

会議	開催日	会議テーマ等
第 1 回	6 月 7 日(土)	館の概要紹介 館内見学 事業実施計画
第 2 回	9 月 21 日(日)	特別展「明治大学 クリスチャン・ポラックコレクション 繭と鋼 - 神奈川とフランスの交流史 - 」 特別陳列「開催 50 周年記念 よみがえる東京オリンピック」 コレクション展「庶民の祈り - 御札・御守のさまざま - 」 展示に関する催し物等 意見交換
第 3 回	11 月 29 日(土)	特別展「白絵 - 祈りと寿ぎのかたち - 」 展示に関する催し物等 意見交換
第 4 回	2 月 28 日(土)	特別展「陸にあがった海軍 - 連合艦隊司令部日吉地下壕からみた太平洋戦争」 かながわの遺跡展「発掘された御仏と仏具」 展示に関する催し物等 一年間の振り返り

(イ) 実施結果

会議で出された意見・感想を、今後当館事業への反映するかどうか検討していくこととした。

(5) 施設概要

ア 概要

(ア) 施設の規模

敷地面積	4,160.82 m ²
構造	石・煉瓦造り(一部鉄筋コンクリート造り)地上 3 階・地下 1 階
延床面積	10,565.47 m ²
部門別面積	展示部門 = 約 3,896 m ² 、学習支援部門 = 約 386 m ² 、収蔵部門 = 約 619 m ² 研究部門 = 約 1,306 m ² 、サービス部門 = 約 438 m ² 、管理部門 = 約 1,251 m ² その他共用部分 = 約 2,670 m ²

(イ) 建物の特徴

旧館部分 旧横浜正金銀行本店本館(明治37年(1904)竣工、設計：妻木頼黄)
ネオ・バロック様式

新館部分 神奈川県立博物館として新築(昭和42年(1967))

指定状況 国指定重要文化財(建物旧館部分・昭和44年(1969)3月12日指定)
国指定史跡(平成7年(1995)6月27日指定)

(ウ) 施設の状況

- 1 階：【展示室、学習支援関係諸室】
特別展示室、コレクション展示室、
ミュージアムライブラリー、ミュージアムショップ、喫茶室、情報処理室 等
- 2 階：【展示室、管理課・企画情報部関係諸室】
総合テーマ展示室(近世・近代・現代、民俗)
館長室、管理課、企画情報部、応接室、図書整理室、書庫 等
- 3 階：【展示室、学芸部関係諸室】
総合テーマ展示室(古代・中世)
学芸部、資料整理室、展示準備工作室、作業室、収蔵庫 等
- 地下1階：【講堂、バックヤード諸設備】
講堂、収蔵庫、荷捌室、防災センター、写場、暗室、資料整理室、
その他機械室、倉庫 等

イ 館内施設

1階のフリーゾーンには来館者のために次の施設がある。

(ア) ミュージアムショップ

博物館の刊行物(展示解説書、特別展図録)をはじめ、神奈川の文化や歴史に関する書籍、所蔵資料の絵はがき、博物館見学の記念になるような品々を販売する。運営は民間の企業が行っている。

(イ) ともしび喫茶室

来館者に休憩してもらえるように喫茶室がある。軽食、喫茶ができ、店内には県内の福祉施設で作られた品々も販売されている。運営は「社会福祉法人 県央福祉会」が行い、知的障がい者の就業の場ともなっている。

ウ 外部協力

神奈川県立歴史博物館には、県内の博物館の質的向上や文化財に対する普及啓発を行う次の外部団体の事務局が設置されている。

(ア) 神奈川県文化財協会

昭和29年(1954)から活動している任意団体である。現在は会員に対しての講演会、見学会など文化財に関する知識の啓発活動を中心に活動している。協会員数247人(平成26年4月1日現在)。

事務局長	副館長	竹内 廣一
事務局次長	学芸部長	寺寄 弘康
事務局員	専門学芸員	永井 晋
〃	学芸員	小井川 理
〃	企画普及課長	古宮 雅明
〃	主査	細山 富幸
〃	主事	奥田 春菜
〃	専門員(事務)	鈴木 尚遠

(1) 神奈川県博物館協会

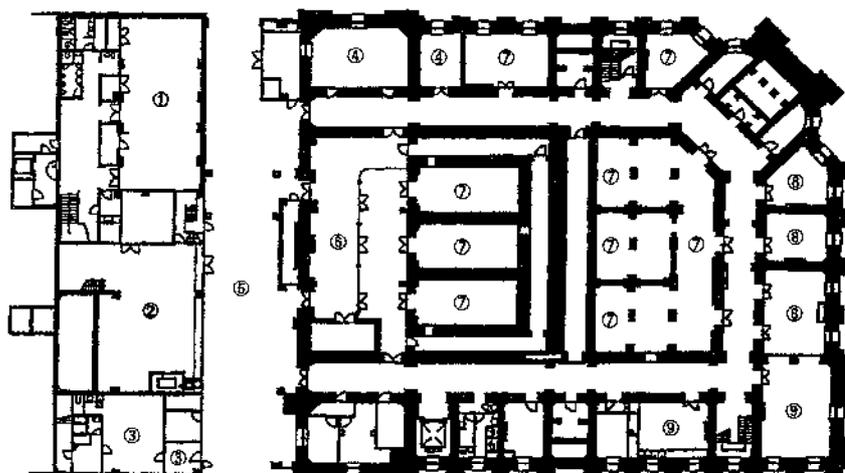
昭和30年(1955)から活動している県内博物館施設の任意団体で、博物館のPR、職員の研修、会報の発行など各種活動を行っている。加盟館園数94館(平成26年4月1日現在)。

会長	館長	薄井 和男
事務局長	副館長	竹内 廣一
事務局次長	学芸部長	寺寄 弘康
人文科学部会幹事	学芸員	角田 拓朗
事務局員	副主幹	樋渡 功
〃	主査	中山 聖枝
〃	専門員(事務)	小堀 信夫

エ 平面図

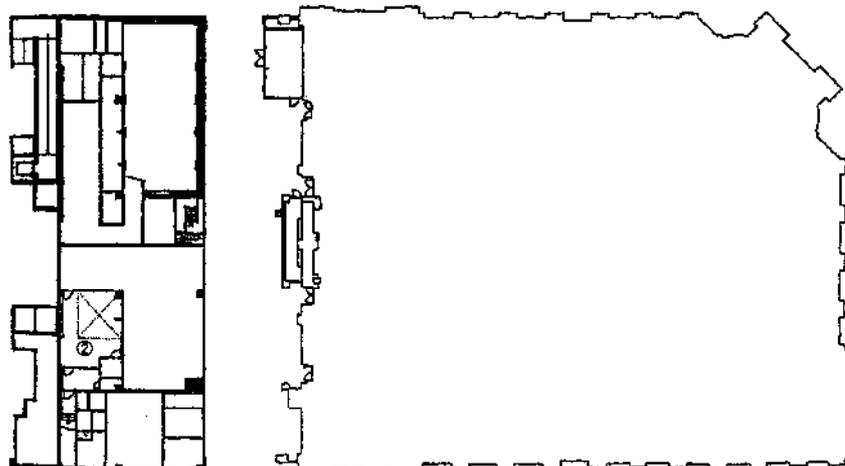
地下平面図

講堂
 機械室
 防災センター・保安室
 電気室
 サービスヤード
 荷捌室
 収蔵庫
 資料整理室
 写場・暗室



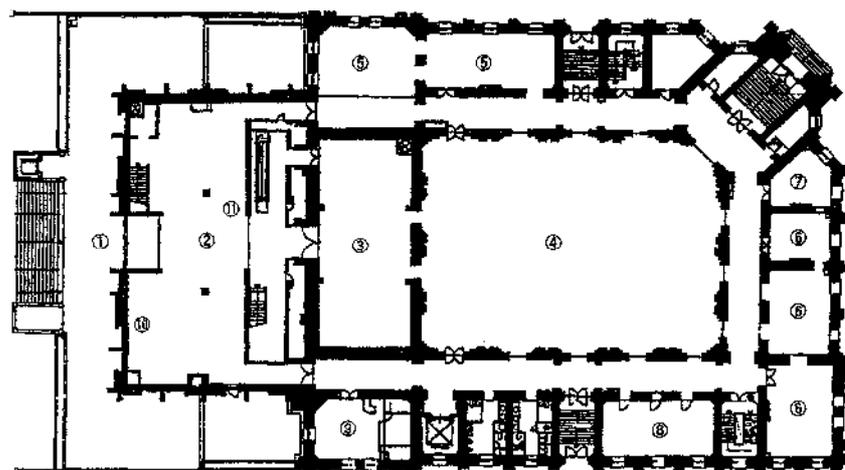
中1階平面図

放送器機・映写室
 中央監視室



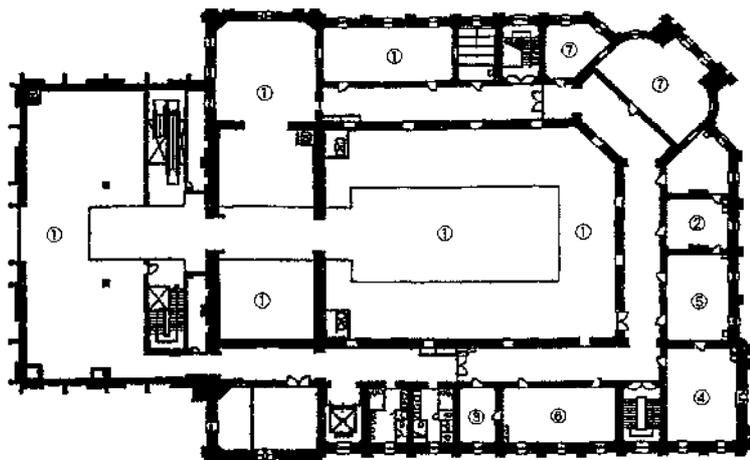
1階平面図

玄関
 エントランスホール
 導入展示室
 特別展示室
 コレクション展示室
 ミュージアムライブラリー
 情報処理室
 会議室
 喫茶室
 ミュージアムショップ
 総合案内



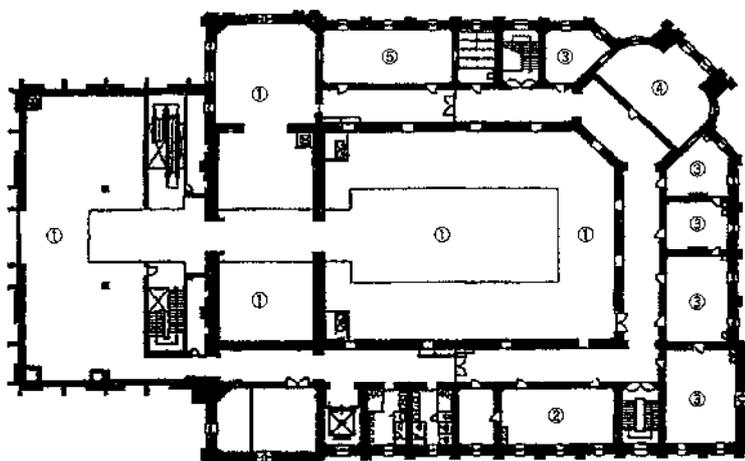
2階平面図

- 展示室
- 館長室
- 第二応接室
- 管理課
- 応接室
- 企画情報部
- 図書整理室・書庫



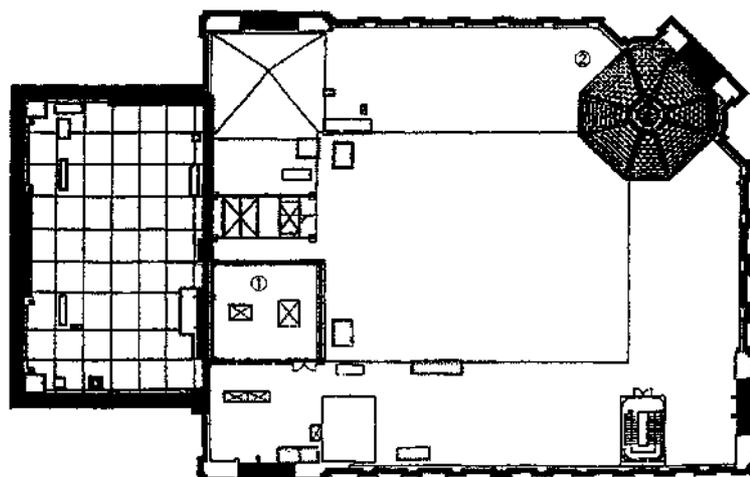
3階平面図

- 展示室
- 学芸部
- 資料整理室
- 展示機材倉庫
- 收藏庫



屋上平面図

- 空調機械室
- ドーム



3 調査・研究

(1) 館独自の研究事業費によるもの

ア 総合研究

テ－マ：鎌倉彫後藤家資料にみる近代鎌倉彫の受注に関する基礎的研究

担 当：学芸員 小井川 理

共同研究者：後藤圭子(鎌倉彫後藤家当主、(株)博古堂代表取締役)(平成26年度)

期 間：平成26～28年度

概 要： 鎌倉彫後藤家には、明治時代以降の鎌倉彫の注文制作をめぐる、賣上帳、注文帳と題される記録が残る。それらの帳面には、発注者、品物、値段等が記載され、当時の鎌倉彫の受容層の広がりや意匠に対する志向がよみとれる。

後藤家資料については、明治37年アメリカ・セントルイス万博、明治38年ベルギー・リエージュ万博への出品目録が『鎌倉市史 近代資料編第二』に活字翻刻されているものの、具体的な受注の状況を伝えるその他の文献資料については、個人所蔵資料であることもあり、内容の把握はなされていない。

本研究では、後藤家資料の読解分析を通して、近代鎌倉彫成立期の受容の様相を明らかにし、鎌倉彫が観光地鎌倉に根ざした工芸として確立されるに至る社会的背景を考察するための一助としたい。

テ－マ：岩橋教章・章山に関する総合的研究

担 当：学芸員 角田 拓朗

共同研究者：非常勤学芸員 武田周一郎、森登(銅石版画研究家)

期 間：平成26～29年度

概 要： 明治初頭、日本に銅石版画技術をもたらし、西洋版画印刷術の受容に重要な役割を果たした岩橋教章・章山に関する総合研究。第一年度として、関連資料の批判的研究を開始。教章のウィーン万博出張時の手帳を丹念に読み説いた。また、章山に関する履歴事項を調査。次年度、さらに資料研究を進め、両人の活動をより詳細に検討する予定。

イ 個別研究

テ－マ：幕末開港期における信濃国松代藩の横浜警衛

担 当：主任学芸員 嶋村 元宏

期 間：平成26年度

概 要： 文久2年から元治元年までの2年間、開港場となった横浜の警衛にあたった松代藩の具体的な活動を明らかにすべく、国文学研究資料館所蔵「信濃国松代藩真田家文書」を中心に調査・分析を行った。

ウ グループ研究

次のテーマでグループごとに研究を進めている。

考 古：神奈川県内遺跡・遺物調査

中 世：宋風文化の研究

近 代：横浜の木版印刷に関する基礎的研究

現 代：戦後横浜における映画館活動に関する基礎的研究

民 俗：民俗社会における贈答慣行

教 育 普 及：小・中学校の見学実習を支援するワークシートの開発と検証

工 調査研究成果報告会

開催日時：平成 27 年 3 月 13 日(金) 13:15～17:00

内 容：総合研究及び個別研究の成果・途中経過と、報告書の内容について報告した。

(ア) 総合研究

a 発表者：学芸員 小井川 理

テーマ：鎌倉彫後藤家資料に見る近代鎌倉彫の受注に関する基礎的研究

概要：前記「ア 総合研究」を参照

(イ) 個別研究

a 発表者：主任学芸員 嶋村 元宏

テーマ：幕末開港期における信濃国松代藩の横浜警衛

概要：前記「イ 個別研究」を参照。

b 発表者：主任学芸員 古川 元也

テーマ：寺院什物帳の生成について

概要： 鎌倉地域の寺社には多くの史料が伝わるが、中世の鎌倉にもたらされた文物をよく物語るのが什物帳である。報告者は、これまでに鎌倉の円覚寺塔頭仏日庵の公物目録(「仏日庵公物目録」)について、その資料的性質について言及してきたところである。寺社が伝えた文物を記録しているという点では、例外的に充実した史料である同目録は、中世の寺院什物帳の中でどのような位置にあるのか、また、什物帳は、時代の変遷に応じてどのように変化してゆくのかを検討することで、鎌倉地域の寺社什物帳の生成に関する素描を行ってみた。

c 発表者：学芸部長 寺崎 弘康

テーマ：横浜正金銀行の海外展開 1880 年代を中心に

概要： 横浜正金銀行は世界の 5 大陸すべてに延 1 6 8 の店舗を設置した。地域別にみればアジアが多く、時代的に圧倒的に昭和期それも太平洋戦争開始後が多く、銀行と戦争との関係を明示している。このような支店展開の中で最初に店舗を開設した紐育出張所(支店)の開業からの人員構成、海外勤務手当などを明らかにし、さらに初期に海外勤務となった人物が外国語や簿記を学んだ実務経験者であったことを報告した。

d 発表者：非常勤資料整理員 中村 茉貴

テーマ：武内鶴之助の兄金平のもうひとつの顔 美術収集および普及活動について

概要： 横浜出身の洋画家武内鶴之助は、横浜正金銀行副頭取を務めた兄金平の支援で英国留学を果たした。本発表では両者の活動を年譜や写真資料等で辿り、金平が収集した美術作品を図版で紹介した。

e 発表者：非常勤資料整理員 中村 茉貴

テーマ：長谷秀雄関係資料の調査報告

概要： ご遺族の元にある長谷秀雄の彫刻作品や蕨画塾に関係や史料および収集物等の調査を実施した。まだ十分な調査はおこなえていないが、作品や資料を形態別に分類した簡易目録を用いて、現状を報告した。

(2) 日本学術振興会科学研究費助成事業によるもの

神奈川県立博物館であった昭和 53 年度から、文部省学術研究機関の指定を受け、科学研究費助成金が交付されるようになった。神奈川県立歴史博物館に機構変更後も継続して指定されている。平成 26 年度の採択は 2 件である。

ア 研究種目名：基盤研究(B)

課題番号：23320147

研究課題：金沢文庫文書及び称名寺聖教紙背文書の復元的研究（平成23～27年度）

研究代表者：専門学芸員 永井 晋

研究実績概要：本研究では、重要文化財「金沢文庫文書」と重要文化財「称名寺聖教」の紙背文書を接続させて本来の古文書の形をデジタル情報として復元すると共に、古文書として整理されたために古文書紙背の聖教として保存されることになった聖教を一綴の聖教として整理できるように、聖教別の整理を行う。その成果は、データベースソフトを用いてインターネットで公開し、全国の研究者が金沢文庫文書・称名寺聖教の基本的なデータ整理を行った後、来館して本格的な調査を行えるように環境整理をしていきたい。

イ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：24520732

研究課題：中世鎌倉地域における寺院什物帳(文物台帳)と請来遺品(唐物)の基礎的研究

研究代表者：主任学芸員 古川 元也

研究実績概要：本研究では鎌倉地域に関係して残された寺院什物帳(文物台帳)にみられる請来遺品の完全把握と史料論的検討、大陸から請来された伝世文物、出土遺物の実体把握、およびその比較検討を行うことを目的とした。具体的な実施方法は、1.寺院史料の調査研究、2.美術・工芸・考古分野の遺品研究、3.美術・工芸・考古分野の遺品研究(データ集積)を通して行った。本年度は最終年度であったが、鎌倉市内の補遺的史料調査を12月まで行い、その際には鎌倉倉国宝館のほか鎌倉市中央図書館近代史・特殊資料室の協力を得た。最終的には、これまで行ってきた調査をまとめて報告書(全264頁)を制作、関係機関に送付した。

ウ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：25370817

研究課題：江戸時代の神奈川県における絵図の出版状況および浮世絵との関係について研究

研究代表者：主任学芸員 桑山 童奈

研究実績概要：基本的には25年度に引き続き、現在の神奈川県で江戸時代に出版された絵図および縁起の類の所在確認と資料調査を行った。年度の前半は25年度までに調査済みであり、対象資料の中でも重要な資料であると考えられる神奈川宿の茶屋が出版した『三五景一覽』について、資料紹介「石崎源六版『三五景一覽』の絵師たち - 「人名録」を手がかりに - 」(『神奈川県立博物館研究報告(人文科学)』第41号、2014年10月発行)にまとめる作業を優先し、後半に資料の所在確認と調査を行った。資料調査をさせていただいた機関は慶應義塾三田メディアセンター、国立公文書館(東京都内)、神奈川県立図書館、神奈川県立金沢文庫(神奈川県内)。

エ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：26370812

研究課題：横浜正金銀行ニューヨーク支店の研究

研究代表者：寺崎 弘康

研究実績概要：研究期間3カ年目の1年目で、横浜正金銀行ニューヨーク支店関連資料の調査と収集、ニューヨーク支店時代の柏木秀茂関係資料の整理を実施した。また、研究会を開催し、資料の分析や地検の交換を実施した。

オ 研究種目名：若手研究(B)

課題番号：24720054

研究課題：洋風画・洋画を中心とした十九世紀日本絵画史の構築に関する基礎研究

研究代表者：学芸員 角田 拓朗

研究実績概要：本年度は3年目として、主に版画群に認められる西洋絵画由来の技術や思想の受容について考察を進めた。その研究成果のひとつとして、報告書を刊行し、標記の課題についてまとめた。また、当該研究で重要だと判断された銅版画について、当館所蔵品の詳細をまとめ報告した。

(3) 個人研究活動

ア 研究報告書

(ア) 『神奈川県立博物館研究報告 - 人文科学 - 』第41号 平成26年(2014)10月31日発行

a 種別：論文

表題：ペリー来航に関わる情報収集活動とその伝播について - 画像資料を中心に -

筆者：主任学芸員 嶋村 元宏

要旨：日本を開国させるべく二度にわたり来航したアメリカ東インド艦隊司令長官マシュー・カルブレイス・ペリー提督をはじめとする、遣日アメリカ使節団員を描いた画像を主たる対象として、それらの画像がどのような人々によって制作され、伝播していったのかということ明らかにすることにより、これまでの幕末情報史研究に新たな視点を投じた。

具体的には、大槻磐溪編《金海奇観》(早稲田大学図書館所蔵)を分析し、昌平覺関係者である河田迪斎、関藍梁は、幕府全権応接掛林大学頭復斎の配下として、アメリカ使節との応接に参加し、ペリーを実見でき得る立場であったことから、使節団員の原図を描くことが可能であったことを明らかにした。

またその一方で、応接掛伊沢政義の配下として松代藩御側医高川文筈が応接に参加していた点については、従来知られていた事柄からさらに詳細な事実を示した。

キーワード：金海奇観、大槻磐溪、西坂成庵、儒者、昌平覺

b 種別：研究ノート

表題：後北条氏遺臣桜井氏の越前関係文書について

筆者：専門員 鳥居 和郎・非常勤学芸員 根本 佐智子

要旨：これまで「桜井家文書」といえば戦国大名北条氏に関連する一括文書として知られていた。天正十八年(1590)、北条氏の滅亡により桜井氏は結城秀康へ仕え、関ヶ原合戦後、秀康とともに越前国に移動、秀康没後は忠直などに仕えた。そのため桜井家には越前時代の文書も20通程度伝存した。後に桜井氏が越前をはなれたこともあり、これらの文書は、その存在が広く知られず伝存されてきた。また忠直関係史料が多いこともあり、近世初頭の越前の歴史を解明する上でも重要な文書群といえる。本稿はこれら文書の紹介を行うとともに、幾つかのテーマを設けて考察を加えた。

キーワード：桜井武兵衛、結城秀康、松平忠直、後北条氏遺臣

c 種別：研究ノート

表題：明治期府県管内図の作成主体について - 神奈川県を事例として -

筆者：非常勤学芸員 武田 周一郎

要旨：明治期府県管内図の網羅的な検討を通じてその特徴を考察することを目的とし、特に地図の作成主体や神奈川県の事例に注目した。まず総的な特徴を把握するため、国立公文書館に所蔵される府県管内図のうち、府県ごとに最も発行年代が古いものをリスト化した。その結果、結城正明や江島鴻山といった印刷技術者のネットワークや、出典としての伊能図という観点から、内務省地理局における地図作成の動向との関連性が指摘できた。

また神奈川県の場合は明治10年代までに発行された管内図が3点あり、うち2点は明治11年を遡る早い時期のもので、もう1点は鴻益社という民間の印刷業者から発行されたものであった。前者は統計表と一体のものである点、後者は横浜近郊の農村部を対象に

して予約出版を試みた業者が発行した点に特徴があった。

キーワード：内務省地理局、江島鴻山、神奈川県管内図、鴻益社、縮切図

d 種 別：研究ノート

表 題：神奈川県庁所蔵四代目神奈川県庁舎実施設計図とその内容について

筆 者：主任学芸員 丹治 雄一

要 旨： 本稿は、四代目神奈川県庁舎（現神奈川県庁本庁舎）の建設に際して、神奈川県内務部神奈川県庁舎建築事務所が作成した実施設計図のうち、神奈川県庁が所蔵し神奈川県立歴史博物館が保管している現存図面 230 点の整理過程を紹介し、完成版目録を公開するとともに、これらの図面の記載内容について若干の考察を加えたものである。

四代目県庁舎の実実施設計は、1926（大正 15）年に実施された設計競技（コンペ）で一等当選した小尾嘉郎の案をもとに、鳥井信・桑原英治の歴代神奈川県庁舎建築事務所所長と建築顧問佐野利器の指導のもと、意匠図は渡邊利雄と濱田義男、構造図は池部宗薫を中心に設計が進められた。

現存する 230 点の図面群は、主要室をはじめとする各室の詳細な図面も現存する良質な資料群で、四代目神奈川県庁舎の建築を知る上で最も基本となる極めて重要な資料であることが確認された。

キーワード： 四代目神奈川県庁舎、神奈川県庁舎建築事務所、実施設計図、佐野利器、桑原英治、渡邊利雄、池辺宗薫

e 種 別：資料紹介

表 題：松平造酒助江戸在勤日記 - 元治元年八月十八日～九月朔日 -

筆 者：非常勤学芸員 根本 佐智子・企画普及課長 古宮 雅明

要 旨： 当館所蔵「松平造酒助江戸在勤日記」の翻刻。筆者松平造酒助は庄内藩士、家禄は千四百石。組頭や家中武器取扱掛をつとめた人物である。造酒助は元治元年八月より慶応元年八月まで江戸に在勤している。本稿は元治元年八月十三日～同九月朔日まで、全五十綴のうち、「一ノ二」、「二」を掲載した。随所に入る挿し絵が興味深い。

キーワード： 松平造酒助 庄内藩 元治年間 江戸市中取締 新徴組

f 種 別：資料紹介

表 題：石崎源六版『三五景一覧』の絵師たち - 「人名録」を手がかりに -

筆 者：主任学芸員 桑山 童奈

要 旨： 東海道の三番目の宿駅、神奈川宿は、坂道の台からみる眺望の良さで知られ、海に面した座敷でくつろぐ人々を歌川広重（初代）も錦絵に描いている。その茶屋の一つに石崎源六があった。俳諧を嗜んだと伝えられる石崎源六は幕末期に神奈川宿周辺の光景を紹介する二つの出版物を制作した。その一つである『三十五景一覧』（安政五年・1858 刊）には十五図の台町からのぞむ光景が描かれ、狂歌、漢詩などが添えられている。本稿では挿絵を描いた絵師について調査した結果、当時の人名録に多く見いだせたので紹介する。

キーワード： 東海道 神奈川宿 出版

イ 個人研究活動

凡例（刊行年などは西暦で統一）

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1 著作 | 4 新聞・雑誌等への寄稿 |
| (1) 単著・共著・学術論文 | 5 各種調査委員会等 |
| (2) 書評・余録 | 6 講座講師等(特に館名などを記さないものは当館での実施。) |
| (3) 資(史)料紹介 | 7 ここ1年間の課題・研究テーマ |
| 2 学術口頭報告 | |
| 3 図録執筆・解説書執筆 | |

薄井 和男(館長・美術・中世)

- 5 相模原市文化財保護審議会委員
逗子市文化財保護審議会委員
厚木市文化財保護審議会委員
川崎市文化財保護審議会委員
大磯町文化財保護審議会委員
平塚市文化財保護審議会委員
時宗文化財調査委員
- 7 県内所在の神社所蔵の神像調査を行った。

永井 晋(専門学芸員・歴史・中世)

- 1(1) 共著『吉川市史 通史編 』(吉川市役所 pp.111-202、2014年12月26日)
「鎌倉時代の日元関係を考える」(『互恵と国際交流』クロスカルチャー出版 pp.51-72、2014年9月30日)
「高倉宮以仁王の家族と縁者」(『古代文化』66巻4号、pp.96-107、2015年3月)
- 2 「鎌倉時代の日元関係を考える 蒙古襲来と日元貿易」(関東学院大学国際文化学部隣足記念シンポジウム 2015年1月31日 於:関東学院大学関内メディアセンター)
- 4 「鎌倉・室町・桃山における製茶と喫茶文化」(ゆきま87号、pp.8-23、一般財団法人白流白和会)
「地元の歴史を彩る武者 勝者と敗者の両方を考える」(神奈川新聞社 2015年月27日号)
- 5 日本仏教総合研究学会評議員
NPO法人鎌倉考古学研究所正会員
吉川市史調査員 原始・古代・中世担当
野田市史調査員 中世担当
横須賀市文化財専門審議会委員
- 6 裏千家東京事務所「鎌倉時代の製茶と喫茶文化」(平成26年6月9日 於:東京道場)
一般財団法人白流白和会「鎌倉・室町・桃山期の製茶と喫茶文化」(平成26年7月20日 於:中野サンプラザ大ホール)
願成院「北条時政の人となりと運慶」(2014年11月9日 北条時政公八百年遠忌法要記念講演 於願成院)
- 7 「鎌倉証菩提寺年中行事」の研究

古川 元也(主任学芸員・歴史・中世)

- 1(1) 「モノが裏付ける鎌倉の文献史」(中世都市研究会編「鎌倉研究の未来」、山川出版社、pp.72-99、2014年7月)
『中世鎌倉地域における寺院什物帳(文物台帳)と請来遺品(唐物)の基礎的研究』(科学研究費研究成果報告書、pp.1-264、2015年3月)
- (2) 「こもんじょを観る」(コロナイブ技術の保存と印刷文化を考える会編『玻璃彩』12号、便利堂、pp.5-9、2014年12月)
- (3) 「土屋宗直軍忠状」(資料紹介、『神奈川県立歴史博物館だより』通巻196号、pp.6-8、2014年6月)
- 4 「見せて「魅せる」展示 モノを通じて過去と対話」(「かながわの地域博物館から」連載記事、神奈川新聞、2014年4月25日)
- 5 国立歴史民俗博物館共同研究員
三田史学会(慶應義塾大学)委員会委員
日本古文書学会大会運営委員
『古文書研究』(吉川弘文館)編集委員
- 6 栄区鎌倉研究会歴史講座「鎌倉仏教とは何か 最新の研究から」(2014年6月18日、あーすぶらざ)
鎌倉五輪会「こんなに面白い、鎌倉の中世文書」(2014年12月12日、鎌倉市生涯学習センター)
NPO法人ICP鎌倉地域振興協会「鎌倉を知る講座」(2014年4月～、鎌倉市同協会講座室、計8回担当)
- 7 展示に資する日本中世宗教文化史の研究。また、平成27年度開催予定の「国宝一遍聖絵」展に向けて調査・研究・準備を行った。継続的研究としては、請来文物等をはじめとする非文献資料を調査・研究し、記録との比較検討を通じて総体的な歴史復元に資することが出来る部分の検証を試みた。

小井川 理(学芸員・美術・中世)

- 1(2)「特別展「白絵 - 祈りと寿ぎのかたち - 」に寄せて」(『神奈川県立歴史博物館だより』vol.20、No.2、通巻197号、pp.2-5、2014年9月9日)
- 3 図録『白絵 - 祈りと寿ぎのかたち - 』(神奈川県立歴史博物館、2014年10月10日)
- 4 「特別展 白絵 - 祈りと寿ぎのかたち - <上> 出産の場に立て回す」(『毎日新聞』2014年10月25日)
「特別展 白絵 - 祈りと寿ぎのかたち - <中> 誕生と死 生命の間近にあった白」(『毎日新聞』2014年11月1日)
「特別展 白絵 - 祈りと寿ぎのかたち - <下> 人生の節目、調度守る造形」(『毎日新聞』2014年1月8日)
- 6 「特別展 白絵 - 祈りと寿ぎのかたち - 」(神奈川県文化財協会平成26年度第5回見学会、2014年10月15日)
「特別展「白絵 - 祈りと寿ぎのかたち - 」について」(國寶史蹟研究会見学解説、2014年10月19日)
埼玉地区教育長協議会県外施設研修 特別展「白絵 - 祈りと寿ぎのかたち - 」見学(2014年10月31日)
栄区鎌倉研究会 特別展「白絵 - 祈りと寿ぎのかたち - 」見学(2014年11月12日)
NPO法人ICP 鎌倉地域振興協会 特別展「白絵 - 祈りと寿ぎのかたち」見学(2014年11月13日)
- 7 館所蔵・保管の美術資料(中世絵画・工芸および近代工芸)に関する調査研究。特別展「白絵 - 祈りと寿ぎのかたち - 」にかかる調査研究。

鳥居 和郎(専門員・歴史・中世)

- 1(1) 研究ノート「後北条氏遺臣桜井氏の越前関係文書について」(共著、「神奈川県立博物館研究報告 人文科学」第41号、pp.15-42、2014年10月)
- 5 箱根町文化財保護委員会委員
小田原市郷土文化館協議会委員
小田原市文化財保護委員会委員
小田原城耐震改修等検討委員会委員
小田原市博物館構想策定委員
- 6 横浜さいかちの会(2014年10月22日~2015年3月13日)於：横浜市歴史博物館
「戦国大名北条氏の歴史について」
第1回 「初代北条早雲について」(10月22日)
第2回 「二代北条氏綱について」(10月29日)
第3回 「三代北条氏康について」(11月5日)
第4回 「四代北条氏政・五代北条氏直について」(3月13日)
- 7 後北条氏の京都外交に関する史料の検討。

千葉 毅(学芸員・考古)

- 1(1)「阿久型方形柱穴列の柱穴についての覚書 研究集会「縄文前期前葉の甲信地域」の補遺を兼ねて」(『山梨考古学論集 山梨県考古学協会35周年記念論文集』、pp.37-42、山梨県考古学協会、(2014年5月)
「千葉県松戸市中峠遺跡第6次調査報告」(編著、『下総考古学』23号、pp.23-140、下総考古学研究会、2014年5月)
「中峠6次1住型深鉢の研究」(共著、『下総考古学』23号、pp.162-176、下総考古学研究会、2014年5月)
「東北地方北部における縄文時代後期初頭から前葉土器編年研究の現状と課題 青森県安部遺跡出土土器の理解のために」(共著、『縄文時代』25号、pp.91-116、2014年5月、縄文時代文化研究会)
「出土遺物の研究 縄文時代以降 土器・骨角製品」(共著、『尻労安部洞窟 2001~2012年度発掘調査報告書』2015年3月、六一書房)
「縄文土器のための展示技術開発 デジタルファブリケーションの活用」(共著、『LOOP 映像メディア学 東京藝術大学大学院映像研究科紀要』Vol.5、pp.5-15、2015年3月)
東京藝術大学大学院映像研究科・左右社)

- (2) 「新刊紹介『東京都国立市 緑川東遺跡 第27地点』」(『東京の遺跡』101号、pp.1158-1159、2014年10月、東京考古談話会)
「特別展 陸にあがった海軍 連合艦隊司令部日吉地下壕からみた太平洋戦争」(『神奈川県立歴史博物館だより』vol.20、No.3、通巻198号、pp.2-4、2014年12月)
- 2 「本州最北端における最終氷期の陸産貝類群集組成とその後の変遷」(共同発表、日本貝類学会 平成26年度大会、2014年4月12日、日本貝類学会、大阪府大阪市、大阪市立自然史博物館)
「日吉台旧帝国海軍大規模地下壕群の構築過程と設営集団」(共同発表、土木史跡の地盤工学的分析・評価に関するシンポジウム、2014年10月10日、地盤工学会関東支部 江戸期以降の土木史跡の地盤工学的分析評価に関する研究委員会(土木史跡委員会)、東京都文京区、地盤工学会)
「青森県尻安部洞窟(安部遺跡)」(共同発表、第28回東北日本の旧石器文化を語る会、2015年2月21日、東北日本の旧石器文化を語る会、山形県山形市、東北芸術工科大学)
「神奈川県の土偶 相模原市域を除く県央地区」(第12回土偶研究会、2015年3月14日、土偶研究会、北海道札幌市、札幌市埋蔵文化財センター)
- 3 『特別展 陸にあがった海軍-連合艦隊司令部日吉地下壕からみた太平洋戦争-』(編著、展示図録、pp.1-120、2015年1月)
- 4 「陸にあがった海軍 連合艦隊司令部日吉地下壕からみた太平洋戦争 [上] 詳細な測量で遺構調査、[中] 戦局悪化、[下] 外光のない地下勤務」(毎日新聞、[上] 2015年2月26日、[中] 3月4日、[下] 3月10日)
「陸にあがった海軍 連合艦隊司令部日吉地下壕からみた太平洋戦争」戦争遺跡の展覧会を企画した学芸員に聞く」(『ミュゼ』110、p.4、2015年3月、アム・プロモーション)
- 6 「横浜市日吉一帯の戦争遺跡と展覧会『陸にあがった海軍』」(神奈川県文化財協会第7回見学会、2015年2月18日)
「横浜市日吉一帯の戦争遺跡と展覧会『陸にあがった海軍』」(横浜郷土史団体連絡協議会研修会、2015年3月10日)
「学芸員と博物館と展覧会と 地域の博物館のいまとこれから」(大倉山講演会、2015年3月14日、於：大倉山講演会)
- 7 縄文時代の人々の交流や移動、あるいは情報の動きをテーマに研究している。具体的には、南関東地方を中心とした地域をフィールドとして、遺構や遺物に周辺地域からの影響や要素を見出し、それらが流入する背景やその仕方、あるいは時間的な変化について検討している。
近現代の考古学的遺構としての県域に残存する戦争遺跡、特に太平洋戦争期の遺構についての情報収集、整理を行った。その中でも横浜市港北区日吉に残る旧海軍の諸施設に関する分析を重点的に行った。また、当館が所蔵している考古資料のうち、当館が発掘調査したものを中心に現在の視点から再整理、再検討を進めている。

寺寄 弘康(学芸部長・歴史・現代)

- 5 首都圏形成史研究会監事
- 6 県博講座「災害史料を読み解く かながわの災害史」第4回「関東大震災の記録と記憶」(2014年10月4日)
横須賀市民大学「横須賀製鉄所(造船所)創設150周年記念事業プレ講座」第7回「横須賀ストーリー 横須賀の戦後文化」(2014年11月30日)
- 7 横浜正金銀行関係資料の収集と整理・分析を継続して実施した。

古宮 雅明(企画普及課長・専門学芸員・歴史・近世)

- 1(3) 資料紹介「松平造酒助江戸在勤日記」(「神奈川県立博物館研究報告 人文科学」共著、pp.79-90、神奈川県立歴史博物館、2014年10月)
- 6 県博講座「災害史料を読み解く-かながわの災害史-」第3回「富士山宝永噴火の災害と復興」(2014年9月27日)
富士吉田市歴史民俗博物館歴史講座「宝永大噴火の被災と復興」(2014年9月20日 於：富士吉田市歴史民俗博物館)
- 7 街道絵図の研究。道中記を中心とした江戸時代の旅文化の研究。江戸時代の自然災害史の研究。

嶋村 元宏(主任学芸員・歴史・近代)

- 1(1) ペリー来航に関わる情報収集活動とその伝播について 画像資料を中心に (『神奈川県立歴史博物館研究報告 人文科学』第41号、pp.1-14、2014年10月)(査読あり)。
日米・日露和親条約における最恵国条項について 「信義」と「公平」 (『品川歴史館紀要』第30号、pp.55-66、2015年3月)。
- (3) 日本人による横浜外国人居留地居住許可関係資料(『神奈川県立歴史博物館だより』Vol.20、No.3p.5)
- 6 教員のための博物館講座「教科書だけでは学べない神奈川の歴史～ペリーの顔！貌！カオ！」(2014年7月31日)
横浜市・横浜市教育委員会主催/横浜貿易振興会協力『子どもアドベンチャー2014』「ペリーが来た！横浜村開港物語」(2014年8月20日)
品川歴史館特別展『サムライ海を渡る』「サムライたちが海を渡るまで 新・幕末条約考」(2014年11月15日)
- 7 「19世紀中葉の国際秩序の変容」をメインテーマに研究を継続した。特に、上半期は平成24年度に開催した特別展『ペリーの顔・貌・カオ 「黒船」の使者の虚像と実像』で一般の方々へ公表した成果を、学術論文としてまとめ、歴史学界への寄与を図った。また、一年を通じて、個別研究事業「幕末開港期における信濃松代藩真田家文書」中の関係資料の収集と解説を行った。

桑山 童奈(主任学芸員・美術・近世)

- 1(1) 神奈川県立歴史博物館所蔵 摺物東海道 について-絵半切的作品群の一例- 、『浮世絵芸術』168号、2014年。pp.6-19
- (3) 「石崎源六版『三五景一覽』の絵師たち- 人名録 を手がかりに-」(『神奈川県立歴史博物館研究報告 人文科学』第41号、pp.91-108、2014年10月)
- 3 初代広重の 山海見立相撲 と二代広重の 諸国名所百景 、『立山禅定名所案内』、富山県[立山博物館]、2014年。pp.55-56
- 5 国際浮世絵学会理事、企画委員
(仮称) 藤澤浮世絵館活用検討会議委員
- 6 鎌倉国宝館友の会「浮世絵のはなし」(2015年2月6日、於：鎌倉国宝館)
- 7 科学研究費の課題である江戸時代に出版された神奈川県域を題材とした絵図の調査、研究。

丹治 雄一(主任学芸員・歴史・近代)

- 1(1) 「神奈川県庁所蔵四代目神奈川県庁舎実施設計図とその内容について」(『神奈川県立博物館研究報告 人文科学』第41号、pp.59-78、2014年10月)
- 5 首都圏形成史研究会常任委員
茅ヶ崎市文化資料館整備基本計画策定支援アドバイザー会議アドバイザー
- 6 MUFG(三菱UFJフィナンシャルグループ)エクステンションカレッジ講師 「旧横浜正金銀行本店本館について」(2014年6月21日、於当館)
かながわトラストみどり財団主催「桜ヶ丘緑地の明治時代のビール工場遺産講座」講師 「保土ヶ谷にあった『ビール工場』の歴史」(2014年9月20日、於桜ヶ丘緑地ほか)
- 7 2011年度から着手した四代目神奈川県庁舎(神奈川県庁本庁舎、1928年竣工)の実施設計図の整理・分析作業の成果をとりまとめるとともに、2015年度に開催を予定する特別展「石とかながわ」(仮称)に関わる調査として、近代の神奈川県域における石材採掘業関係資料の収集と分析を行った。

角田 拓朗(学芸員・美術・近代)

- 1(1) 作品解説 共編著『日本美術全集』17 (小学館 2014年6月)
単著「絹と美術 開港都市横浜とフランスの交流」『季刊誌横濱』45(神奈川県新聞社、2014年7月)
共編著 科学研究費成果報告書『洋風画・洋画を中心とした十九世紀日本絵画史の構築に関する基礎研究』(2015年3月)
共著「神奈川県博物館協会 総合防災計画の策定について」『神奈川県博物館協会会報』86 (神奈川県博物館協会、2015年3月)

- 2 「日本画新団体と洋画との距離 烏合会を主軸として」(美人画研究会 2014年12月)
- 3 「繭と鋼」展図録(神奈川県立歴史博物館編 明治大学発行)
「二世五姓田芳柳」展図録(坂東市立猿島資料館編・発行)
- 4 「特別展 繭と鋼展 1 製糸に国力注いだ証し」(『毎日新聞』2014年4月21日)
「特別展 繭と鋼展 2 「女神」が持つ日本の生糸」(『毎日新聞』2014年5月1日)
「特別展 繭と鋼展 3 日本初のパパラッチ写真」(『毎日新聞』2014年5月19日)
「特別展 繭と鋼展 4 精緻な「ユリ図」里帰り」(『毎日新聞』2014年5月31日)
「特別展 繭と鋼展 5 自然体の個人的写真」(『毎日新聞』2014年6月13日)
- 6 「二世五姓田芳柳とその時代」(11月23日 於:坂東市立猿島資料館)
- 7 科学研究費若手研究(B)「洋風画・洋画を中心とした十九世紀日本絵画史の構築に関する基礎研究」のとりまとめ。橋忠助氏旧蔵美術資料群のうち、五姓田義松関連資料等の総合調査。その他、当館総合研究、美人画研究など。

新井 裕美(学芸員・民俗)

- 5 成城大学民俗学研究所 「霊山と民俗信仰」共同研究
相模民俗学会運営委員
- 6 神奈川県文化財協会 第3回見学会「庶民の祈り 御札・御守のさまざま」(2014年7月23日)
博物館入門講座 「御札・御守の世界」(2015年1月24日)
- 7 死者供養・他界観・道祖神に関する継続的な研究を実施している。

武田 周一郎(非常勤学芸員・歴史・現代)

- 1(1) 研究ノート「明治期府県管内図の作成主体について - 神奈川県を事例として -」(『神奈川県立歴史博物館研究報告 人文科学』第41号、pp.43-58、2014年10月31日)
- (2) 「特別陳列「よみがえる東京オリンピック」によせて」(『神奈川県立歴史博物館だより』vol.20、No.1、通巻196号、pp.2-5、寺寄弘康との共著、2014年6月13日)
- 4 「東京五輪とかながわ 2 『県産』聖火トーチ」(『神奈川新聞』、2014年8月23日)
「東京五輪とかながわ 3 県内開催の4競技」(『神奈川新聞』、2014年8月26日)
- 5 首都圏形成史研究会常任委員(2014年6月~)
- 7 館蔵現代資料の整理。特別陳列「よみがえる東京オリンピック」及び総合研究「岩橋教章・章山に関する総合的研究」にかかる資料調査。

根本 佐智子(非常勤学芸員・歴史・近世)

- 1(1) 研究ノート「後北条氏遺臣桜井氏の越前関係文書について」(共著「神奈川県立博物館研究報告 人文科学」第41号、pp.15-42、2014年10月)
- (3) 資料紹介「松平造酒助江戸在勤日記」(共著「神奈川県立博物館研究報告 人文科学」第41号、pp.79-90、2014年10月)
- 4 「博物館・資料館問題 平成二十五年度神奈川県博物館協会主催講演会参加記」(『地方史研究』第64巻-4号、地方史研究協議会、pp.103-106、2014年8月)
- 6 県博講座「災害史を読み解く かながわの災害史」第2回「元禄地震の記録 『祐之地震道記』を読み解く」(2014年9月20日)
- 7 近世初期の後北条氏遺臣の研究、松平造酒助江戸在勤日記の翻刻、収蔵資料の整理、常設展示テーマ3の充実。

中村 茉貴(非常勤資料整理員)

- 7 長谷秀雄と蕨画塾に関する調査研究。また、武内鶴之助の再評価および兄金平の収集家としての側面を掘り起こす調査研究。

三浦 麻緒(非常勤学芸員・民俗)

- 7 館所蔵の民俗資料(主に衣類全般)の整理。衣装を通して津久井農村歌舞伎に関する調査研究。

4 資料収集・修理・保管・利用

<凡例>

ア 購入、 イ 寄贈・寄託・借用、 ウ 修理、 エ 貸出、 オ 特別利用、 カ その他

(1) 考古資料

イ 寄贈・寄託・借用

(借用)

	資料名	件 - 点	当初借用年月日
1	宗元寺軒瓦 外	1件1,763点	昭和46年1月1日
2	壺(横須賀高校裏山遺跡) 外	1件3点	平成7年2月10日
3	饒益神宝(中原上宿遺跡出土)	1件1点	平成8年3月1日
4	藤沢市代官山遺跡出土土器 外	1件555点	平成21年3月1日
	合 計	4件2,322点	

エ 貸出

	申請者・目的	資料名	件 - 点	利用方法	利用期間
1	横浜市末吉地区センター1Fロビー 地域の文化財に対する啓発	小林幸雄氏コレクション	1件72点	展示	平成25年4月1日 ~ 平成28年3月31日
	合 計		1件72点		

オ 特別利用

	申請者・目的	資料名	件 - 点	利用方法	利用期間
1	弥生時代研究ネットワーク・「弥生時代における南関東地方の洞窟遺跡利用」に関する研究	三浦市間口洞窟遺跡出土品	1件49点	熟覧、メモ 撮影	平成26年 7月13日
2	浜松市博物館・「嶺田・阿島・須和田式土器の地域交流」に関する研究	三浦市遊ヶ崎遺跡出土土器	1件2点	熟覧、メモ 撮影	平成26年 7月18日
3	(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団・発掘調査した金井裏遺跡から出土した鳴鏑と思われる資料の類例調査	横須賀市吉井城山横穴出土鳴鏑	1件1点	熟覧、メモ 撮影	平成26年 8月29日
4	九州大学大学院・「日本列島の古代国家形成過程における銅鏡生産の変遷と社会動態」に関する研究	横浜市梶山遺跡出土銅鏡	1件1点	熟覧、メモ 撮影	平成26年 11月7日
5	(公財)かながわ考古学財団・『研究紀要20 かながわの考古学』に資料紹介を掲載	横須賀市鴨居烏ヶ崎横穴群出土 須恵器	1件1点	熟覧、メモ 撮影	平成27年 3月3日
	合 計		5件54点		

(2) 歴史資料

イ 寄贈・寄託・借用 (寄贈)

	寄贈主	資 料 名	件 - 点
1	個人(神奈川県在住)	長祿元年銘板碑・同破片	1件2点
2	個人(神奈川県在住)	神奈川県総図	1件1点
3	個人(神奈川県在住)	戦後横浜・東京等写真	1件12点
4	個人(神奈川県在住)	原富岡製糸所成績優秀記念盃	1件5点
5	個人(東京都在住)	外国人居留地居住願 外	1件2点
6	個人(神奈川県在住)	日本昼夜銀行特別当座預金通帳	1件4点
7	個人(東京都在住)	東京オリンピック競技役員ネクタイ 外	1件12点
8	個人(神奈川県在住)	東京オリンピック競技写真パネル 外	1件12点
9	個人(神奈川県在住)	東京オリンピック聖火リレー参加記念章	1件1点
10	個人(神奈川県在住)	横浜正金銀行株券	1件5点
11	個人(神奈川県在住)	ソノシート	1件12点
		合 計	11件68点

(寄託)

	資 料 名	件 - 点	当初寄託年月日
1	帝政ロシア製 32 ポンド砲(旧居留地 90 番出土の大砲)	1件1点	平成 16年 2月 1日
2	長谷川家文書	1件22点	平成 23年 2月 17日
3	大太鼓	1件1点	平成 23年 2月 18日
	合 計	3件24点	

(借用)

	資 料 名	件 - 点	当初借用年月日
1	烏帽子形兜	1件1点	昭和 43年 10月 22日
2	古瀬戸瓶子	1件1点	昭和 45年 9月 1日
3	刀片(三増合戦場出土)	1件1点	昭和 47年 6月 10日
4	関山家文書	1件24点	昭和 47年 9月 8日
5	久崎家文書	1件197点	昭和 47年 9月 13日
6	瀬戸 四耳壺 外	1件3点	昭和 48年 7月 1日
7	渥美 灰釉壺 外	1件5点	昭和 48年 10月 1日
8	本多家文書	1件953点	昭和 49年 3月 1日
9	御用取締りのぼり	1件1点	昭和 49年 4月 26日
10	嘆願書	1件1点	昭和 52年 3月 23日
11	生麦村新地実測図(神奈川県令中島信行宛)	1件5点	昭和 52年 12月 1日
12	舊荻野山中建物之繪図 外	1件19点	昭和 53年 12月 1日
13	寺井家文書	1件16点	昭和 55年 2月 15日
14	散弾銃	1件1点	昭和 55年 4月 1日
15	羽柴秀吉知行充行状 天正十一年六月五日付	1件1点	昭和 58年 5月 20日
16	平本家文書	1件1,309点	昭和 58年 10月 14日
17	黒船来航絵巻	1件1点	平成 4年 5月 15日
18	日月鳳凰螺鈿鞍	1件1点	平成 4年 11月 1日
19	旧小田原城天守閣模型	1件1点	平成 5年 12月 15日
20	辰御年貢可納割付之事 外	1件2点	平成 6年 7月 20日
21	享保十四年九月酉之内検見引牒 外	1件22点	平成 6年 10月 7日
22	黒地竹矢来に小花模様小袖裂 外	1件11点	平成 8年 2月 1日
23	長祿元年銘板碑 同破片	1件2点	平成 13年 5月 1日

24	中国青磁 碗 線描き蓮弁文 外	1件 50点	平成 18年 6月 1日
25	茅ヶ崎市出土板碑関係(梵字板碑、破片)	1件 4点	平成 20年 7月 1日
26	旧横浜正金銀行本店本館改修工事関係資料 一括	1件 1点	平成 20年 9月 1日
27	旧横浜正金銀行本店本館彩色立面図 外	1件 119点	平成 22年 10月 15日
28	銅造 明治天皇立像 外	1件 3点	平成 23年 12月 15日
29	唐船渡来二付御手配	1件 1点	平成 24年 3月 6日
	合 計	29件 2,756点	

ウ 修理

修理対象：「脇差」(赤羽刀No.2008、官報No.2135、銘『相州住綱廣』)室町時代末期、一振
 対象の概要：作込み/平造、刃長/33.2cm、反り/0.2 cm、目釘穴/1、茎尻/栗尻、彫物/なし

エ 貸出

	申請者・目的	資料名	件 - 点	利用方法	利用期間
1	神奈川県立金沢文庫 特別展 「中世密教と<玉体安穩>の祈り」	神奈川県指定文化財 石清水八幡宮曼荼羅 両界曼荼羅 五大明王像 後醍醐天皇像(清浄光寺所蔵品の複製) 五大明王像 尊勝曼荼羅	6件 9点	展示	平成 26年 2月 6日 ~ 5月 4日
2	横浜市歴史博物館 企画展 「蒔田の吉良氏 戦国まぼろしの蒔田城と姫君」展	宝生寺文書(全四巻のうち該当巻)	1件 3点	展示	平成 26年 6月 25日 ~ 9月 30日
3	寄居町教育委員会 特別展 「関東三国志 越相同盟と北条氏邦」展	絹本着色北条氏康画像 紙本着色北条氏政画像(複製)	2件 2点	展示	平成 26年 9月 30日 ~ 12月 12日
4	宮崎県都城市教育委員会都城島津邸 開館5周年記念特別展 「島津と北郷の時代 鎌倉・南北朝期の南九州」展	赤糸威大鎧(複製) 伝源頼朝坐像(複製) 伝源頼朝像(複製) 足利尊氏像 建久三年九月十二日付小山朝政宛源頼朝袖判下文(神奈川県指定文化財)	5件 5点	展示	平成 26年 10月 1日 ~ 12月 9日
5	駒澤大学文学部歴史学科博物館学講座企画展 「1940+1964=2020 東京オリンピックの軌跡を辿る」展	公式第1号ポスター 競技役員制服(ブレザー及び帽子)	2件 3点	展示	平成 26年 11月 21日 ~ 12月 19日

6	埼玉県立嵐山史跡の博物館 企画展 「道灌の時代」展	太田道灌禁制	2件2点	展示	平成26年 11月18日 ～ 平成27年 3月4日
		太田道灌書状			
		合計	18件24点		

オ 特別利用

	申請者・目的	資料名	件 - 点	利用方法	利用機関
1	横浜市歴史博物館	室生寺文書(横浜市指定文化財)全3巻	1件3点	閲覧、撮影	平成26年 7月18日
2	個人・調査研究	西洋事情図解	1件1点	撮影	平成26年 6月11日
3	品川区立品川歴史館 ・写真パネルの作成、 図録への掲載	FRANK LESLIE ' S ILLUSTRATED NEWSPAPER, March 26 1860	1件1点	撮影	平成26年 7月1日 ～ 8月1日
		FRANK LESLIE ' S ILLUSTRATED NEWSPAPER, June 6 1860	1件1点	撮影	
		FRANK LESLIE ' S ILLUSTRATED NEWSPAPER, June 9 1860	1件1点	撮影	
		FRANK LESLIE ' S ILLUSTRATED NEWSPAPER, June 23 1860	1件1点	撮影	
		FRANK LESLIE ' S ILLUSTRATED NEWSPAPER, June 30 1860	1件1点	撮影	
		FRANK LESLIE ' S ILLUSTRATED NEWSPAPER, June 21 1860	1件1点	撮影	
		HARPPER ' S WEEKLY JOURNAL OF CIVILIZATION, March 26 1861	1件1点	撮影	
		HARPPER ' S WEEKLY JOURNAL OF CIVILIZATION, March 16 1861	1件1点	撮影	
	ホ -ハク号模型	1件1点	撮影		
4	個人・論文への図版掲載	横須賀港一覧絵図	1件1点	閲覧、撮影	平成26年 7月8日
		横須賀明細式覧図	1件1点		
		横須賀式覧図	1件1点		
5	小田原市経済部観光課・撮影および計測	小田原城天守模型	1件1点	撮影、計測	平成26年 9月30日
6	鹿児島県歴史資料センター 黎明館	石清水八幡宮曼荼羅	1件1点	熟覧、撮影	平成26年 5月21日
7	横浜開港資料館・調査研究	ブルウル商会屋内看板	1件1点	閲覧、撮影	平成26年 1月21日 ～ 1月23日
		合計	17件19点		

(3) 美術資料

ア 購入

	資 料 名	件 - 点
1	初代五姓田芳柳筆 「馬図」	1件1点
	合 計	1件1点

名 称：初代五姓田芳柳筆 馬図

材 質・技 法：洋紙・鉛筆・水彩[現状マクリ・裏打ち済み]

寸 法：縦 184×横 263cm

説 明： 五姓田派の始祖である初代五姓田芳柳の水彩画作品。初代五姓田芳柳は絹地に伝統的な画材を用いて肖像画などを描いたことが知られ、当館でもその類例を収蔵してきた。本作はそれとは異なる水彩画作品であり、またその制作の目的やその時の職や制作年が判明する上で貴重な基準作となる。

陸軍病馬廄では、授業に関連する絵図類を描いていたと推測されてきたが、その事実を裏付けるとともに、陸軍における図画制作の一端を示す作例でもある。本作は馬の解剖図に当たり、各部位が点線で区画され、その説明が画面左に列記されている。

イ 寄贈・寄託・借用

(寄贈)

	寄贈主	資料名	件 - 点
1	個人(神奈川県在住)	下村観山資料群	1件599点
2	個人(神奈川県在住)	青磁共蓋劃花牡丹文壺 1合 外	1件118点
8	個人(神奈川県在住)	紙雛	1件 1点
4	個人(神奈川県在住)	高砂	1件 3点
		合 計	4件721点

(寄託)

	資 料 名	件 - 点	当初寄託年月日
1	江の島関係浮世絵コレクション	88点	昭和 56 年 4 月 1 日
2	重要文化財 木造他阿真教坐像	1点	平成 17 年 5 月 24 日
3	束帯天神像 外	9点	平成 21 年 4 月 24 日
4	祖栄筆 柳に鷺図 外	18点	平成 21 年 8 月 1 日
5	眞葛焼	19点	平成 22 年 3 月 1 日
6	高浮彫大鷲雀捕獲花瓶 外	5点	平成 23 年 10 月 8 日
7	高浮彫桜二群鳩大花瓶 外	2点	平成 23 年 10 月 8 日
8	高浮彫牡丹二眠猫覚醒大香炉 外	5点	平成 24 年 3 月 27 日
9	龍神立像	1点	平成 25 年 4 月 25 日
10	潘閔図 右都御史筆	1点	平成 25 年 7 月 2 日
11	阿羅漢図	3点	平成 25 年12 月 1 日
	合 計	152点	

(借用)

	資料名	件-点	当初借用年月日
1	県重要文化財 紙本墨画淡彩 十六羅漢図	1件17点	昭和44年3月1日
2	県重要文化財 絹本着色 熊野権現影向図	1件1点	昭和44年3月1日
3	県重要文化財 絹本着色 両界曼荼羅図 外	1件37点	昭和44年7月1日
4	東山天皇即位図屏風	1件1点	昭和47年6月17日
5	常滑印花文壺 外	1件12点	昭和48年3月1日
6	東海道図屏風	1件1点	昭和49年7月1日
7	源氏物語図屏風	1件1点	昭和50年3月10日
8	絹本着色 七星如意輪曼荼羅図 外	1件25点	昭和50年6月1日
9	横浜浮世絵	1件473点	昭和52年1月10日
10	張交屏風	1件1点	昭和52年7月15日
11	下村観山デスマスク 外	28件414点	昭和53年4月1日
12	木造薬師如来坐像	1件1点	昭和56年2月25日
13	大小曆コレクション(長谷部コレクション)	1件40点	昭和59年4月1日
14	双六(下村観山)	1件1点	昭和59年7月1日
15	鴉図 外(以天宗清)	1件2点	昭和63年7月7日
16	短刀(チャールズ・ワグマン所用)	1件1点	平成2年8月25日
17	江島金沢八景図屏風 外	1件4点	平成4年12月1日
18	本牧風景 外	1件2点	平成5年6月15日
19	鶴岡八幡宮境内出土品の内 板草履の芯 外	1件19点	平成7年3月1日
20	梵鐘	1件1点	平成10年1月1日
21	仁清意鶏形香合 外	1件4点	平成12年3月1日
22	俵藤太絵巻	1件5点	平成12年5月1日
23	好色十二候 外(喜多川歌麿)	1件12点	平成12年12月20日
24	箱根権現縁起絵巻 付 納入箱	1件2点	平成13年8月1日
25	闘鶏下絵 外(下村観山)	1件3点	平成21年3月1日
	合計	52件1,080点	

ウ 修理

北尾政演「青楼名君自筆集」より『瀬川 松人』(CW0003409)

北尾政演「青楼名君自筆集」より『あふぎや 滝川 花扇』(CW0003410)

北尾政演「青楼名君自筆集」より『まつがねやうち 東家 九重』(CW0003411)

・大きさ 各約38×61 cm

修理前は一枚ずつ、裏打紙が施されている状態であった。裏打紙に水を被ったと思われる染みがあったほか、かつて画帖仕立てであった時の折れや紙が弱くなっている部分があった。作品を将来的に保存、活用するため、傷んだ裏打ち紙の除去、洗浄、補強などの修復作業を行った。

エ 貸出

	申請者・目的	資料名	件-点	利用方法	利用期間
1	大阪市立美術館 特別展 「山の神仏」展	熊野権現影向図	1件1点	展示	平成26年 3月1日 ～ 6月30日

2	馬の博物館 特別展企画 「歌舞伎と馬」展	矢の根五郎 曾我時致乗裸馬駆大磯	2件2点	展示	平成26年 4月15日 ～ 6月20日
3	岡山県立美術館 企画展 「岸田吟香・劉生・麗子 知られざる精神の系譜」展	天皇御巡幸図 米山峠旗持山	2件2点	展示	平成26年 4月1日 ～ 6月15日
4	うらわ美術館 「開館15周年記念 サッカー展、イメージのゆくえ」展	井上探景(安治)「新板学校あそび」	1件1点	展示	平成26年 4月7日 ～ 7月4日
5	富山県立山博物館 特別展 「立山禅定名所案内」展	山海見立相撲 越中立山 山海見立相撲 安房清住山 山海見立相撲 播磨 室の津 山海見立相撲 相撲大山 山海見立相撲 相撲浦賀 山海見立相撲 備前偷賀山 諸国名所百景 越中立山真景 諸国名所百景 大和よし野山 諸国名所百景 武蔵秩父山中 諸国名所百景 信州浅間山真景 諸国名所百景 信州善光寺道久須里山 諸国名所百景 伯耆下谷風景 諸国名所百景 出羽鳥海山 諸国名所百景 備前滝口山 諸国名所百景 讃州五剣山	15件15点	展示	平成26年 7月16日 ～ 9月11日
6	仙台市博物館 特別展 「樹木礼讃 日本絵画に描かれた木と花の美」展	花鳥図 渡唐天神図 富嶽三十六景 甲州三島越 名所江戸百景 八景坂鎧掛松 名所江戸百景 小奈木川五本まつ 名所江戸百景 浅草川首尾の松麿河岸 名所江戸百景 綾瀬川鐘か淵 名所江戸百景 上野山内月のまつ 名所江戸百景 王子装束糸の木 大晦日の狐火 東海道名所之内田子浦蛇松 木曾海道六拾九次之内 本山 木曾海道六拾九次之内 伏見	12件12点	展示	平成26年 9月1日 ～ 11月28日
7	静岡市東海道広重美術館 「本陣公園20周年記念企画 江戸と明治の天才 広重×香山 世界が絶賛した浮世	高浮彫桜に群鳩花瓶 高浮彫金彩孔雀大花瓶 紫釉盛絵杜若花瓶 高浮彫牡丹に眠猫蓋付水指	8件12点	展示	平成26年 9月11日 ～

	絵と幻のやきもの」展	高取袖渡蟹水盤 高浮彫風神雷神花瓶 高浮彫群鳩飛来花瓶 高浮彫南天に鶉花瓶			11月30日
8	品川区立品川歴史館 平成26年度特別展 「品川から世界へ サムライ 海を渡る」展	FRANK LESLIE ' S ILLUSTRATED NEWSPAPER, June 2 1860 FRANK LESLIE ' S ILLUSTRATED NEWSPAPER, June 9 1860 HARPPER ' S WEEKLY JOURNAL OF CIVILIZATION May 26 1860 HARPPER ' S WEEKLY JOURNAL OF CIVILIZATION, June 30 1861 ポーハタン号模型	5件5点	展示	平成26年 9月24日 ~ 12月10日
9	横浜みなと博物館 企画展 「日本の海の玄関 大さん橋 物語」展	イラストレイテッド・ロンドン・ニュー ス1864年11月19日「下関海域におけ る9月5日の作戦」「長州藩の砲撃」 東京オリンピック公式第1号ポスター	2件2点	展示	平成26年 9月26日 ~ 11月30日
10	豊橋市二川宿本陣資料館 企画展 「旅セヨ乙女」展	江之島(擬蓬莱) 海道名物志 箱根山 東海道五十三次細見図会 神名川 東海道五十三次細見図会 大磯 東海道五十三次之内 沼津 東海道 十五 五十三次 吉原 東海道 十七 五十三次 由井 東海道 四十一 五十三次 鳴海 東海道五十三次 九 大磯	9件9点	展示	平成26年 9月17日 ~ 11月28日
11	太田記念美術館 特別展 「没後150年記念 歌川国 貞」展	東海道五十三次之内 神奈川宿 五十三次内 神奈川 お高祖頭布美人 雪中浅草遠景 無題 役者雪月花 雪 無題 役者雪月花 花 雪のあした 無題 (雪合戦) 紅毛油画名所尽 錦帯橋 当世押絵羽子板 市川門之助当り狂言 ノ内阿古屋 武蔵坊弁慶・御曹子牛若丸 中村座大入楽屋当り振舞之図 誂織当世島(噴水の玩具) 誂織当世島(金魚すくい) 誂織当世島(船の玩具) 見立役者五十三対の内 掛川	15件15点	展示	平成26年 9月19日 ~ 12月9日
12	坂東市立猿島資料館(さし ま郷土館ミュージズ)	男女の肖像 夏山		展示	平成26年 10月16日

	特別展「生誕 150 年 日本近代洋画の先駆 二世五姓 田芳柳」展		2 件 2 点		~ 平成 27 年 3 月 13 日
13	神奈川県立神奈川工業高等学校同窓会 「彩色立面図に見る近代建築 岡義男氏作品 展示会」展	岡義男氏制作彩色立面図のうち 赤レンガ倉庫 2 号館 旧柳下邸 横浜ユナイテッドクラブ 旧生糸検査所(国合庁) 旧第一銀行横浜支店(YCC) 大倉山記念館 横浜海岸教会 横浜銀行協会 華頂宮邸 鎌倉文学館 横浜ゴム平塚記念館 鎌倉教会会堂	1 件 12 点	展示	平成26年 10月29日 ~ 11月5日
14	ふくやま美術館 & 山梨県立美術館 「夜の画家たち—蠟燭の光とテネブリスム—」展	御厩橋之図 我野戦砲兵九連城幕営攻撃 冒営口巖寒我軍張露営之図	3 件 3 点	展示	平成27年 1月10日 ~ 6月20日
15	練馬区立石神井公園ふるさと文化館 特別展「富士山 - 江戸・東京と練馬の富士 - 」展	富嶽三十六景 凱風快晴 富嶽三十六景 諸人登山 素顔夏の富士 一富士二鷹三茄子の初夢を見る大黒天 富士三十六景 東都御茶の水 富士三十六景 雑司かや不二見茶や 名所江戸百景 浅草田圃西の町鮎 富嶽三十六景 山下白雨 富士山之図	9 件 9 点	展示	平成27年 1月14日 ~ 3月25日
16	静岡市美術館 練馬区立美術館 「没後 100 年 小林清親」展	東京橋場渡黄昏景 三都三美人 駿洲湖日没の富士 鴨と蓮 橋場の夕暮 大伝馬町大丸 池の端花火 少名毘古那神を掌にのせた大国主命 武蔵百景之内 品川見越ノ月 武蔵百景之内 両国花火 武蔵百景之内 目くろいゑんひう蔵 武蔵百景之内 浅草寺本堂 武蔵百景之内 隅田川よ利真乳山遠景 武蔵百景之内 池上本門寺	1 件 14 点	展示	平成27年 1月24日 ~ 3月31日 (静岡市美術館) 平成27年 3月31日 ~ 5月31日 (練馬区立美術館)

17	県立金沢文庫 特別展「津久井光明寺」展	十六羅漢図(光明寺所蔵)	3件18点	展示	平成27年 2月3日 ~ 4月30日
		夢窓疎石像(光明寺所蔵)			
		清拙正澄墨蹟			
		合 計			

才 特別利用

	申請者・目的	資料名	件-点	利用方法	利用機関
1	大倉精神文化研究所・調査研究	山水花鳥図(歌川広重)	2件2点	熟覧、撮影	平成26年 6月26日
2	個人・調査研究	江島紀行 大森 ほか(魚屋北溪ほか)	20件20点	閲覧、撮影	平成26年 7月11日
3	個人・調査研究	夕立ほか(歌川豊国)ほか	47件47点	閲覧、撮影	平成26年 8月20日
4	個人調査研究	前島宗祐筆 四季耕作図 屏風(前島宗祐)	1件1点	熟覧、撮影	平成26年 4月9日
		右都御史之印 竹鷄図扇 面(狩野玉染)	1件1点	熟覧、撮影	
		啓孫筆 虎溪三笑図(啓 孫)	1件1点	熟覧、撮影	
		啓孫筆 出山釈迦図(啓 孫)	1件1点	熟覧、撮影	
		合 計	73件73点		

(4) 民俗資料

イ 寄贈・寄託・借用 (借用)

	資 料 名	件 - 点	当初借用年月日
1	階段 外	1件4点	昭和43年4月1日
2	神楽面 外	1件151点	昭和44年12月11日
3	お食初め膳 外	1件3点	昭和46年10月23日
4	燭台	1件1点	昭和47年3月6日
5	長持 外	1件2点	昭和47年3月6日
6	お歯黒さし 外	1件2点	昭和47年3月8日
7	お歯黒の道具	1件1点	昭和47年3月11日
8	ミノ	1件2点	昭和47年7月11日
9	天狗の面 外	1件3点	昭和48年2月27日
10	帳場格子 外	1件15点	昭和48年3月2日
11	結納樽	1件1点	昭和48年4月1日
12	スエヒロ	1件3点	昭和48年8月20日
13	鏡台と鏡 外	1件4点	昭和49年4月26日
14	張子面木型	1件7点	昭和51年6月19日
15	獅子皿 外	1件9点	昭和54年3月1日
16	婚礼用具	1件1点	昭和54年3月1日
17	足踏み脱穀機	1件2点	平成6年4月15日
	合 計	17件211点	

エ 貸出

	申請者・目的	資料名	件 - 点	利用方法	利用期間
1	横浜市歴史博物館 企画展 「昔のくらしと年中行事 - ちょっとむかしのよこ はま - 」	カセドリの道具(横浜市緑区川向町) ノウギー式(藤野町牧野)	2件 18点	展示	平成 26 年 1月 15 日 ~ 4月 5 日
	合 計		2件 18点		

オ 特別利用

	申請者・目的	資料名	件 - 点	利用方法	利用期間
1	個人調査研究	背守り	1件 1点	熟覧、撮影	平成 26 年 10月 1 日
2	奈良文化財研究所 都城発掘調査部 (平城)	大工道具 七沢	1件 121点	熟覧、撮影	平成 27 年 3月 13 日
		大工道具 酒井	1件 31点	熟覧、撮影	
		杣道具 三増	1件 42点	熟覧、撮影	
	合 計		4件 195点		

(5) 写真資料

ア 平成 26 年度写真撮影資料

(ア) 特別展図録用

- ・「白絵 - 祈りと寿ぎのかたち - 」
- ・「陸にあがった海軍 - 連合艦隊司令部日吉地下壕からみた太平洋戦争 - 」
- ・「中世東国の茶 - 武家の都鎌倉における茶の文化 - 」

(イ) コレクション展示用

- ・「庶民の祈り - 御礼・御守のさまざま - 」

(ウ) 特別陳列用

- ・「よみがえる東京オリンピック」

(6) 資料の燻蒸等

原則として、IPM(総合的病害虫管理 Integrated Pest Management)に基づき、薬剤による定期的な燻蒸は行っていないが、設備の老朽化に伴い収蔵環境が不安定になったことから、考古、民俗、絵画収蔵庫を対象とした密閉燻蒸を実施した。また、年間を通して定期的に館内の虫菌相・保存環境調査を実施し、必要に応じて脱酸素剤による処理を行っている。

(7) その他の資料

ア 図書

平成 26 年度図書資料の状況は次のとおりである。大学等の関係機関からの寄贈も多く、当館の貴重な資料として活用されている。

受入種別	購入	寄贈	計	総数	ライブラリー公開数
図 書(冊)	3	409	412	19,105	4,352
逐次刊行物(タイトル)	21	40	61	3,787	82

逐次刊行物はタイトル数で、寄贈は新規のみの数値。

イ 映像

ライブラリーのおよそ 300 本のビデオテープや DVD が利用できる。分類は次のとおり。

A 古代、B 中世、C 近世、D 近代、E 現代、F 民俗、G 当館・博物館、H 日本の歴史、I その他

ウ 写真

展示・調査研究資料として、収蔵資料を中心に撮影したフィルム 99,763 枚を保存し、データベース化するとともに、写真の特別利用として貸出しを行っている。

特別利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	12	16	22	21	22	12	25	20	13	20	20	37	240
点数	33	40	49	28	75	172	72	39	20	56	42	80	706

エ 情報システム

(ア) システム整備の目的と背景

- ・学習の支援
- ・高度な知的ニーズへの対応
- ・博物館活動の活性化、効率化
- ・研究活動の高度化
 - 各種アプリケーションの利用
 - 博物館が所有する情報の活用
- ・情報公開

博物館の再編整備の方向（「県立博物館整備構想に関する提言」昭和 63 年度）

- (1) 高度情報化社会における自然・文化の情報センター
- (2) 映像資料等、新しい形態の資料の収集・保存と活用の拠点
- (3) 内外の博物館、学習文化施設等とのネットワークの拠点

(イ) システム開発と運用

システム基本設計・詳細設計	平成 5 年度
システム運用開始	平成 7 年度
システム更新	平成 13 年度、平成 17～18 年度、平成 23 年度

(ウ) 稼動しているシステム（「デジタルミュージアム」）の内容

a 展示情報システムの内容

ミュージアムライブラリーに設置された 3 台の来館者用パソコンで提供。一部の資料については、高精細の拡大画像も提供。

従来、館内利用に限定されていた展示情報システムは、当館のホームページに掲載され、利用者が自宅や学校で閲覧可能(タイトルのうち、2 絵馬、5 水墨画、12 収蔵コレクションは除く)。

	タイトル	内容
1	浮世絵	博物館所蔵の約 7,000 点ある浮世絵の中から、浮世絵の歴史、神奈川を描いた浮世絵、横浜浮世絵、著名な浮世絵師たち、一枚の絵から見る江戸時代の風俗など、テーマごとに選択した 230 点の浮世絵を紹介。
2	絵馬	神奈川県でよく見ることが出来る絵馬や珍しい絵馬など 125 点を紹介。
3	関東大震災	震災時の惨状等を伝える写真資料 70 点を紹介。
4	古地図・絵地図	当館収蔵の古地図の中から 50 点を紹介。館内端末では拡大画像により、細部まで見ることが可能。
5	水墨画	平成 10 年度に開催した水墨画の特別展に出品された作品の中から代表的な作品 85 点を紹介。

6	横浜正金銀行	かつて世界三大為替銀行の一つに数えられた横浜正金銀行の写真資料 221 点を紹介。
7	眞葛焼	かつて世界に名を知られた横浜の焼き物の中から 46 点を紹介。
8	鎌倉彫	館蔵品の鎌倉彫の中から 32 点を紹介。
9	後北条氏関係文書	戦国大名北条氏の多様な文書の世界を人物などとともて 118 点を紹介。
10	東海道分間絵図	東海道の情景を描いた道中案内記(1 件 5 冊)を紹介。拡大画像により、細部まで見ることが可能。
11	県有形民俗文化財 職人の道具コレクション	神奈川県指定有形民俗文化財「神奈川の職人の道具コレクション」(17 職種 1,982 点)のうち、大山地師、小田原物差職人、下駄職人、傘職人の道具など、338 点を紹介。
12	収蔵コレクション	収蔵データベースの一部について、概要を一覧形式で提供する。 考古：206 点、中世文書 96 点、彫刻：14 点、中世絵画 80 点、 浮世絵：288 点、近代歴史資料 260 点、近代絵画 156 点、民俗 306 点

この他に、神奈川県立生命の星・地球博物館が作成・提供している「神奈川の自然」「恐竜」「酒井コレクション細密画」「図書・雑誌検索」も閲覧が可能

b 業務システムの内容

・収蔵資料管理システム

収蔵品管理機能、画像登録機能、受入管理機能、特別利用管理運用機能、各種帳票ラベル出力機能

・図書文献管理システム

(I) システム構成

a 概要

- ・サーバOS：Red Hat Enterprise Linux ES v3、Windows Server 2008
- ・クライアントOS：Windows7

b 設置機器

(a) 情報処理室・電源室

収蔵システムサーバ 1 台、Web サーバ 1 台、展示情報用サーバ 1 台
アップデートサーバ 1 台、図書サーバ 1 台、作業用パソコン 7 台

(b) ミュージアムライブラリー

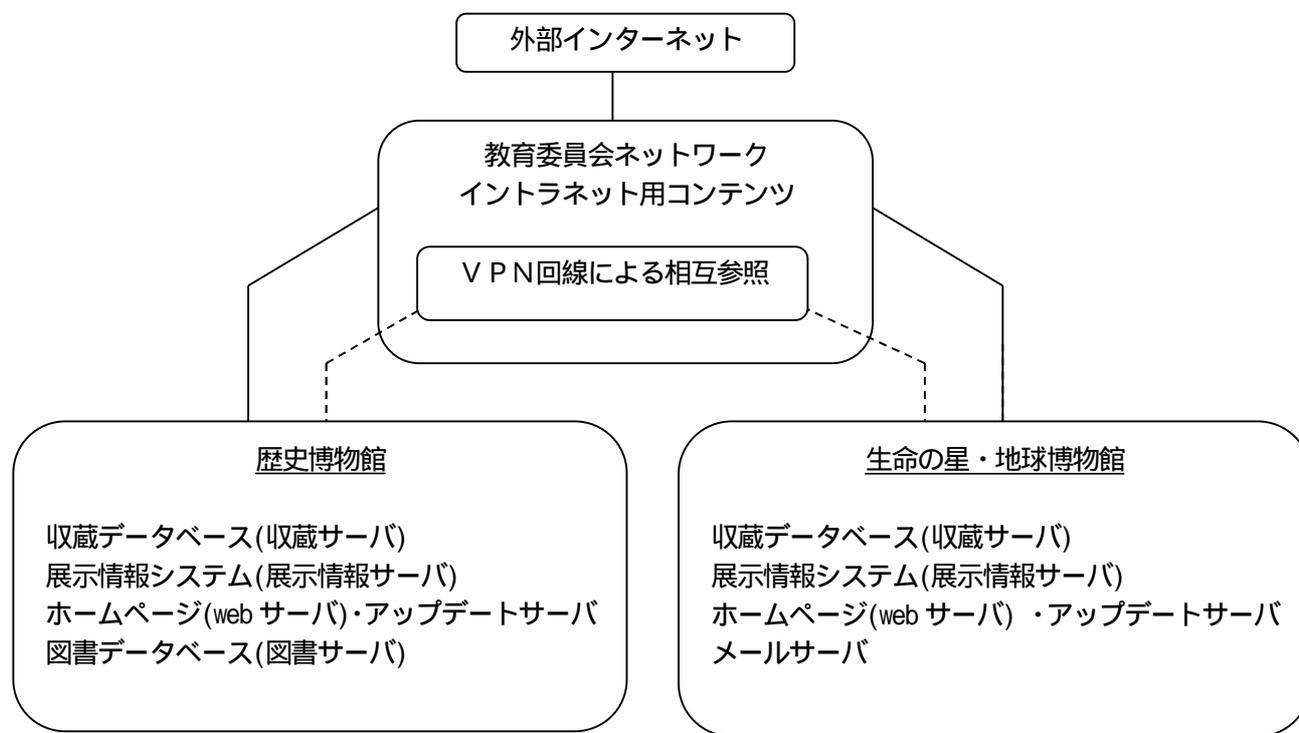
来館者用パソコン 3 台
レファレンス用パソコン 2 台

(c) 展示機材倉庫・印刷室

画像入力用パソコン 2 台

(d) 学芸部室・学芸部各資料整理室・管理課室・企画情報部室・図書資料整理室・写真室・暗室
各室作業用パソコン 計 36 台

(オ) 歴史博物館システム機器構成図



(カ) 歴史博物館ホームページ アクセス件数

参考(内数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
HP	51,110	56,740	45,689	49,956	56,074	45,937	45,564	51,333	38,656	52,898	67,833	67,285	629,075
携帯	1,469	1,498	1,429	1,600	1,515	1,251	1,579	1,586	1,099	1,470	1,628	1,830	17,954
合計	52,579	58,238	47,118	51,556	57,589	47,188	47,143	52,919	39,755	54,368	69,461	69,115	647,029

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
デジタル ミュージアム	2,431	2,881	2,843	2,941	3,154	2,782	2,951	2,754	2,232	2,697	3,024	3,235	33,925
子ども向け ページ	1,121	1,195	1,399	1,263	1,414	1,384	1,536	1,274	1,137	1,346	1,241	1,275	15,585

5 展示・教育普及・学習支援

(1) 常設展

当館の常設展示は「文化の交流と変容」という基本テーマに基づき、「かながわの文化と歴史」について、五つの時代に分け、それぞれのテーマのもとに、人々の生活や信仰、政治や経済の変化、外来文化の影響などを、さまざまな角度からとらえ、歴史的視点で展開している。

- 1 さがみの古代に生きた人びと
 - ・大地に生きる狩人
 - ・海への進出
 - ・米づくり、はじまる
 - ・古墳を築く
 - ・都とさがみの国
- 2 都市鎌倉と中世びと
 - ・源頼朝と東国武士団
 - ・戦国大名後北条氏
 - ・掘り起こされた鎌倉
 - ・唐物とその影響
 - ・民衆と仏教
- 3 近世の街道と庶民文化
 - ・宿場と関所
 - ・庶民信仰と名所めぐり
 - ・村の支配と生活
 - ・相武の産物と江戸
- 4 横浜開港と近代化
 - ・蒸気船が導いた新たな時代
 - ・世界へ開かれたみなとYOKOHAMA
 - ・文明開化の音
 - ・近代化と神奈川
 - ・横浜浮世絵に見る神奈川
 - ・横浜正金銀行
- 5 現代の神奈川と伝統文化
 - ・関東大震災を越えて
 - ・昭和恐慌と社会変化
 - ・戦時体制と敗戦
 - ・占領から講和へ
 - ・高度経済成長と環境の変化
 - ・メディアコミュニケーション
 - ・変貌する町と村
 - ・イエと暮らし
 - ・くらしの中の祈り
 - ・なりわいと儀礼
 - ・伝承される技術と芸能

(2) 特別展

ア 「明治大学 クリスチャン・ポラックコレクション 繭と鋼 神奈川とフランスの交流史 」

会 期：平成26年4月26日(土)～6月22日(日)

主 催：神奈川県立歴史博物館

後 援：在日フランス大使館/アンスティチュフランセ日本、横浜市教育委員会、横須賀市教育委員会、かながわ日仏協会、神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、tvk(テレビ神奈川)、雄松堂書店

展示資料件数：1,920件

入場者数：10,611名(有料4,275名、無料6,336名)

担 当：学芸員 角田 拓朗

概 要： 在日フランス人として、長年日仏交流史を研究し、関連資料を収集してきたクリスチャン・ポラック氏のコレクションの全貌を紹介する初の試み。そのコレクションの大半が明治大学図書館に収まったことをうけ、明治大学と共催となった。全5セクションから構成し、絹、横浜、横須賀、絵画、写真とわけて、ヴィジュアル・イメージの豊か

な展覧会となった。輸出用の絹商標や、若き横浜や横須賀の姿をつたえる貴重な写真など、これまでまとめて紹介される機会の乏しかった資料が数多く、有識者から高い評価を得た。会期冒頭で、本展に関連する富岡製糸場が世界遺産への登録勧告を受けたことをうけ、さらに注目が高まった。なお、図録は当館による編集、明治大学による刊行だった。

特別展関連行事

記念講演会(無料、ただし特別展観覧券が必要)

日 時：5月11日(日) 14:00~16:00

演 題：コレクションの形成とその概要

講 師：明治大学客員教授 クリスチャン・ポラック氏

会 場：神奈川県庁本庁舎大会議場

応募者：122名

受講者：119名

県博セミナー 期(生涯学習課主管の県立機関活用講座、全3回連続、有料(3,000円・1回のみ受講の場合は、1,000円) 14:00~16:00)

・全体テーマ：「日仏文化交流をたどる」(応募者160名 単回を含む事前申込者)

・第1回 :6月1日(日)(受講者41名)

「日仏交流の歩み」 明治大学准教授 川嶋周一 氏

・第2回 :6月8日(日)(受講者45名)

「文学における日仏交流 『レ・ミゼラブル』から21世紀まで」 早稲田大学文学学術院非常勤

講師 辻村永樹 氏

・第3回 :6月15日(日)(受講者39名)

「日仏美術交流の諸相 日米美術交流と比較しながら」 埼玉県立近代美術館学芸員 五味良子 氏

現地見学会「横浜山手のフランス史跡をめぐる」(無料)

日 時：5月25日(日)14:00~17:00

講 師：学芸員 角田 拓朗

応募者：79名

参加者：31名

GW 特別子ども向けイベント「見つけて見よう！日本の中のフランス」(展示室内で「フランス」を探し出すクイズ)

期 間：5月3日(土・祝)~6日(火・振替休日)

参加者：78名

学芸員による展示解説

講 師：学芸員 角田 拓朗

時 間：13:30~14:00

- | | | |
|-----------------|-----|-----|
| ・第1回：4月26日(土) | 参加者 | 42名 |
| ・第2回：4月29日(火・祝) | 参加者 | 40名 |
| ・第3回：5月3日(土) | 参加者 | 30名 |
| ・第4回：5月5日(月・祝) | 参加者 | 32名 |
| ・第5回：5月17日(土) | 参加者 | 27名 |
| ・第6回：5月31日(土) | 参加者 | 40名 |
| ・第7回：6月7日(土) | 参加者 | 27名 |
| ・第8回：6月21日(土) | 参加者 | 55名 |



出品目録

(凡例) 資料番号、資料名、著者・所蔵等(番号が付してある資料・作品、また追加出品となっている資料・作品は、すべて明治大学図書館所蔵。特別出品、参考出品のうち所蔵明記がないものは、すべて個人蔵)

<p>- 1 レオン・ド・ロニー訳『養蚕新説』 1869(明治2)年2版 2冊 22.1×14.2 / 21.8×14.5 書籍:活版・銅版</p> <p>- 2 バヴィエル著『日本の養蚕、絹および蚕種の商取引、絹産業』 1874(明治7)年 1冊 27.8×18.2 書籍:活版・銅版</p> <p>- 3 アダムス著『日本の中央養蚕地域に関するアダムス氏の報告書』 1870(明治3)年 1冊 32.0×20.9 書籍:活版</p> <p>- 4 アダムス著『日本の絹文化に関するアダムス氏の第三次報告書』 1871(明治4)年 1冊 32.2×21.1 書籍:活版</p> <p>- 5 『大日本帝国の有名生糸生産者とその商標』 1904(明治37)年 1冊 29.5×21.8 書籍:活版・網版</p> <p>- 6 『日本の養蚕業と主要生糸生産業者』 1922(大正11)年 1冊 25.5×18.7 書籍:活版印刷</p> <p>- 7 大日本蚕糸会発行『日本養蚕業史要覧』 1911(明治44)年 1冊 18.2×25.8 書籍:活版・網版</p> <p>- 8 商標コレクション 156点 紙・石版印刷ほか</p> <p>- 9 商標アルバム 1冊・226点 38.7×27.7(アルバム外寸) 紙・石版ほか</p> <p>- 10 『図案かがみ』 1900(明治33)年前後 1冊・248点 31.8×21.0(帳面外寸) 紙・石版ほか</p> <p>- 11 『日本の代表的な製糸業者とその商標』1919(大正8)年 1冊・138点 25.9×35.7 書籍:活版・網版、商標:紙・石版ほか</p> <p>- 12 『絹織物図録』 1911(明治44)年 1冊 18.2×28.0 書籍:活版・網版</p> <p>- 13 『極東時報』 1917(大正6)年ほか 10冊 30.2×22.4ほか 雑誌:活版・網版</p> <p>- 14 F. ベアト撮影 肖像写真「ジョセフ・レノー」 1872(明治5)年 1点 8.7×5.5 鶏卵紙</p> <p>- 1 一川芳員 再刻横浜明細全図 1868(慶応4)年再板 1点 72.5×149.6 紙・多色木版</p> <p>- 2 フランス海軍中将コンラッド旧蔵アルバム 1865(慶応元)年 1冊 24.0×33.3(台紙) 鶏卵紙</p> <p>- 3 フランス公使レオン・ロッシュ旧蔵写真 余の指揮の下、建立された記念碑、L.R.不詳 1点 19.8×15.0 鶏卵紙 武装した日本の武将不詳 1点 14.7×10.4 鶏卵紙 ラ・グリエール号(500馬力プロペラ推進式フリゲート艦)参謀と乗組員の四分の一 1867(慶応3)年頃 1点 20.3×25.9 鶏卵紙 在横浜フランス公使館入口 1867(慶応3)年頃 1点 21.6×27.1 鶏卵紙</p>	<p>海側から見たフランス公使館 1867(慶応3)年頃 1点 22.1×14.2 鶏卵紙 余の指揮のもと建設された在横浜フランス公使館全景、L.R. 1867(慶応3)年頃 1点 18.9×28.2 鶏卵紙 剣道をする日本人 1867(慶応3)年頃 1点 10.4×14.1 鶏卵紙</p> <p>- 4 セール・エ・コンパニー関係資料 写真「ポワリエ・ロバン社代理店」 不詳 1点 21.0×13.9 ゼラチン・シルバー・プリント 販売促進用葉書 不詳 1点 9.1×14.0 紙・網版 封筒 不詳 1点 7.7×13.0 紙・石版 横浜スール・ド・サンモール学校通信簿 1913(大正2)年 1点 27.4×23.7 紙・印刷、一部書き入れ</p> <p>- 5 ピエール・ペルティエ関係資料 ペルティエ宛ルイ・デュボワ書簡 1889(明治22)年 1点 27.5×43.0 紙・インク ペルティエ宛ルイ・デュボワ書簡 1893(明治26)年 1点 26.8×41.6 紙・インクほか5点</p> <p>- 6 肖像写真「ロビゾン商会」 1905(明治38)年頃 1点 19.8×26.5 鶏卵紙</p> <p>- 7 肖像写真「デュピュッフェ・ラグランジュ・エ・コンパニー」 1900(明治33)年頃 1点 20.9×26.7 鶏卵紙</p> <p>- 8 広告「デュピュッフェ・ラグランジュ・エ・コンパニー」サミュエル・ピング・エ・コンパニー カタログ『中国と日本』より 1900(明治33)年頃 1冊 17.5×27.2 冊子:活版・網版</p> <p>- 9 グランド・ホテル ガイドブック 『時刻表』 1890(明治23)年頃 1冊 15.1×11.1 冊子:活版 『横浜とその近郊案内』 1890(明治23)年頃 1冊 12.7×9.0 冊子:活版 『時刻表』 不詳 1冊 11.0×8.1 冊子:活版 『時刻表』 不詳 1冊 15.5×9.7 冊子:活版 『時刻表』 不詳 1冊 14.2×10.3 冊子:活版</p> <p>- 10 時刻表 『横浜東京案内』 1889(明治22)年 1冊 15.5×11.1 冊子:活版 『時刻表』 1896(明治29)年 1冊 14.0×8.0 冊子:活版 『箱根案内』</p>
--	--

1909 (明治42)年6版 1冊 12.6×9.1 冊子:活版
『横浜、東京、日光、宮ノ下ほかへの旅行者に対する諸注意 鉄道時刻表付』
1868 (明治元)年 1点 12.8×7.8 冊子:活版
『財津亀三郎発行・水口瀧之助印刷『日本鉄道路線図』
1890 (明治23)年 1冊 43.6×53.4 (地図展開時)
紙・銅版印刷
『日本鉄道時刻表』
1889 (明治22)年 1冊 18.9×13.3 冊子:活版
『日本鉄道時刻表』
1890 (明治23)年 1冊 19.8×12.7 冊子:活版
『日本鉄道汽船旅行案内』
1888 (明治21)年 1冊 15.1×9.9 冊子:活版
- 11 『クラブ・ホテル ガイド』
1891 (明治24)年 1冊 17.4×12.0 冊子:活版
- 12 『神奈川県と横浜市』
1926 (昭和元)年 1冊 19.2×12.1 冊子:活版
- 13 『富士屋ホテル発行『宮ノ下とその周辺:地図と案内』
1926 (昭和元)年 1冊 20.5×19.2 冊子:活版
- 14 『ジャパン・タイムス・アンド・アドバタイザー』
1941 (昭和16)年 1冊 10.2×7.3 冊子:活版
- 1 エミール・モンゴルフィエ撮影 横浜製鉄所所長ダ
ルピエ記念アルバム
1875 (明治8)年 1冊 31.0×48.0 鶏卵紙
- 2 パノラマ写真「横須賀港全景」
不詳 1点 18.6×30.7 鶏卵紙、3紙接ぎ
- 3 肖像写真「フランス人技師たち」
不詳 1点 12.3×20.8 鶏卵紙
- 4 写真「横須賀製鉄所」
不詳 1点 20.5×26.3 鶏卵紙
- 5 横須賀製鉄所賞状
1875 (明治8)年2点 16.7×10.9 / 10.6×11.4 紙・石
版
- 6 西村松之助蔵板 四谷延陵(画工) 第二彫刻会社
慶岸堂(銅刻)
「横須賀港一覽絵図」
1878 (明治11)年 1点 36.6×51.0 紙・銅版
- 7 大塚静喜(編集兼出版人) 細井二舗(銅刻)「横
須賀一覽図」
1884 (明治17)年 1点 37.3×51.8 紙・銅版
- 8 写真「横須賀」
不詳 1点 20.4×26.6 鶏卵紙
- 9 写真「浦賀港」
不詳 1点 20.4×26.6 鶏卵紙
- 10 スティルフリード撮影 「天皇陛下と御一行」
1872 (明治5)年 1点 14.8×19.7 鶏卵紙
- 11 写真アルバム
1878 (明治11)年 1冊 27.6×22.2 鶏卵紙
- 12 リュドヴィク・サヴァティエ仏訳『花彙 日本植物
学』

1873 (明治6)年 1冊 24.8×16.6 書籍・活版
- 13 E. ジュエ『日本産樹木図集』
1868 (明治元)年 1冊 22.1×14.2 印刷・一部手書
- 14 E. ジュエ収集・作成 木材標本
不詳 1点 (木片)各10.0×6.0(箱)高12.0 幅17.5 奥
14.0
- 15 E. デュボン著『日本の森林樹木種』
1880 (明治13)年 1冊 25.2×16.7 書籍・活版
- 1 一川芳員 「横浜港仏蘭西商館之図」
1866 (慶応2)年 1点 大判錦絵三枚続 紙・多色木版
- 2 三代歌川広重 「横浜海岸フランス役館景」
1871 (明治4)年 1点 大判錦絵三枚続 紙・多色木版
- 3 立祥(二代歌川広重) 「横浜本町海岸仏郎斯役館
之全図」
1869 (明治2)年 1点 大判錦絵三枚続 紙・多色木版
- 4 芳員 「仏蘭西国」
1861 (文久元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
- 5 五雲亭貞秀 「横浜ノ商館二仏蘭西人金魚ヲ翫フ図」
1861 (文久元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
- 6 一川芳員 「仏蘭西」
1861 (文久元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
- 7 和装外国婦人肖像
不詳 1点 110.0×47.0 絹本著色 B
- 8 芳虎 「外国人遊行之図 仏蘭西人」
1861 (文久元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
- 9 芳虎 「外国人遊行之図 仏蘭西人」
1861 (文久元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
- 10 芳虎 「外国人物図画 仏蘭西」
1860 (万延元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版刷
- 11 芳員 「仏蘭西人」
1862 (文久2)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
- 12 芳虎 「外国人物盡 仏郎西」
1861 (文久元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
- 13 国久 「五ヶ国之内仏蘭西人」
1861 (文久元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
- 14 一鷗斎芳親 「フランス人遊戯」
1861 (文久元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
- 15 芳虎 「仏蘭西人岩亀遊興」
1861 (文久元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
- 16 一藝斎芳富 「生写仏蘭西人之図」
1861 (文久元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
- 17 一川芳員 「正写仏蘭西人」
1861 (文久元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
- 18 一川芳員 「仏蘭西人」
1862 (文久2)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
- 19 芳虎 「仏蘭西」
1861 (文久元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
- 20 二代歌川広重(推定)「ふらんす」
1860 (万延元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
- 21 一英斎芳艶 「蛮国人物図会 仏蘭西婦人」

1861(文久元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
 - 22 一光斎芳盛 「東都名所両国 フランス」
 1861(文久元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
 - 23 芳虎 「五カ国之内仏蘭西人」
 1861(文久元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
 - 24 五雲亭貞秀 「横浜商館仏蘭西人馬乗之図」
 1861(文久元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
 - 25 一川芳員 「欧邏巴洲之内仏蘭西国」
 1862(文久2)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
 - 26 一龍斎芳豊 「フランス人遊興」
 1860(万延元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
 - 27 芳虎 「外国人物盡 仏蘭西婦人」
 1861(文久元)年 1点 中判錦絵 紙・多色木版
 - 28 芳虎 「五カ国人物之内 仏蘭西女人」
 1861(文久元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
 - 29 一光斎芳盛 「五ヶ国之内フランス」
 1860(万延元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
 - 30 芳虎 「外国人物盡 仏蘭西」
 1861(文久元)年 1点 大判錦絵 紙・多色木版
 - 31 イレール・アルベール・フィエロン『アフリカ・アジア旅行画帳』
 1870(明治3)年頃 1冊 24.4×35.1 紙・水彩
 - 32 雑誌挿絵
 「日本 横浜の眺望」『イリュストラシオン』1868年3月28日号
 1868(明治元)年 1点 12.3×33.8 紙・銅版・手彩色
 「ロシア艦スヴェルタナ号上のロシア大公アレクセイを訪問するミカド」『ル・モンド・イリュストレ』1873年2月15日号
 1873(明治6)年 1点 36.7×46.8 紙・銅版・手彩色ほか2点
 - 33 『ル・モンド・イリュストレ』
 1864(元治元)年ほか 3冊 各38.0×28.0 紙・銅版
 - 34 エドゥアール・シャルトン著『ル・トゥール・デュ・モンド』
 1866(慶応2)年 1冊 30.7×23.0 紙・銅版
 - 35 エム・アンペール著『幕末日本図絵』
 1870(明治3)年 1冊 34.3×26.8 紙・石版
 - 36 フェリックス・レガメー著『日本』
 1903(明治36)年 1冊 32.4×25.6 紙・石版ほか
 - 37 エミール・ギメ著、フェリックス・レガメー画『日本散策』
 1878(明治11)年 1冊 28.4×22.3 紙・石版ほか
 - 38 フェリックス・レガメー著『日本の印象』
 1903(明治36)年 1冊 27.0×36.4 紙・網版ほか
 - 39 フェリックス・レガメー模写「原本：初代歌川広重 小倉擬百人一首 小野小町」
 875(明治8)年 1点 43.6×29.3 紙・多色石版
 - 40 フェリックス・レガメー《日本人女性の顔色を失わせるヴァランティーヌ》
 不詳 1点 44.0×29.8 紙・木炭

- 41 ジョルジュ・ピゴー『トバエ』
 1889(明治22)年ほか 合冊2冊ほか 33.5×24.8ほか
 紙・石版
 - 42 ジョルジュ・ピゴー『トバエ・スポール』
 1889(明治22)年ほか 1冊 25.1×19.2 紙・石版
 - 43 ジョルジュ・ピゴー『ポタン・ド・ヨコ』
 1890(明治23)年ほか 4冊 22.1×14.2 紙・石版
 - 44 ジョルジュ・ピゴー『ル・ポタン』
 1893(明治26)年ほか 1冊 35.0×26.3 紙・多色石版
 - 45 ジョルジュ・ピゴー『ラ・ヴィ・ジャポネーズ』
 1890(明治23)年ほか 2冊 33.6×24.2 紙・多色石版
 ほか
 - 46 ジョルジュ・ピゴー《磯部》
 不詳 1点 36.8×44.4 キャンバス・油彩
 - 47 ジョルジュ・ピゴー《船》
 不詳 1点 39.3×30.0 キャンバス・油彩
 - 48 ジョルジュ・ピゴー画 ポスター「自動車製造業コトロー」
 1906(明治39)年 1点 116.3×160.0 紙・多色石版
 - 49 サンディ・フック画 ポスター「メッサジュリ・マリタイム社」
 1924(大正13)年頃 1点 120.0×91.5 紙・多色石版
 - 50 ポスター「原輸出店」
 1912(大正元)年 1点 91.0×60.0 紙・多色石版
 - 1 ボール・シャンピオン撮影 ステレオ写真
 日本風景」より 横浜一望
 1865(慶応元)年頃 1点 8.6×17.4 鶏卵紙
 日本風景」より 水汲み、横浜にて
 1865(慶応元)年頃 1点 8.6×17.4 鶏卵紙
 中国と日本」より 横浜の屋台
 1865(慶応元)年頃 1点 8.6×17.4 鶏卵紙・裏より手彩色ほか6点
 - 2 立体鏡
 不詳 1点 34.2×22.2×11.3(折畳) 木製・ガラス(レンズ部分)ほか
 - 3 横浜風景
 1872(明治5)年 12点 6.5×9.3ほか 鶏卵紙
 - 4 日下部金兵衛 横浜写真アルバム
 不詳 1冊 27.2×36.0 鶏卵紙・手彩色
 - 5 横浜写真アルバム
 不詳 2冊 蒔絵表紙装：26.0×34.4 / 折本仕立：21.2×27.0 鶏卵紙・手彩色
 - 6 フランス人神父撮影写真1905(明治38)年頃 158点
 各9.1×12.2 ゼラチン・シルバー・プリント
 - 7 集合写真「日本在住フランス人の出発、1914年」
 1914(大正3)年 1点 14.0×20.5 ゼラチン・シルバー・プリント
 - 8 絵葉書コレクション 281点 各9.0×14.0 紙・網版

追加出品

下岡蓮杖撮影写真
男性肖像 浦賀 浦賀
Japon 櫓 山門 横浜
不詳 各1点 各00.0×00.0 鶏卵紙
横須賀風景写真
不詳 3点 10.2×16.2、6.0×9.8、5.4×8.1 鶏卵紙
スタイルフリード撮影写真
男性肖像 不詳 男性肖像 1875年 男性肖像 1876年 女性肖像 不詳 各10.5×6.4 鶏卵紙
ステレオ写真
1920年代 12点 各8.9×17.8 紙・網版
ステレオ写真
1930年代 19点 各8.9×17.8 紙・網版

特別出品

ケンペル著『日本誌』仏訳版
1765年 6冊 各26.0×21.8 書籍：活版、挿絵：銅版
J. ホフマン訳『養蚕秘録』
1848(嘉永元)年 1冊 26.0×21.8 書籍：活版、挿絵：銅版
馬場大助克昌「資生圃百合図」
ミシェル・サヴァティエ コレクション
不詳 1冊 外寸：29.0×39.0 百合図本紙：26.3×36.5 紙本著色
リュドヴィク・サヴァティエ書簡
ミシェル・サヴァティエ コレクション
1863(文久3)年 1通 21.1×27.2 紙・ペン
アルフレッド・ルサン 中国と日本
フランス防衛省史料館
1862(文久2) - 1865(慶応元)年 紙・水彩(パネル展示)

蚕業関係資料

繭 品種：小石丸 一般財団法人日本蚕糸会
繭 品種：錦秋×鐘和 一般財団法人日本蚕糸会
生糸見本 繭品種 2013年産プラチナボーイ
一般財団法人日本蚕糸会
蚕標本模型 シルク博物館
束装生糸 猪口造り シルク博物館
アンペラ シルク博物館
富岡製糸場(現況：パネル展示) 富岡市・富岡製糸場提供

参考出品

『養蚕秘録』
1896(明治29)年 3冊 11.2×15.5 版本
『レイ・エミーユ・ベルタン』
1896(明治29)年 3冊 11.2×15.5 書籍：活版
『製糸業と絹の国』
1896(明治29)年 1冊 11.2×15.5 書籍：活版
原輸出店カレンダー「孔雀明王像」

1913(大正2)年 1点 98.5×38.5 本体：石版印刷 孔雀明王像：多色木版
大日本製糸場商標集
1冊・187点 16.5×18.2 商標：紙・石版ほか
商標コレクション 183点 商標：紙・石版ほか
小田長四郎点生糸商標アルバム
1924(大正13) - 1938(昭和13)年頃 1冊・203点
22.4×30.3 商標：紙・石版・網版ほか
写真「フランス領事館」
1896(明治29)年 1点 11.2×15.5 鶏卵紙
絵葉書「横浜仏国領事館並二谷戸橋」
1905(明治38)年頃 1点 9.0×14.0 紙・網版
絵葉書「横浜谷戸橋」
1905(明治38)年頃 1点 9.0×14.0 紙・網版
『読解法』
1867(慶応3)年 1冊 36.3×27.1 紙・木版
追浜飛行機関連絵葉書
1910 - 20年代 6点 9.0×14.0 紙・網版
A. フランシエ、L. サヴァティエ共著『日本植物目録』
1875(明治8)年 2冊 23.7×17.0 書籍：活版
博物科編『草木図説目録』
1875(明治8)年 1冊 19.7×14.6 書籍：活版
伊藤謙撰 柴田承桂・村井純之助校補『増訂薬品名彙』
1883(明治16)年 1冊 19.0×13.8 書籍：活版
『中部日本への小旅行案内』
1882(明治15)年 1冊 17.2×11.7 書籍：活版
『今日の人々』「フェリックス・レガメー」
不詳 1冊 27.1×19.1 紙・多色銅版
フェリックス・レガメー『日本』
フェリックス・レガメー《川之辺一朝肖像》1899(明治32)年(推定) 1点 17.7×18.2 紙・鉛筆
ジョルジュ・ピゴール『ル・ポタン』
1868(明治元)年ほか 5冊 35.0×26.3 紙・多色石版
ポスター「原輸出店」
1907、08、10、11(明治40、41、43、44)年 4点 各91.0×60.0 紙・多色石版
ポスター「高島屋」
1910(明治40)年頃 1点 91.9×61.8 紙・多色石版
カンブルドン旧蔵アルバム
1890(明治23)年頃 29点 31.4×39.0(台紙) 鶏卵紙
立体鏡
不詳 1点 9.0×14.0
フランス人日本旅行アルバム
1905(明治38) - 1906(明治39)年 1冊 27.2×36.6
(アルバム本体) 表紙：蒔絵 写真：ゼラチン・シルバー・プリント
メッサジュリ・マリティム社製絵葉書
不詳 23点 各9.0×14.0 紙・網版
在日フランス商業会議所初代会頭レイ・バルモン旧蔵絵葉書
不詳 38点 各9.0×14.0 紙・網版

イ 「白絵 祈りと寿ぎのかたち」

会 期：前期 平成 26 年 10 月 11 日(土)～10 月 26 日(日)
後期 平成 26 年 10 月 28 日(火)～11 月 16 日(日)

主 催：神奈川県立歴史博物館 / 文化庁

後 援：神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、NHK 横浜放送局、tvk(テレビ神奈川)

展示資料件数： 72 件

入場者数：10,835 名(有料 2,287 名、無料 8,448 名)

担 当：学芸員 小井川 理

概 要： 平安時代以来、出産の際には産所の調度や装束を白一色に調えることが行われた。白のしつらいは、寛弘五年(1008)、後一条天皇誕生の場面を描写する『栄花物語』巻八初花に「墨絵のこちしていとなまめかし」と記され、「紫式部日記絵巻」には白いしつらいの中で行われた産後の祝儀の様子が美しく描き出される。産所には、白綾を貼った「白綾屏風」が立て回され、それは、やがて白地に白で松竹鶴亀を描く「白絵屏風」へと変化するが、それらは白や銀を多用した調度とともにさまざまな絵画作品の中に描き継がれ、また、中世を通して故実として文字化され受け継がれていった。

一方、江戸時代には、産所の白い調度類と素材、技法、図様を同じくする調度が、成長儀礼や婚礼の場にも調えられるようになる。また、「六道絵」をはじめとして、白い装束をまとった葬送の行列が描かれることは、白が、死や葬送とも深い関わりを持っていたことを示していよう。そうした現存作例は、人生の画期や生命にかかわる場において、白の造形が重要な役割を果たしたことを物語っている。

本展覧会では、出産や成長、婚礼、あるいは葬送などの場面に現れる 白 の造形を、絵画や工芸の現存作例によって紹介し、それらの作品を生み出す営みを伝える絵画資料や文献資料を合わせ、人々が白という色に何を祈り、その思いがどのように造形化されたのかを考察した。

特別展関連行事

記念講演会(無料、ただし特別展観覧券が必要)

日 時： 10 月 18 日(土) 14:00～16:00

演 題：「白絵屏風」から語り出す日本美術史

講 師：岡崎市美術博物館館長 榊原悟 氏

応募者：61 名

受講者：53 名

県博セミナー 期(生涯学習課主管の県立機関活用講座、全 3 回連続、有料(3,000 円・1 回のみ受講の場合は、1,000 円) 14:00～16:00)

・全体テーマ：「白をめぐるかたちの系譜」(応募者 90 名 単回を含む事前申込者)

・第 1 回 : 10 月 25 日(土)(受講者 27 名) 当館講堂

「白のかたち 白絵とはなにか」学芸員 小井川 理

・第 2 回 : 11 月 1 日(土)(受講者 24 名)

「仏教美術と 白」奈良女子大学教授 加須屋誠 氏

・第 3 回 : 11 月 8 日(土)(受講者 31 名)

「有職故実と 白」立正大学准教授 佐多芳彦 氏

子供向け行事（体験教室）

「むかしの子どもたちのお守り人形・這子（ほうこ）をつくろう」

・日 時：11月9日（日）13：30～16：00

応募者：13名（子ども12名、大人1名）

受講者：13名（子ども12名、大人1名）

学芸員による展示解説

講 師：学芸員 小井川 理

時 間：13：30～14：00

・第1回：10月12日（日） 参加者：53名

・第2回：10月19日（日） 参加者：35名

・第3回：10月26日（日） 参加者：31名

・第4回：11月2日（日） 参加者：65名

・第5回：11月15日（土） 参加者：50名



出品目録

凡例) 資料番号、資料名、著者・编者、員数、時代、所蔵等

1 御産部類記 卷四 後一条院 19巻のうち1巻 鎌倉時代 宮内庁書陵部	15 白生絹地松竹鶴亀模様産着 1領 江戸時代 東京国立 博物館
2 昭訓門院御産愚記 卷一 乾元二年四月 4巻のうち1巻 鎌倉時代 宮内庁書陵部	16 栄花物語図屏風 土佐光祐筆 六曲一双 江戸時代 東 京国立博物館
3 聖徳太子絵伝 1幅 鎌倉時代 愛知・乾坤院	17 住吉の本地 中巻 2巻のうち1巻 江戸時代 大阪歴史 博物館
4 源氏物語手鑑 若菜二 土佐光吉筆 1面 慶長十七年 (1612) 和泉市久保惣記念美術館	18 東照社縁起絵巻 卷一・卷三 狩野探幽筆 5巻のうち 2巻 寛永十七年(1640) 日光東照宮宝物館
5 源氏物語手鑑 宿木二 土佐光吉筆 1面 慶長十七年 (1612) 和泉市久保惣記念美術館	19 東照宮縁起絵巻 卷三 住吉如慶筆 6巻のうち1巻 慶 安元年(1648) 個人
6 源氏物語図扇面 1幅 桃山時代 個人	20 産所法式 並追加 伊勢貞丈・貞敦著 1冊 明和二年 (1765) 東京国立博物館
7 白絵屏風 伝 原在中筆 六曲一双 江戸時代 京都府立 総合資料館(京都文化博物館管理)	21 産所諸道具図形集全 1冊 寛延四年(1751) 仙台市 博物館
8 白絵松竹鶴亀図押桶 1合 江戸時代～明治時代 奈良県 立美術館	22 産屋秘伝書 全 1冊 寛延四年(1751) 仙台市博物館
9 白絵松竹鶴亀図押桶・籠 5合・12本 江戸時代～明治時 代 京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)	23 天児 1体 江戸時代 東京国立博物館
10 白絵松竹梅図押桶 1合 江戸時代～明治時代 京都府 立総合資料館(京都文化博物館管理)	24 天児 1体 江戸時代 個人(浅原コレクション)
11 白絵松竹鶴亀図抱衣桶・松竹鶴亀図線刻銅製外容器 港区瑞聖寺伊達家墓所出土 1式 江戸時代 港区教育委員 会	25 這子 1体 江戸時代 個人(浅原コレクション)
12 土器皿(抱衣皿)鎌倉市材木座町屋遺跡出土 2枚 室町 時代 鎌倉市教育委員会	26 犬筥 1対(2体) 江戸時代 東京国立博物館
13 土器皿(抱衣皿)多摩ニュータウンNo.105遺跡出土 2 枚 江戸時代 一冊 東京都埋蔵文化財センター	27 犬筥 1対(2体) 江戸時代 奈良県立美術館
14 産髪受け扇 2柄 文化九年(1812) 仙台市博物館	28 犬筥 1対(2体) 江戸時代 東京国立博物館
	29 徳川種姫婚礼行列図 上巻 狩野養和筆 2巻のうち1巻 江戸時代 東京国立博物館
	30 嫁迎嫁入記 伊勢貞陸著 1冊 江戸時代 国立国会図 書館
	31 婚礼道具諸器形寸法書 天・人 斎藤玉山著 3冊のうち 2冊 寛政五年(1793) 国立国会図書館

- 32 千代田之大奥 難拝見 楊洲周延画 大判錦絵三枚続
明治二十八・九年頃(1895・6) 神奈川県立歴史博物館
- 33 やよひ 難まつり 汐干 歌川豊春画 中判錦絵 明和
年間(1764~72) 神奈川県立歴史博物館
- 34 親鸞上人絵伝 第一幅 3幅のうち1幅 文和三年
(1354) 愛知・如意寺
- 35 ◎六道絵 人道不浄相 15幅のうち1幅 鎌倉時代 聖
衆来迎寺
- 36 六道絵 模本 人道不浄相 15幅のうち1幅 文政五年
(1822) 聖衆来迎寺
- 37 六道絵 模本 人道苦相 15幅のうち1幅 文政五年
(1822) 聖衆来迎寺
- 38 聖徳太子絵伝 3幅のうち1幅 南北朝時代 根津美術館
- 39 六代目市川団十郎死絵 歌川国政(初代)画 大判錦絵
寛政十一年(1799) 神奈川県立歴史博物館
- 40 三代目坂東三津五郎と五代目瀬川菊之丞死絵 歌川豊国
(三代)画 大判錦絵2枚 天保三年(1832) 国立歴史民俗
博物館
- 41 初代坂東しうか死絵 大判錦絵 安政二年(1855) 国
立歴史民俗博物館
- 42 初代歌川豊国死絵 歌川豊国(三代)画 大判錦絵 文政
八年(1825) 国立歴史民俗博物館
- 43 三代目中村寿三郎死絵 豊原国周画 大判錦絵 明治二
十九年(1896) 国立歴史民俗博物館
- 44 犬筥 1対(2体) 元文三年(1738) さいたま市
- 45 二河白道図 1幅 南北朝時代 神奈川・清浄光寺(遊
行寺)
- 46 厨子入銀造阿弥陀如来立像 1軀 鎌倉時代 滋賀・浄
蔵院
- 47 昭訓門院御産患記 巻四 恒明 4巻のうち1巻 鎌倉時代
宮内庁書陵部
- 48 白絹地竹に雀紋松竹梅鶴亀銀描絵小袖 1領 江戸時代
仙台市博物館
- 49 縹絹地熨斗目 1領 江戸時代 仙台市博物館
- 50 浅葱麻地霰小紋袷 1具 江戸時代 仙台市博物館
- 51 白絵松竹鶴亀図鉄漿筆箱 1式 元治元年(1864) 彦根
城博物館
- 52 白地菱繫紋純子守袋・白絵筋違紋付松竹鶴亀図守袋箱 1
組 江戸時代 徳川美術館
- 53 赤地宝尽文錦筒守・白絵松竹鶴亀図筒守箱 1組 明治時
代 徳川美術館
- 54 赤地雲龍文錦筒守・白絵松竹鶴亀図筒守箱 1組 江戸時
代 徳川美術館
- 55 赤地宝尽文錦筒守・白絵松竹鶴亀図筒守箱 1組 江戸時
代 愛知・建中寺
- 56 赤地宝尽文錦筒守・白絵松竹鶴亀図筒守箱 1組 江戸時
代 愛知・建中寺
- 57 白絵松竹鶴亀図洗張道具 1式 江戸時代 文化学園服
飾博物館
- 58 竹に雀紋蒔絵洗張道具 1式 江戸時代 仙台市博物館
- 59 天児・白絵松竹鶴亀図天児箱 1組 江戸時代 徳川美術
館
- 60 天児・白絵松竹鶴亀図天児箱 1組 江戸時代 愛知・建
中寺
- 61 天児・白絵松竹梅鶴亀図天児箱 1組 江戸時代 彦根城
博物館
- 62 天児・白絵松竹梅鶴亀図天児箱 1組 江戸時代 滋賀・
大通寺
- 63 白絵松竹梅鶴亀宝尽図天児箱・白絵松竹梅鶴亀宝尽図這
子箱 2合 江戸時代 徳川美術館
- 64 犬筥・白絵松竹鶴亀図犬筥箱 1組 江戸時代 愛知・
建中寺
- 65 犬筥・白絵松竹梅鶴亀図犬筥箱 1組 江戸時代 さいた
ま市
- 66 白絵松竹鶴亀図犬筥箱 1合 江戸時代~明治時代 徳
川美術館
- 67 犬筥・白絵松竹鶴亀図台 1組 江戸時代 個人(浅原コ
レクション)
- 68 白絵松竹鶴亀宝尽図振々 1個 江戸時代 奈良県立美
術館
- 69 彩色松竹鶴亀宝尽図振々 1個 江戸時代 奈良県立美
術館
- 70 彩色松に尉姥・左義長図振々 1個 江戸時代 奈良県立
美術館
- 71 江戸新吉原八朔白無垢之図 歌川豊国(三代)画 大判錦
絵三枚続 文政年間(1818~30) 神奈川県立歴史博物館
- 72 菊圖扇 英一珪筆 1柄 江戸時代 太田記念美術館

ウ 「陸にあがった海軍 連合艦隊司令部日吉地下壕からみた太平洋戦争」

会 期：平成27年1月31日(土)~3月22日(日)

主 催：神奈川県立歴史博物館

特別協力：慶應義塾

協 力：船の科学館・海と船の博物館ネットワーク

後 援：神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、NHK横浜放送局、tvk(テレビ神奈川)、全国近代化遺産活用連絡協議会、戦争遺跡保存全国ネットワーク、地盤工学会

助 成：日本財団

展示資料件数： 171 件

入場者数： 15,816 名（有料 8,804 名、無料 7,012 名）

担当：学芸員 千葉 毅

概要： 神奈川県域には太平洋戦争期に多くの軍事施設が建設された。その中でも、現在まで人知れず当時の雰囲気強く残しているのが、軍部の中核として用意され大規模に作られた「連合艦隊司令部地下壕」である。

旧日本海軍に設置されていた多くの部隊の中で筆頭の規模をもつ連合艦隊では、創設以来、海上の主力艦隊の先頭に司令部が設置され、指揮が執られてきた。しかし、太平洋戦争の長期化、戦局の悪化や戦域の拡大に従い、司令部は海から陸へあがることを余儀なくされる。その陸上で指揮中枢を設置する場所に選ばれたのが、横浜市の日吉一帯の地域であった。

当時、日吉には既に慶應義塾大学のキャンパスが存在しており、海軍は校舎や学生用の寄宿舎等を慶應義塾から借り受け利用することになった。地下には司令部が入るための大規模な地下壕が掘削された。戦時中には、この日吉からレイテ沖海戦、戦艦大和の沖縄出撃や神風特別攻撃隊などの太平洋戦争末期を象徴するような指令が出されることになった。また、日吉一帯には、他にも海軍の諸機関が地下壕を掘削し、連合艦隊司令部地下壕以外にも大規模な地下壕が現存している。しかし、掘削や使用当時の状況を示した関連文献はほとんどが焼却されてしまっていることから、その内部の状況や詳細な記録については、不明瞭な部分が多く残されていた。

神奈川県立歴史博物館は、慶應義塾大学と協力し、地下壕内部の測量調査や関連資料の記録、調査を進めてきた。本展では、その調査成果をもとに改めて連合艦隊司令部地下壕をはじめとする一帯の戦争遺構を紹介するとともに、県内外に存在している「戦争遺跡」の現状についても紹介した。

2015 年は終戦から 70 年となる年であった。戦争に対する記憶が薄れつつある現状の中で、戦争遺跡に対する思いも人それぞれである。本展は、このような戦争遺跡を今後どのように後世へ伝えていくのかということに改めて考えるきっかけになるよう企画したものである。

特別展開連行事

記念講演会（無料、ただし特別展観覧料が必要）

日時：2月21日（日）14：00～16：00

演題：「海底に沈む太平洋戦争の痕跡」

講師：水中写真家 古見きゆう 氏

応募者：211 名

受講者：67 名

記念シンポジウム（無料）

日時：2月7日（土）13：00～16：00

演題：「戦争遺跡を残し、伝える意義を考える」

パネリスト：日吉地下壕勤務経験者 [栗原啓二 氏（元連合艦隊司令部通信兵）・中川雪子 氏（元海軍航空本部理事生）・福井寿美子 氏（元海軍航空本部理事生）]

慶應義塾大学考古学研究会会員 [岡本健佑 氏・八角和人 氏・池田力以 氏]

東日本大震災での震災遺構保護の関係者 [岡道夫氏（石巻市復興政策部復興政策課課長）]

千葉 毅（当館学芸員）

会場：慶應義塾大学日吉キャンパス 第4校舎

参加者：142 名

現地見学会（無料）

「連合艦隊司令部日吉地下壕をあるく」

日時：3月1日（日）

講師：学芸員 千葉 毅、慶應義塾大学考古学研究会会員

応募者：581 名

参加者： 10：30～12：00 26名(内子ども12名)
14：00～15：30 24名

日時： 3月7日(土)

講師： 学芸員 千葉 毅、日吉台地下壕保存の会会員

応募者： 695名

参加者： 10：30～12：00 24名(内子ども2名)
14：00～15：30 30名

学芸員による展示解説

講師： 学芸員 千葉 毅

時間： 13：30～14：00

- ・第1回：2月1日(日) 参加者：68名
- ・第2回：2月14日(土) 参加者：104名
- ・第3回：2月28日(土) 参加者：102名
- ・第4回：3月15日(日) 参加者：82名

- ・第5回：3月22日(日)
時間：13：30～14：00 参加者：112名
15：00～15：30 参加者：83名



出品目録

(凡例) 資料番号、資料名、発行者・作者等、所蔵等

[章 日吉に海軍がやってくる]

参考 慶應義塾大学日吉キャンパス周辺の航空写真(写真パネル)、1930年代後半、東急電鉄

特別出品 三笠艦橋の図、東城鉦太郎、公益財団法人三笠保存会

1 太平洋要図、大本営海軍報道部、1943(昭和18)年、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館

参考 巡洋艦大淀(写真)、1943(昭和18)年 呉市海事歴史科学館大和ミュージアム

2 急須、湯のみ、呉市入船山記念館

3 湯のみ、呉市入船山記念館

参考 1945年前後の日吉駅周辺(写真パネル)、1943(昭和18)年・1947(昭和22)年、横浜開港資料館

4 第三〇〇設営隊戦時日誌、海軍第三〇〇設営隊、1945(昭和20)年、防衛研究所

参考 航空写真に写った軍令部第三部待避壕の出入口(写真パネル)、1959(昭和34)年、慶應義塾福澤研究センター

5 軍令部第三部待避壕測量図面、松田平田設計、1955(昭和30)年、慶應義塾

6 軍令部第三部待避壕測量図面、千葉設計、1975(昭和50)年、慶應義塾

7 日吉台実測図、大倉土木株式会社、1929(昭和4)年、慶

8 慶應義塾と海軍の打ち合わせ記録、1944(昭和19)年、慶應義塾福澤研究センター

9 日吉校舎建設写真帖、1934(昭和9)年、慶應義塾福澤研究センター

10 沿線案内 東横目蒲電車、1935(昭和10)年、横浜都市発展記念館

参考 日吉駅(写真パネル)、昭和20年代か、東急電鉄

参考 日吉駅周辺の商店街の様子(写真パネル)、東急電鉄
11 東横線「日吉駅」発行の乗車券、1936(昭和11)・1941(昭和16)年、個人

12 運転機材(マスターコントローラ)、日立製作所、1932(昭和7)年、武相高校鉄道研究同好会

13 ダッチング、菅沼日附器株式会社、1950(昭和25)年、東急電鉄電車とバスの博物館

14 バンチ東急電鉄、電車とバスの博物館

【 章 日吉にきた海軍とその施設 】

[寄宿舎]

参考 寄宿舎作戦室前の連合艦隊司令部幕僚ら(写真パネル)、1945(昭和20)年、個人

参考 現在の寄宿舎中寮の様子(写真パネル)、2012(平成24)年、慶應義塾福澤研究センター

参考 寄宿舎作戦室前の連合艦隊司令部幕僚ら(写真パネル)個人

参考 寄宿舎生の言葉(写真パネル)、1940(昭和15)～1943(昭和18)年頃、慶應義塾福澤研究センター

15 寄宿舎竣工時内装写真、渡辺義雄撮影、1938(昭和13)年、慶應義塾福澤研究センター

16 居室の鍵、慶應義塾福澤研究センター

17 居室のドアノブ、慶應義塾福澤研究センター

18 ドアの箱錠、慶應義塾福澤研究センター

- 19 タイル、慶應義塾福澤研究センター
- 20 長官旗（中将旗）、呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム
[連合艦隊司令部地下壕]
参考 第三〇一〇設営隊の行動記録（写真パネル）、厚生労働省社会・援護局業務課調査資料室
参考 映画『連合艦隊』中の地下壕セットの様子（写真パネル）、1981（昭和56）年、東宝株式会社
- 21 書類箱、慶應義塾福澤研究センター
- 22 インク瓶、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 23 歯ブラシ、資生堂、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 24 マツダ蛍光ランププラグ、東京芝浦電気株式会社、1941（昭和16）年頃、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 25 東芝「マツダ蛍光ランプ15w」、東京芝浦電気株式会社、1941（昭和16）年頃、東芝未来科学館
- 26 照明関係器具、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
参考 女学生（写真パネル）、捜真女学校
- 27 腕章、1945（昭和20）年頃、捜真女学校
- 28 定期券、東京急行電鐵、1945（昭和20）年、捜真女学校
- 29 身分証明書、捜真女学校、1943（昭和18）年、捜真女学校
- 30 身分証明書、東京兵機株式会社、1944（昭和19）年、捜真女学校
- 31 ツベルクリン陽性證、神奈川県、1944（昭和19）年、捜真女学校
- 32 九二式特受信機改四、日本無線電信電話株式会社、1942（昭和17）年、陸上自衛隊久里浜駐屯地
- 33 沖電気への「九二式特受信機」貸与伺い、海軍軍需局、1934（昭和9）年、防衛研究所
- 34 レシーバー、1945（昭和20）年頃、呉市入船山記念館
- 35 モールス信号打電機、安立電気株式会社、1940（昭和15）年、陸上自衛隊久里浜駐屯地
- 36 小便器「U-5」、東洋陶器、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 37 小便器「U-5」（現存品）、東洋陶器、TOTO 歴史資料館
- 38 小便器「U-5」製造図面、東洋陶器、1928（昭和3）年、TOTO 歴史資料館
- 39 ブラケット「A-112」、東洋陶器、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 40 ブラケット「A-112」（現存品）、東洋陶器、TOTO 歴史資料館
- 41 ブラケット「A-112」製造図面、東洋陶器、1943（昭和18）年、TOTO 歴史資料館
- 42 洋食器片、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 43 ホーロー食器、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 44 統制陶器、マル専一洗園、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 45 ガラス瓶、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 46 陶器片、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 47 食器片、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 48 備品タグ、1942（昭和17）年、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 49 木札、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 50 安全器、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 51 碍子、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 52 スイッチカバー、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 53 木レンガ、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
参考 木レンガの顕微鏡写真（写真パネル）、2014（平成26）年、平川泰彦氏
- 54 鋳、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 55 艦隊料理復元レプリカ、呉市入船山記念館
- 56 晩餐会献立表、1936（昭和11）・1940（昭和15）・1943（昭和18）年、呉市入船山記念館
- 57 日吉キャンパス内地下壕配置図、松田平田設計、1955（昭和30）年、慶應義塾
- 58 連合艦隊司令部地下壕・航空本部等地下壕測量図面、千葉設計 1975（昭和50）年、慶應義塾
[航空本部等地下壕]
参考 航空本部等地下壕出入口の発掘調査（写真パネル）、2009（平成21）年、個人
- 59 手洗い台「L-4」、東洋陶器、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 60 手洗い台「L-4」（現存品）、東洋陶器、TOTO 歴史資料館
- 61 蛇口、TOTO 歴史資料館
- 62 食器、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 63 インク瓶、丸善、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 64 インクプロッター、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 65 ガラス瓶、大日本麦酒など、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 66 鉢・コーヒーカップ、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 67 鉄製品 スコップなど、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 68 鉄製品 ペグなど、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 69 鋳、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 70 高圧線用碍子、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 71 耐熱レンガ、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 72 金属製スコップ、公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
- 73 通信用ケーブル、住友電気工業株式会社、1942（昭和17）年、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 74 急須フタ、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 75 湯のみ、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
- 76 切り取り保存したコンクリート舗装通路、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室

77 身分証、海軍航空本部、1945（昭和20）年、個人
参考 映画『あいつと私』に写り込んだ航空本部等地下壕の耐弾式竪坑（写真パネル）、1961（昭和36）年、日活株式会社

78 手帳、1945（昭和20）年、個人
[艦政本部地下壕]

79 コンクリート型枠用木材、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室

80 地下足袋靴底ゴム、日本ゴム株式会社、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室

81 地下足袋（現存品）、日本ゴム株式会社、株式会社アサヒコーポレーション

82 アサヒ地下足袋ポスター、日本足袋株式会社、株式会社アサヒコーポレーション

83 アサヒ地下足袋ホールー製看板、株式会社アサヒコーポレーション

84 アサヒ地下足袋ホールー製看板が写り込んだ写真、筑前町立大刀洗平和記念館

85 湯のみ、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室

86 衛生陶器破片、東洋陶器、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室

87 配電関係器具、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室

88 ブロック、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
[人事局・東京警備隊などの地下壕]

89 人事局地下壕測量図面、松田平田設計、1955（昭和30）年、慶應義塾

90 人事局地下壕測量図面、千葉設計、1975（昭和50）年、慶應義塾
参考 東京警備隊地下壕（写真パネル）、2005（平成17）年、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室

91 ホレンガ・鋸、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
[地下壕コンクリートの強度・地下壕をつくる]

92 ボーリングコア、2014（平成26）年、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
参考 地下壕コンクリートの断面（写真パネル）、都倉武之氏

93 隧道工法、海軍施設本部、防衛研究所
参考 連合艦隊司令部地下壕の工法接合部分（写真パネル）、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
参考 艦政本部地下壕の被熱した大谷石（写真パネル）、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室

94 築城隧道（小型）計画基準、海軍施設本部、1944（昭和19）年、防衛研究所

95 緊急戦備に従事する特設設営隊及施設部部隊勤務要綱、海軍施設本部、1944（昭和19）年、防衛研究所
[近隣の海軍施設]
参考 東京通信隊蟹ヶ谷分遣隊地下壕（写真パネル）、2004（平成16）年、川崎市平和館

96 浮力測定器、久保田無線電機株式会社、1943（昭和18）年、公益財団法人倉精神文化研究所

97 気象関係用紙、海軍省水路部、公益財団法人倉精神文化研究所

98 机上用書類立て、海軍省水路部第五課、公益財団法人倉精神文化研究所

99 そろばん、海軍省水路部第五課、公益財団法人倉精神文化研究所

100 木製三角定規、海軍省水路部第五課、公益財団法人倉精神文化研究所

101 円形定規、海上気象掛、公益財団法人倉精神文化研究所

【章 日吉と特別攻撃隊】

102 神風特別攻撃隊「敷島隊」出撃の図、御厨純一、1945（昭和20）年、海上自衛隊第一術科学校教育参考館
参考 神風特別攻撃隊「敷島隊」隊長 関行雄大尉 肖像写真（写真パネル）、海上自衛隊第一術科学校教育参考館
参考 神風特別攻撃隊「敷島隊」出撃を見送る（写真パネル）、1944（昭和19）年、海上自衛隊第一術科学校教育参考館

103 零戦（模型）、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館

104 零戦 機体破片 主翼、筑前町立大刀洗平和記念館

105 零戦 機体破片 座席、筑前町立大刀洗平和記念館

106 零戦 機体破片 プロペラ、筑前町立大刀洗平和記念館

107 零戦 機体破片 スピナーカバー、筑前町立大刀洗平和記念館

108 零戦 機体破片 タイヤ、日本タイヤ株式会社、1942（昭和17）・1943（昭和18）年、筑前町立大刀洗平和記念館

109 零戦 計器模型、個人

110 出撃前所感、西村晃、1945（昭和20）年、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館

111 遺書、河村俊光、1945（昭和20）年、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館

112 遺書、原田幸男、1945（昭和20）年、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館

113 遺書（複製）、中原正義、1945（昭和20）年、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館

114 遺書（複製）、児玉光雄、1945（昭和20）年、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館

115 色紙、西村晃、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館

116 ビール瓶、南九州市教育委員会（ミュージアム知覧）

117 歯ブラシ・歯ブラシケース、南九州市教育委員会（ミュージアム知覧）

118 ボタン、南九州市教育委員会（ミュージアム知覧）

119 航程計算盤、南九州市教育委員会（ミュージアム知覧）
参考 対空機銃の計算尺、個人

120 碍子、南九州市教育委員会（ミュージアム知覧）

121 椅子、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館

122 折りたたみ椅子、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館

123 食器・やかん、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館

124 短刀、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館

125 感状、連合艦隊司令長官、1945（昭和20）年、筑前町立大刀洗平和記念館

126 感状、連合艦隊司令長官、1945(昭和20)年、呉市入船山記念館
127 飛行帽・写真、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館
128 宇垣纏肖像写真、1945(昭和20)年、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館
129 『戦藻録』原稿、宇垣纏、1944(昭和19)～1945(昭和20)年、海上自衛隊第一術科学校教育参考館
【章 日吉と戦艦大和の最期】
130 戦艦大和(模型)、船の科学館
参考 戦艦大和艦上での第二艦隊幕僚たち(写真パネル)、1945(昭和20)年、公益財団法人三笠保存会
131 伊藤整一肖像写真、海上自衛隊第一術科学校教育参考館
132 トラック島泊地における武蔵と大和、福田啓二、1964(昭和39)年、公益財団法人三笠保存会
参考 米機の攻撃を受ける大和(写真パネル)、1945(昭和20)年、呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム
参考 米機の攻撃を受け爆沈した大和(写真パネル)、1945(昭和20)年、呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム
133 第二水雷戦隊戦闘詳報、1945(昭和20)年、防衛研究所
134 軍艦大和戦闘詳細、193 インク瓶、丸善、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
135 布告、連合艦隊司令長官、1945(昭和20)年、海上自衛隊第一術科学校教育参考館
136 戦艦大和守護神、堂本印象、1941(昭和16)年頃、海上自衛隊第一術科学校教育参考館
137 ソファ、呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム
138 ビール瓶、キリンビール、呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム
139 酒瓶、呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム
140 靴底、呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム
141 卓上用電気スタンド、呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム
142 ホースノズル、呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム
143 葉莢、呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム
参考 海中の戦艦大和(写真パネル)、1985(昭和60)年、呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム
参考 戦艦大和からの引き揚げ品を見る元乗組員(写真パネル)、1985(昭和60)年、呉市入船山記念館
144 呉市原付ナンバープレート、2013(平成25)年、呉市役所

【章 本土空襲、そして終戦へ】

参考 横浜大空襲(写真パネル)、1945(昭和20)年、横浜市史資料室
参考 焼夷弾を投下するB29の編隊(写真パネル)、1945(昭和20)年、横浜市史資料室
145 投下された焼夷弾 M47、1945(昭和20)年、横浜市史資料室
146 投下された焼夷弾 M69、1945(昭和20)年、横浜市史資料室
147 投下された焼夷弾弾頭の錘、1945(昭和20)年、神奈川県教育委員会
148 ガラス瓶、1945(昭和20)年、横浜市史資料室
149 時計、1945(昭和20)年、横浜市史資料室
150 横浜市街図(復刻版)、横浜市史資料室
151 慶應義塾大学キャンパス内被災図面、1945(昭和20)年、慶應義塾福澤研究センター
参考 矢上台小規模地下壕(写真パネル)、2006(平成18)年、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
152 最後の御前会議(写真パネル)、白川一郎、1966(昭和41)年、野田市鈴木貫太郎記念館
153 終戦処理指令書、軍令部総長、1945(昭和20)年、個人
154 訓示、海軍兵学校、1945(昭和20)年、個人
【海軍生活】
155 士官(大尉)の軍服、横浜市史資料室
156 下士官(三等兵曹)の軍服、公益財団法人三笠保存会
157 軍帽、個人
158 徽章、個人
159 海軍精神注入棒、陸上自衛隊久里浜駐屯地
160 士官用食器、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館
161 皿、呉市入船山記念館
162 海軍のナイフ・フォーク・スプーン、呉市入船山記念館
163 海軍通信隊 酒保用鍋、呉市入船山記念館
164 おたま、神奈川県立歴史博物館
165 飯盒、呉市入船山記念館
166 海軍炊事用米飯櫃、呉市入船山記念館
167 ホーロー食器・カップ、呉市入船山記念館
168 樹脂製の湯のみ、呉市入船山記念館
169 N&K 粉カレー、個人
170 福神漬の瓶、個人
171 頭巻き、1945(昭和20)年、神奈川県立歴史博物館

(3) コレクション展

1階フリーゾーンにあるコレクション展示室において、常設展示では紹介しきれない館のコレクションの一部を、年1回展示している。観覧料無料。

「庶民の祈り - 御札・御守のさまざま - 」

会 期：平成26年7月19日(土)～8月30日(日)

展示資料点数：85点

担 当：学芸員 新井 裕美

概 要：当館所蔵の多様な御札・御守と、それらを保存しておくための札箱などを紹介展示し、また、江戸時代後期から長期間にわたって集積され続けてきた大量の御札・御守から、人々が神仏へ何を願ったのかをみていった。

コレクション展関連行事

学芸員による展示解説

講 師：学芸員 新井 裕美

時 間：13：30～14：00

・第1回：7月26日(土) 参加者：21名

・第2回：8月23日(土) 参加者：25名

出品目録

(凡例) No.、資料名、授与元、時代、使用地

第1章 さまざまな御札・御守	
1-1 大山寺不動明王札 大山寺(伊勢原市) 川崎市多摩区	松市) 江戸 川崎市多摩区
1-2 御金印札 川崎市多摩区	1-14 榛名神社札 榛名神社(群馬県高崎市) 川崎市多摩区
1-3 阿夫利神社開運厄除札 阿夫利神社(伊勢原市) 川崎市多摩区	1-15 比々多神社札 比々多神社(伊勢原市) 川崎市多摩区
1-4 最乗寺火伏札 最乗寺(南足柄市) 川崎市多摩区	1-16 天照皇大神宮札 神宮(三重県伊勢市) 川崎市多摩区
1-5 大山寺不動明王御影札 大山寺(伊勢原市) 川崎市多摩区	1-17 榛名神社御祈祷札 榛名神社(群馬県高崎市) 川崎市多摩区
大山寺不動明王御影札 大山寺(伊勢原市) 江戸 川崎市多摩区	1-18 寒川神社札 寒川神社(寒川町宮山) 川崎市多摩区
1-6 江島本宮弁財天御影札 江島本宮(藤沢市) 江戸 川崎市多摩区	1-19 御守 伊勢原市
1-7 江島上之宮弁財天御影札 江島上ノ宮(藤沢市) 江戸 川崎市多摩区	1-20 御守 愛川町
江島上之宮弁財天御影札 江島上ノ宮(藤沢市) 江戸 川崎市多摩区	1-21 徳本御名号御守 大磯町
1-8 江島下之宮弁財天御影札 江島下ノ宮(藤沢市) 江戸 川崎市多摩区	1-22 平間寺赤札 平間寺(川崎市川崎区) 平成 海老名市
江島下之宮弁財天御影札 江島下ノ宮(藤沢市) 江戸 川崎市多摩区	1-23 寒川神社安産御守 寒川神社(寒川町) 川崎市多摩区
1-9 薬王院飯縄権現御影札 薬王院(東京都八王子市)	1-24 平間寺御守(厄除・開運・交通安全) 平間寺(川崎市川崎区) 川崎市多摩区
1-10 富士山御影札 江戸 川崎市多摩区	1-25 江島神社妙音弁財天御守 江島神社(藤沢市) 川崎市多摩区
富士山御影札 江戸 川崎市多摩区	1-26 江島神社妙音弁財天御守 江島神社(藤沢市) 川崎市多摩区
富士山御影札 江戸 川崎市多摩区	1-27 伊勢山皇大神宮御守 伊勢山皇大神宮(横浜市中区) 横浜市中区
1-11 満行宮御影札 (満行宮)群馬県高崎市 江戸 川崎市多摩区	1-28 背守 横浜西区 背守 横浜西区
1-12 箭弓稲荷神社稲荷大明神御影札 箭弓稲荷神社(埼玉県東松山市) 江戸 川崎市多摩区	第2章 版木と御札・御守を保存しておく道具
1-13 諏訪神社諏訪大明神御影札 諏訪神社(静岡県浜	2-1 木曾御嶽行者 印鑑類 長野徳治郎(横浜市中区) 明治 横浜市中区

- 2 - 2 版木 富塚八幡宮(横浜市戸塚区) 江戸 横浜市戸塚区
- 2 - 3 御札入れ 三浦市
- 2 - 4 御本尊入れ 慶應元年 厚木市
- 2 - 5 御札入れ 海老名市
- 2 - 6 御札はり 横浜市保土ヶ谷区

第3章 御札・御守にみられる願

- 3 - 1 三峯神社大口真神御影札 三峯神社(埼玉県秩父市) 川崎市多摩区 火伏・盗賊除
三峯神社大口真神御影札 三峯神社(埼玉県秩父市) 川崎市多摩区 火伏・盗賊除
三峯神社大口真神御影札 三峯神社(埼玉県秩父市) 川崎市多摩区 火伏・盗賊除
三峯神社大口真神御影札 三峯神社(埼玉県秩父市) 川崎市多摩区 火伏・盗賊除
三峯神社大口真神御影札 三峯神社(埼玉県秩父市) 川崎市多摩区 火伏・盗賊除
- 3 - 2 三峯神社盗賊除・火防札 三峯神社(埼玉県秩父市) 川崎市多摩区 火伏・盗賊除
- 3 - 3 御嶽神社大口真神御影札 御嶽神社(東京都青梅市) 川崎市多摩区 火伏・盗賊除
- 3 - 4 秋葉神社札 秋葉神社(静岡県浜松市) 川崎市多摩区 火伏・盗賊除
秋葉神社札 秋葉神社(静岡県浜松市) 川崎市多摩区 火伏・盗賊除
秋葉神社札 秋葉神社(静岡県浜松市) 川崎市多摩区 火伏・盗賊除
秋葉神社札 秋葉神社(静岡県浜松市) 川崎市多摩区 火伏・盗賊除
秋葉神社火災守護札 秋葉神社(静岡県浜松市) 川崎市多摩区 火伏・盗賊除
秋葉神社鎮火祭札 秋葉神社(静岡県浜松市) 川崎市多摩区 火伏・盗賊除
- 3 - 5 秋葉神社札 秋葉神社(東京都墨田区) 川崎市多摩区 火伏・盗賊除
- 3 - 6 阿夫利神社火盗除札 阿夫利神社(伊勢原市) 川崎市多摩区 火伏・盗賊除
- 3 - 7 最乗寺火防札 最乗寺(南足柄市) 川崎市多摩区 火伏・盗賊除
- 3 - 8 鎮火祭札 川崎市多摩区 火伏・盗賊除
- 3 - 9 津島牛頭札 津島神社(愛知県津島市) 川崎市多摩区 厄除
津島牛頭札 津島神社(愛知県津島市) 川崎市多摩区 厄除
- 3 - 10 御守護札 川崎市多摩区 厄除
- 3 - 11 鹿島神宮御祓札 鹿島神宮(茨城県鹿嶋市) 川崎市多摩区 厄除
- 3 - 12 大袈大蔭札 神宮(三重県伊勢市) 川崎市多摩区 厄除
- 3 - 13 北辰妙見星祭御守 川崎市多摩区 厄除

- 3 - 14 栄楽院星祭札 川崎市多摩区 厄除
- 3 - 15 阿夫利神社牛玉宝印 阿夫利神社(伊勢原市) 江戸 川崎市多摩区 厄除
阿夫利神社牛玉宝印 阿夫利神社(伊勢原市) 江戸 川崎市多摩区 厄除
- 3 - 16 大山寺牛玉宝印 大山寺(伊勢原市) 川崎市多摩区 厄除
- 3 - 17 戸隠神社牛玉宝印 戸隠神社(長野県長野市) 江戸 川崎市多摩区 厄除
戸隠神社牛玉宝印 戸隠神社(長野県長野市) 江戸 川崎市多摩区 厄除
- 3 - 18 榛名神社牛玉宝印 榛名神社(群馬県高崎市) 川崎市多摩区 厄除
- 3 - 19 熊野山牛玉宝印 熊野神社(長野県北佐久郡) 川崎市多摩区 厄除
- 3 - 20 御嶽神社牛玉宝印 御嶽神社(東京都青梅市) 江戸 川崎市多摩区 厄除
- 3 - 21 角大師御影札 川崎市多摩区 厄除
- 3 - 22 榛名神社嵐除札 榛名神社(群馬県高崎市) 川崎市多摩区 豊作祈願
榛名神社嵐除五穀成就札 榛名神社(群馬県高崎市) 川崎市多摩区 豊作祈願
榛名神社虫除雹除札 榛名神社(群馬県高崎市) 川崎市多摩区 豊作祈願
(参考) 榛名神社御祈禱札 榛名神社(群馬県高崎市) 川崎市多摩区 豊作祈願
- 3 - 23 御嶽神社五穀成就札 御嶽神社(東京都青梅市) 川崎市多摩区 豊作祈願
- 3 - 24 御嶽神社嵐口止悪虫除札 御嶽神社(長野県木曾郡) 川崎市多摩区 豊作祈願
- 3 - 25 戸隠神社諸虫退散耕作豊饒札 戸隠神社(長野県長野市) 川崎市多摩区 豊作祈願
戸隠神社虫除耕作豊饒札 戸隠神社(長野県長野市) 川崎市多摩区 豊作祈願
- 3 - 26 金刀比羅宮虫除札 金刀比羅宮(東京都港区) 川崎市多摩区 豊作祈願
- 3 - 27 多賀大社百穀豊饒札 多賀大社(滋賀県犬上郡) 川崎市多摩区 豊作祈願
- 3 - 28 水天宮札 水天宮(東京都中央区) 川崎市多摩区 安産・子育て祈願
水天宮御守 水天宮(東京都中央区) 川崎市多摩区 安産・子育て祈願
水天宮御守 水天宮(東京都中央区) 川崎市多摩区 安産・子育て祈願
水天宮御守 水天宮(東京都中央区) 川崎市多摩区 安産・子育て祈願
- 3 - 29 法泉寺安産札 法泉寺(川崎市多摩区) 川崎市多摩区 安産・子育て祈願
- 3 - 30 泉龍寺子安地藏札 泉龍寺(東京都白江町) 川崎市多摩区 安産・子育て祈願

- | | |
|--|--|
| <p>3 - 31 箭弓稲荷神社御祈禱札 箭弓稲荷神社(埼玉県東松山市) 川崎市多摩区 長寿祈願</p> <p>3 - 32 多賀大社御祈禱札 多賀大社(滋賀県犬上郡) 川崎市多摩区 長寿祈願
多賀大社長日寿命経息災延命札 多賀大社(滋賀県犬上郡) 川崎市多摩区 長寿祈願
多賀大社大般若経息災延命札 多賀大社(滋賀県犬上郡) 川崎市多摩区 長寿祈願</p> <p>3 - 33 朝光寺蚕影尊養蚕安全札 横浜市青葉区 川崎市多摩区 養蚕守護</p> <p>3 - 34 中禅寺波之利大黒天札 中禅寺(栃木県日光市) 川崎市多摩区 足止め</p> <p>3 - 35 妙見寺御祈禱護摩供札 妙見寺(東京都稲城市) 川崎市多摩区 武運長久</p> <p>3 - 36 鹿島神宮地震除札 鹿島神宮(茨城県鹿嶋市) 川崎市多摩区 地震除</p> <p>3 - 37 阿夫利神社家運長久札(津田茂穂) 阿夫利神社(伊勢原市) 川崎市多摩区 宗教者の名前入り</p> <p>3 - 38 大山寺御祈禱札(和田宦太夫) 大山寺(伊勢原市) 江戸 川崎市多摩区 宗教者の名前入り</p> <p>3 - 39 江島神社祈禱御祓札(小川右京) 江島神社(藤沢市) 川崎市多摩区 宗教者の名前入り</p> <p>3 - 40 富士山祈禱御祓札(小林山城守) 富士浅間神社(山梨県富士吉田市) 江戸 川崎市多摩区 宗教者の名前入り</p> <p>3 - 41 富士山祈禱御祓札(小林伊津村) 富士浅間神社</p> | <p>(山梨県富士吉田市) 江戸 川崎市多摩区 宗教者の名前入り</p> <p>3 - 42 戸隠神社御祈禱御祓札(山本泰信) 戸隠神社(長野県長野市) 川崎市多摩区 宗教者の名前入り</p> <p>3 - 43 天照皇太神宮札(中川大蔵) 伊勢神宮 内宮(三重県伊勢市) 川崎市多摩区 宗教者の名前入り</p> <p>3 - 44 穴沢天神社祝詞太祓札(山本藤原信継) 穴沢天神社(東京都稲城市) 川崎市多摩区 宗教者の名前入り</p> <p>3 - 45 穴沢天神社祝詞太祓札(山本伊勢守) 穴沢天神(東京都稲城市) 川崎市多摩区 宗教者の名前入り</p> <p>3 - 46 穴沢天神社祝詞太祓札(山本伊予守) 穴沢天神社(東京都稲城市) 川崎市多摩区 宗教者の名前入り</p> <p>3 - 47 御祈禱札(森福大夫) 川崎市多摩区 宗教者の名前入り</p> <p>3 - 48 小野神社祈禱御祓札(新田美濃守) 小野神社(東京都多摩市) 川崎市多摩区 宗教者の名前入り</p> <p>3 - 49 小野神社御祓札(新田主水) 小野神社(東京都多摩市) 川崎市多摩区 宗教者の名前入り</p> <p>3 - 50 御嶽神社御祈禱札(片柳宮内) 御嶽神社(東京都青梅市) 江戸 川崎市多摩区 宗教者の名前入り</p> <p>3 - 51 津島神社牛頭天王疫神除札(服部左源大夫) 津島神社(愛知県津島市) 江戸 川崎市多摩区 宗教者の名前入り</p> <p>出品リストと展示の順番は異なることがあります。</p> <p>1-21・1-27 は個人蔵。その他は、館蔵資料です。</p> |
|--|--|

(4) その他の展示

ア 特別陳列 開催 50 周年記念 「よみがえる東京オリンピック」

会 期：平成 26 年 7 月 19 日(土)～9 月 28 日(日)

会 場：神奈川県立歴史博物館 特別展示室

主 催：神奈川県立歴史博物館

後 援：神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、NHK 横浜放送局、tvk(テレビ神奈川)、公益財団法人神奈川県体育協会

展示資料件数：168 件

入場者数：9,785 名(有料 6,171 名、無料 3,614 名)

担 当：学芸部長 寺寄 弘康、非常勤学芸員 武田 周一郎

概 要：1964 年に開催された東京オリンピックは、アジアで最初の大会であると同時に、日本の高度経済成長を牽引する大イベントでもあった。神奈川県内では江ノ島のヨット、相模湖のカヌー、横浜文化体育館のパレーボール、三ツ沢球技場のサッカーの 4 競技がおこなわれ、会場や選手村が整備された。また開会に先立って実施された聖火リレーでは、10 月 6 日から 8 日まで約 2,000 人もの聖火ランナーが県内各地を疾走し、沿道には子どもからお年寄りまで多くの県民が応援に詰めかけた。

本展では東京オリンピックを通じて昭和 30 年代後半という時代をふりかえり、あわせて前後の大会の資料も紹介した。

特別陳列関連行事

記念講演会 「オリンピックを語る」(無料)

講師：神奈川県教育委員会委員長 具志堅幸司 氏

日時：8月3日(日) 14:00~16:00

会場：横浜市青少年センター第1研修室(関内ホール地下2階)

応募者：73名

受講者：66名

特別解説 「オリンピックを見ていた少女が語る 1964 あの頃」(無料)

講師：学芸部長 寺寄 弘康

日時：8月2日(土)13:30~14:30

会場：特別展示室

参加者：26名

子ども向け行事 「君もオリンピックメダリストになろう」(クイズを楽しみながら、オリンピックのことを学ぶ) (無料)

・対象は小中学生、参加者数は、小中学生数()内は、大人を含む参加者全体数

第1回 日時：8月9日(土)10:00~16:00

会場：特別展示室

参加者：41名(全体92名)

第2回 日時：9月23日(火・祝)10:00~16:00

会場：会議室他

参加者：28名(全体72名)

学芸員による展示解説

第1回 日時：7月27日(日)13:30~

講師：学芸部長 寺寄 弘康

参加者：34名

第2回 日時：8月24日(日)13:30~

講師：非常勤学芸員 武田 周一郎

参加者：32名

第3回 日時：9月21日(日)13:30~

講師：非常勤学芸員 武田 周一郎

参加者：34名

出品目録

(凡例) No.、資料名、発行者等、年代、所蔵

プロローグ 神奈川県内を疾走する聖火リレー		No.	資料名	発行者等	年代	所蔵
0-01	聖火リレートーチ	1964年	小野安之氏			0-05 聖火リレー走者のランニングシャツとパンツ 1964年 中島英雄氏蔵
0-02	聖火リレートーチホルダーと箱	1964年	代田 旻氏			0-06 聖火リレー走者の委嘱状 1964年8月1日 中島 英雄氏
0-03	聖火リレー走者のランニングシャツ	1964年	代田旻氏			0-07 聖火リレー記念手ぬぐい 1964年10月 中島 英雄氏
0-04	聖火リレーの五輪小旗	1964年	小野安之氏蔵			0-08 聖火リレー参加記念章 1964年 鈴木栄司氏

- 0-09 葉山逗子間の聖火リレーアルバム 1964年10月
7日 鈴木栄司氏
- 0-10 国内聖火リレーのルール 1964年 小野安之氏
- 0-11 神奈川県内での聖火リレーのルール オリンピック
東京大会神奈川県実行委員会 1964年 小野
安之氏
- 0-12 国内聖火リレーを記念した初日カバー 1964年
当館
- 0-13 国内聖火リレーのルール通過都市のスタンプが押
された絵葉書 1964年 個人

第1章 これが東京オリンピックだ

- 1-01 日本選手団正装用ブレザーとズボン 1964年
渡辺長武氏
- 1-02 金メダルと箱 1964年 渡辺長武氏
- 1-03 渡辺選手を紹介する『オリンピックの顔』 1964
年6月20日 当館
- 1-04 渡辺選手を紹介する『アサヒグラフ増刊』
1964年11月1日 当館
- 1-05 公式第1号ポスター(シンボルマーク) 1961
年2月 当館
- 1-06 募金シール 東京オリンピック資金財団 1963
年11月 当館
- 1-07 ピース(寄付金付たばこ) 日本専売公社
1961年12月 浅海武夫氏
- 1-08 オリンピアス(寄付金付たばこ) 日本専売公社
1963年12月 浅海武夫氏
- 1-09 寄付金付切手 1963~64年 当館
- 1-10 記念切手 1964年9月9日 当館
- 1-11 記念組合せ切手シート 1964年10月10日
個人
- 1-12 募金運動記念初日カバー 1961~64年 当館
- 1-13 記念ワッペン 1963年10月 個人
- 1-14 会場案内地図 財団法人オリンピック東京大会
組織委員会 1964年8月 小野安之氏
- 1-15 会場案内 財団法人オリンピック東京大会組織委
員会 1964年 個人
- 1-16 TOKYO1964(パンフレット)東京都オリンピッ
ク準備局企画部広報課 1964年 小野安之氏
- 1-17 競技役員ブレザーと帽子 当館
- 1-18 陸上競技プログラム 1964年10月 当館
- 1-19 陸上競技プログラム 1964年10月 個人
- 1-20 開会式の様子を伝える『時事写真ニュース』
時事写真新聞社 1964年10月17日 個人
- 1-21 開会式の写真が表紙を飾る『オリンピック東京大
会組織委員会 オリンピック東京大会組織委員会
1964年12月25日 小野安之氏
- 1-22 入場券(封筒) 1964年5月 個人
- 1-23 入場券(陸上) 1964年5月 個人
- 1-24 入場券(サッカー) 1964年5月 個人
- 1-25 入場券(水泳) 1964年5月 個人
- 1-26 入場券(閉会式) 1964年5月 個人
- 1-27 入場券(閉会式) 1964年5月 小野安之氏
- 1-28 『OFFICIAL HANDBOOK TO TOKYO OLYMPICS』(公式
ハンドブック) 財団法人オリンピック東京大会組
織委員会 1964年 小野安之氏
- 1-29 『TOKYO OLYMPICS OFFICIAL SOUVENIR』(公式ガイ
ドブック) 財団法人オリンピック東京大会組織委
員会 1964年9月6日 個人
- 1-30 柔道競技『東京オリンピックプログラム全種目』
ケンリック極東株式会社 1964年4月 当館
- 1-31 柔道金メダル中谷雄英選手サイン色紙 1964年
個人
- 1-32 公式第2号ポスター(陸上競技) 1962年5月
当館
- 1-33 公式第3号ポスター(水泳) 1963年2月 当館
- 1-34 公式第4号ポスター(聖火ランナー) 1964年
4月 当館
- 1-35 日本古美術展バッジ 1964年10月 西川杏太
郎氏
- 1-36 日本古美術展の図録 東京国立博物館 1964年
10月 当館
- 1-37 日本古美術展の図録(普及版) 東京国立博物館
1964年10月 個人
- 1-38 近代日本の名作展の図録 国立近代美術館
1964年10月 個人
- 1-39 芸術展示ポスター 1964年10月 当館
- 1-40 公式報告書/会場地図(公式報告書付図) オリンピ
ック東京大会組織委員会 1966年7月20日 個人
- 1-41 五輪デザインのネクタイ 1964年 個人
- 1-42 エチケットシート 日野自動車 1964年個人蔵
- 1-43 聖火台型灰皿 1964年 浅海武夫氏
- 1-44 五輪ポスターデザインの貯金箱 東海銀行
1964年頃 浅海武夫氏
- 1-45 スライド写真 SK SLIDE Co. 1964年頃 浅海武
夫氏
- 1-46 ハイライト・ソノシート カルピス食品工業
1964年10月 個人
- 1-47 記念風呂敷 1964年頃 個人蔵
- 1-48 記念メダル 東京オリンピック資金財団 1964年4
月 小野安之氏
- 1-49 ピンバッジ 1964年 小野安之氏
- 1-50 ピンバッジ 1964年 小野安之氏
- 1-51 真珠ピン 1964年 小野安之氏
- 1-52 参加記念バッジ 1964年 小野安之氏
- 1-53 記念バッジ 1964年 小野安之氏
- 1-54 日本バスケットボール協会記念バッジ 1964年
鈴木利幸氏
- 1-55 バスケットボール競技横浜予選大会記念バッジ
1964年 小野安之氏

1-56 日本陸上競技後援記念メダル 1964年 小野安之氏

1-57 オリンピック国民運動神奈川県推進委員ピンバッジ 1963年 小野安之氏

1-58 グッドウィルガイドバッジ 1964年 当館

1-59 『タクシー・ハイヤー用ガイドブック』 東京都

1-60 オリンピック等記念メダル 浅海武夫氏

1-61 オリンピック等記念メダル 浅海武夫氏

1-62 『オリンピック百科1964・東京大会』 1963年11月25日 小野安之氏

1-63 『サッカー』スポーツ入門双書 5 1961年10月10日 小野安之氏

1-64 『オリンピック読本』(高等学校・青年学級向け) 文部省 1963年 小野安之氏

1-65 『オリンピックと旗』(IOC加盟国国旗一覧) 東京都オリンピック準備局企画部広報課 1964年3月31日 小野安之氏

1-66 『TOKIO1964』(ガイドブック) オリンピック東京大会組織委員会 1964年 小野安之氏

1-67 『オリンピックを見るために』 文部省 1964年9月 当館

1-68 『オリンピック東京大会 運営のあらまし』 オリンピック東京大会組織委員会 1964年 小野安之氏

1-69 『オリンピックの知識 THE OLYMPIC GAMES』 オリンピック東京大会組織委員会 1960年 個人

1-70 『オリンピック東京大会開催種目の概説』 神奈川県教育委員会 1964年 小野安之氏

1-71 記録映画シナリオ 1964年 当館

1-72 記録映画プログラム 東宝株式会社事業部出版課 1965年3月10日 個人

1-73 記録映画ポスター 個人

1-74 新聞記事スクラップブック 1964年 個人

1-75 『毎日新聞縮刷版 東京オリンピック記念号』 1964年 個人

1-76 写真 開会式のテレビ観戦 1964年10月10日 個人

1-77 写真 開会式のテレビ観戦 1964年10月10日 個人

1-78 オリンピックNHK放送時刻表 日本放送協会 1964年 当館蔵・個人

1-79 相鉄線記念乗車券 相模鉄道株式会社 1964年10月19日 個人

1-80 相鉄バス記念乗車券 相模鉄道株式会社 1964年10月 個人

1-81 新幹線の営業運転開始を伝える 『時事写真ニュース』 時事写真新聞社 1964年10月10日 個人

1-82 記念セールチラシ 十字屋八王子店 1964年 相模原市立博物館

1-83 記念セールチラシ 緑屋 1964年 相模原市立

博物館

第2章 神奈川県で開催の4競技はなんだ

2-01 感謝状 財団法人オリンピック東京大会組織委員会会長 1964年11月 小野安之氏

2-02 感謝状 財団法人オリンピック東京大会組織委員会会長 1964年 小野安之氏

2-03 競技会場専用の駐車ステッカー オリンピック東京大会組織委員会 1964年 小野安之氏

2-04 女子バレーボール表彰式写真 1964年 当館

2-05 女子バレーの日本対アメリカ戦を伝える『時事写真ニュース』 1964年 当館

2-06 女子バレー日本チームを紹介する『毎日グラフ臨時増刊』 1964年11月1日 小野安之氏

2-07 入場券(サッカー) 1964年 個人

2-08 男子サッカー日本チームを紹介する『アサヒグラフ増刊』 1964年11月1日 小野安之氏

2-09 三ツ沢競技場の写真が表紙を飾る『横浜市オリンピック事務局会報』3号 横浜市オリンピック事務局 1964年10月1日 小野安之氏

2-10 記念メダル神奈川県 1964年 小野安之氏

2-11 神奈川県腕章 1964年 小野安之氏

2-12 大磯選手村開村記念真珠バッジ オリンピック東京大会組織委員会 1964年 大磯町郷土資料館

2-13 『THE GAMES OF THE 18TH OLYMPIAD SPORTS FACILITIES OF YACHTING AND CANOEING』(ヨット施設案内) 神奈川県オリンピック委員会 1964年 小野安之氏

2-14 『オリンピックヨット競技の手引き』 神奈川県教育委員会 1964年 小野安之氏

2-15 『東京オリンピック記念特集号 国際情報社 1964年11月1日 当館

2-16 『オリンピックカヌー競技の手引き』 神奈川県教育委員会 1964年3月 小野安之氏

2-17 カヌープログラム 1964年 相模原市立博物館

2-18 入場券(カヌー) 1964年5月 相模原市立博物館

2-19 『CANOEING』(カヌーリーフレット) 日本カヌー協会 1964年 相模原市立博物館

第3章 東京オリンピックにつづけ

3-01 パリ大会を紹介する『週刊朝日』6巻4号 1924年7月20日 当館

3-02 女子スポーツ選手を紹介する「少女スポーツ双六」朝日新聞 1927年1月1日 当館

3-03 アムステルダム大会での人見絹枝選手 1928年 個人

3-04 アムステルダム大会銀メダル 1928年 当館

3-05 ロス大会での南部選手の活躍を伝える『東京日日新聞号外』 大阪毎日新聞社 1932年8月5日 当館

3-06 ロス大会で活躍の北村・牧野両選手の紹介「輝く

日本双六」 小学館 1935年1月1日 当館
 3-07 ベルリン大会ポスターをデザインした風呂敷
個人
 3-08 ベルリン大会吉岡選手歡送式の絵葉書(神奈川県
高等女学校・精華小学校大運動会) 1936年5月28日
当館
 3-09 ベルリン大会女子水泳200m決勝の実況レコード
1936年 個人
 3-10 東京オリンピックの宣伝用マッチ箱 1936年頃
当館
 3-11 東京オリンピックのマークがあるたばこケース
1936年頃 個人
 3-12 横浜での競技を紹介する『観光の神奈川』 神奈
川県観光連合会 1936年5月10日 個人
 3-13 レスリング選手を紹介する『サンデー毎日』
1938年5月5日 当館
 3-14 ヘルシンキ大会の競泳選手団結式を伝える『サン
写真新聞』 1952年6月24日 当館
 3-15 メルボルン大会の競技結果を伝える『中部日本新
聞』 1956年11月24日 当館
 3-16 ローマ大会会場パンフレット Air France
1960年 当館
 3-17 ミュンヘン大会ペナント 1972年 浅海武夫氏
 3-18 ミュンヘン大会記念メダル 1972年 浅海武夫氏
 3-19 ミュンヘン大会ピンバッジ 1972年 浅海武夫氏
 3-20 モントリオール大会陸上競技日本代表選手団記念
ペナント 宇佐美彰朗 1976年 鈴木利幸氏
 3-21 具志堅幸司選手がロサンゼルス大会の体操競技で
獲得した金メダル 1984年 具志堅幸司氏
 3-22 具志堅幸司選手がロサンゼルス大会の体操競技で
獲得した銀メダル 1984年 具志堅幸司氏
 3-23 具志堅幸司選手がロサンゼルス大会の体操競技で
獲得した銅メダル 1984年 具志堅幸司氏
 3-24 具志堅幸司選手の演技『第23回オリンピックロサ
ンゼルス競技大会栄光の公式全記録』 1985年3月
1日 当館
 3-25 表彰式の具志堅選手 1984年 具志堅幸司氏
 3-26 つり輪でフィニッシュする具志堅選手 1984年
具志堅幸司氏
 3-27 ロサンゼルス大会体操競技日本選手団のジャージ
1984年 具志堅幸司氏
 3-28 ロサンゼルス大会体操競技日本選手団のTシャツ
1984年 具志堅幸司氏

3-29 アトランタ大会記念Tシャツ 1996年 個人
 3-30 アテネ大会日本選手団の正装用ブレザー 2004
年 個人
 3-31 北京大会体操競技日本選手団のジャージ 2008
年 具志堅幸司氏
 3-32 札幌大会ピンバッジ 各種 1972年 浅海武夫氏
 3-33 札幌大会聖火リレー記念メダル 1972年 個人
 3-34 札幌大会記念のスキヤーの置物 1972年
浅海武夫氏
 3-35 『1972冬季オリンピック札幌大会』 ベースボ
ール・マガジン社 1972年5月1日 個人
 3-36 札幌大会記念切手と初日カバー 1972年2月
当館
 3-37 札幌大会スカーフ 1972年 個人
 3-38 長野大会記念切手 1998年2月5日 個人
 3-39 2020年東京大会記念ピンバッジ 個人

オリンピック記念貨幣・メダル

C-01 オリンピック記念貨幣 夏季・冬季 1951~76
年 当館
 C-02 東京オリンピック記念貨幣 1964年 当館
 C-03 メキシコオリンピック記念メダル 1968年
当館
 C-04 ミュンヘンオリンピック記念貨幣(10ドイマルク)
1972年 当館
 C-05 モントリオールオリンピック記念貨幣 1976年
当館
 C-06 モスクワオリンピック記念貨幣 1980年 当館
 C-07 ロサンゼルスオリンピック記念貨幣 1984年
当館
 C-08 ソウルオリンピック記念貨幣 1988年 当館
 C-09 札幌オリンピック記念メダル 1972年 当館
 C-10 札幌オリンピック記念貨幣(100円) 1972年
当館
 C-11 サラエボオリンピック記念貨幣(マン島発行)
1984年 当館
 C-12 サラエボオリンピック記念貨幣(ユーゴスラビア
発行) 1984年 当館
 C-13 カルガリーオリンピック記念貨幣 1988年
当館
 C-14 アルベールビルオリンピック記念貨幣 1992年
当館

イ 平成 26 年度かながわの遺跡展「発掘された御仏と仏具 神奈川の古代・中世の仏教信仰」
みほとけ

会 期：平成 26 年 12 月 6 日(土)～平成 27 年 1 月 18 日(日)

主 催：神奈川県教育委員会(埋蔵文化財センター)、神奈川県立歴史博物館

後 援：神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、NHK 横浜放送局、tvk(テレビ神奈川)

展示資料点数：412 件 490 点

入場者数：4,132 名

担 当：神奈川県教育局生涯学習部 文化遺産課 副主幹 富永 樹之

会 場：神奈川県立歴史博物館 特別展示室

概 要：神奈川県内の古代・中世の遺跡からは仏像や仏具・仏教関連遺物が発見されることがある。それらは寺院跡や経塚、墳墓だけではなく、集落や都市遺跡、田畑や山中、湿地など思いがけない場所からも出土する。それは仏像・仏具が様々な場所で、仏事や祭祀、葬送などに使用され、幅広い人々に仏教信仰が浸透していたためと考えられる。展示では遺跡などから出土した古代・中世の様々な仏像・仏具・仏教関連遺物や出土遺跡パネルを中心に展示することで、これらの出土品と出土遺跡の状況から、どのような形で使用されていたかを解説し、考古学の視点から民間信仰を含めた古代・中世の仏教信仰について探った。

特別展関連行事

記念講演会(無料、ただし常設展観覧券が必要)

・特別講演 第 1 回

日 時：12 月 13 日(土) 14:00～16:00

演 題：「仏教考古学における出土の仏像と仏法具」

講 師：立正大学名誉教授 坂詰秀一 氏

応募者：88 名

受講者：80 名

・特別講演 第 2 回

日 時：1 月 10 日(土) 14:00～16:00

演 題：「鎌倉出土の仏像彫刻」

講 師：神奈川県立歴史博物館館長 薄井 和男

応募者：106 名

受講者：94 名

入門講座(無料、ただし常設展観覧券が必要)

日 時：12 月 20 日(土) 14:00～16:00

演 題：「神奈川県の古代寺院と村落の仏堂」

講 師：神奈川県教育局文化遺産課 副主幹 富永 樹之

応募者：60 名

受講者：50 名

展示解説

講 師：神奈川県教育局生涯学習部 文化遺産課 副主幹 富永 樹之

- ・第 1 回：12 月 14 日(日) 13 時 30 分～14 時 30 分 参加者 14 名
- ・第 2 回：12 月 23 日(火・祝) 13 時 30 分～14 時 30 分 参加者 21 名
- ・第 3 回：1 月 11 日(日) 13 時 30 分～14 時 30 分 参加者 44 名

出品目録

(凡例) 資料名称、出土遺跡名、所蔵、産地、時期

部 古代

- | | |
|---|---|
| 1 銅鏡 伊勢原市登尾山古墳 比々多神社 古墳時代終末期 | 24 「法華寺」墨書土器 海老名市国分尼寺北方遺跡 海老名市教育委員会 奈良・平安時代 |
| 2 須恵器提瓶 小田原市総世寺裏古墳 神奈川県教育委員会 古墳時代終末期 | 25 須恵器椀 海老名市国分尼寺北方遺跡 海老名市教育委員会 奈良・平安時代 |
| 3 須恵器フラスコ形瓶 小田原市総世寺裏古墳 神奈川県教育委員会 古墳時代終末期 | 26 銅造観世音菩薩立像 武蔵国分寺跡 国分寺市教育委員会 白鳳時代 |
| 4 須恵器平瓶 小田原市総世寺裏古墳 神奈川県教育委員会 古墳時代終末期 | 27 素弁蓮華文軒丸瓦 武蔵国分寺跡 国分寺 奈良時代 |
| 5 耳環 小田原市総世寺裏古墳 神奈川県教育委員会 古墳時代終末期 | 28 均整唐草文軒平瓦 武蔵国分寺跡 国分寺 奈良時代 |
| 6 耳環 小田原市総世寺裏古墳 神奈川県教育委員会 古墳時代終末期 | 29 唐草四獣文銅蓋 武蔵国分寺跡 国分寺市教育委員会 奈良時代 |
| 7 耳環 小田原市総世寺裏古墳 神奈川県教育委員会 古墳時代終末期 | 30 緑釉花文皿 武蔵国分寺跡 国分寺市教育委員会 平安時代 |
| 8 耳環 小田原市総世寺裏古墳 神奈川県教育委員会 古墳時代終末期 | 31 瓦塔片 川崎市麻生区宮添遺跡 川崎市市民ミュージアム 奈良・平安時代 |
| 9 銅鏡 川崎市下作延日向横穴墓 川崎市市民ミュージアム 古墳時代終末期 | 32 転用硯 川崎市麻生区宮添遺跡 川崎市市民ミュージアム 奈良・平安時代 |
| 10 銅鏡 川崎市高津区浄元寺裏横穴墓群 川崎市市民ミュージアム 古墳時代終末期 | 33 転用硯 川崎市麻生区宮添遺跡 川崎市市民ミュージアム 奈良・平安時代 |
| 11 銅鏡 小田原市総世寺裏古墳 神奈川県教育委員会 古墳時代終末期 銅製品 | 34 瓦塔片 横浜市都筑区藪根不動原遺跡 横浜市教育委員会 平安時代 |
| 12 大刀 小田原市総世寺裏古墳 神奈川県教育委員会 古墳時代終末期 | 35 瓦塔片 横浜市都筑区池辺第28遺跡 横浜市教育委員会 奈良・平安時代 |
| 13 大刀 小田原市総世寺裏古墳 神奈川県教育委員会 古墳時代終末期 | 36 須恵器水瓶 横浜市都筑区藪根不動原遺跡 横浜市教育委員会 奈良・平安時代 |
| 14 小刀 小田原市総世寺裏古墳 神奈川県教育委員会 古墳時代終末期 | 37 灰釉陶器浄瓶 横浜市都筑区藪根不動原遺跡 横浜市教育委員会 奈良・平安時代 |
| 15 鐔 小田原市総世寺裏古墳 神奈川県教育委員会 古墳時代終末期 | 38 「酒」墨書土器 横浜市都筑区藪根不動原遺跡 横浜市教育委員会 平安時代 |
| 16 須恵器高坏 小田原市総世寺裏古墳 神奈川県教育委員会 古墳時代終末期 | 39 風字硯 横浜市都筑区藪根不動原遺跡 横浜市教育委員会 奈良・平安時代 |
| 17 均整唐草文軒平瓦 相模国分僧寺跡 海老名市教育委員会 奈良・平安時代 | 40 記号墨書土器 横浜市都筑区藪根不動原遺跡 横浜市教育委員会 平安時代 |
| 18 単弁蓮華軒丸瓦(レプリカ) 相模国分僧寺跡 神奈川県立歴史博物館 奈良・平安時代 | 41 記号墨書土器 横浜市都筑区藪根不動原遺跡 横浜市教育委員会 平安時代 |
| 19 銅板製鍍金飾金具(幡の金具) 武蔵国分寺跡 国分寺市教育委員会 奈良・平安時代 | 42 須恵器長頸瓶 横浜市都筑区藪根不動原遺跡 横浜市教育委員会 平安時代 |
| 20 小型海獣葡萄鏡 武蔵国分寺跡 国分寺市教育委員会 奈良・平安時代 | 43 須恵器仏鉢形土器 川崎市麻生区宮添遺跡 川崎市市民ミュージアム 奈良・平安時代 |
| 21 銅製鈴 武蔵国分寺跡 国分寺市教育委員会 奈良・平安時代 | 44 土師器仏鉢形土器 横浜市都筑区権田原遺跡 横浜市教育委員会 平安時代 |
| 22 「父」へら描き埴 武蔵国分寺跡 国分寺 奈良・平安時代 | 45 土師器仏鉢形土器 横浜市都筑区権田原遺跡 横浜市教育委員会 平安時代 |
| 23 水煙 相模国分僧寺跡 海老名市教育委員会 奈良・平安時代 | 46 灯明皿(土師器坏) 横浜市都筑区権田原遺跡 横浜市教育委員会 平安時代 |
| | 47 瓦塔 厚木市愛名宮地遺跡 厚木市教育委員会 奈良・平安時代 |
| | 48 獣足付鉄鍋の鋳型 厚木市愛名宮地遺跡 厚木市教育委員会 奈良・平安時代 |

委員会 奈良・平安時代

49 灯明皿(土師器坏) 厚木市愛名宮地遺跡 厚木市教育委員会 平安時代

50 鉄釘 厚木市愛名宮地遺跡 厚木市教育委員会 奈良・平安時代

51 「寺」墨書土器 厚木市愛名宮地遺跡 厚木市教育委員会 平安時代

52 須恵器仏鉢形土器 川崎市麻生区宮添遺跡 川崎市民ミュージアム 奈良・平安時代

53 「寺」墨書土器 清川村馬場遺跡 神奈川県教育委員会 平安時代

54 「寺」墨書土器 清川村馬場遺跡 神奈川県教育委員会 平安時代

55 土師器転用香炉(台付甕) 清川村馬場遺跡 神奈川県教育委員会 平安時代

56 黒色土器仏鉢形土器 厚木市愛名宮地遺跡 厚木市教育委員会 奈良・平安時代

57 須恵器仏鉢形土器 厚木市愛名宮地遺跡 厚木市教育委員会 奈良・平安時代

58 灰釉陶器浄瓶 川崎市麻生区宮添遺跡 川崎市民ミュージアム 奈良・平安時代

59 奈良三彩蓋 川崎市麻生区宮添遺跡 川崎市民ミュージアム 奈良・平安時代

60 鉄匙 川崎市麻生区宮添遺跡 川崎市民ミュージアム 奈良・平安時代

61 「寺」刻書土器 川崎市麻生区宮添遺跡 川崎市民ミュージアム 奈良時代

62 須恵器水瓶 川崎市麻生区宮添遺跡 川崎市民ミュージアム 奈良時代

63 須恵器水瓶 川崎市麻生区宮添遺跡 川崎市民ミュージアム 奈良・平安時代

64 灰釉陶器浄瓶 横須賀市上吉井南遺跡 横須賀市教育委員会 平安時代

65 須恵器小型長頸壺 海老名市上浜田遺跡 神奈川県教育委員会 平安時代

66 須恵器仏鉢形土器 相模原市田名塩田遺跡群 相模原市教育委員会 奈良・平安時代

67 須恵器仏鉢形土器 平塚市向原遺跡 神奈川県教育委員会 平安時代

68 須恵器仏鉢形土器 厚木市鳶尾遺跡 神奈川県教育委員会 平安時代

69 須恵器稜碗 川崎市麻生区上台遺跡 川崎市民ミュージアム 奈良時代

70 瓦塔片 伊勢原市坪ノ内・宮ノ前遺跡 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代

71 三彩小壺 相模原市田名坂上遺跡 相模原市教育委員会 奈良・平安時代

72 「崗本寺」墨書土師器高坏形香炉・蓋 横浜市緑区東耕地遺跡 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代

73 須恵器短頸壺(薬壺形) 秦野市鶴巻大椿遺跡(横穴墓)

神奈川県教育委員会 奈良時代

74 土師器仏鉢形土器 横須賀市上吉井南遺跡 横須賀市教育委員会 平安時代

75 須恵器仏鉢形土器 横浜市緑区宮之前遺跡 神奈川県教育委員会 平安時代

76 「万」須恵器坏蓋 横浜市緑区宮之前遺跡 神奈川県教育委員会 平安時代

77 灯明皿(土師器坏) 横浜市緑区宮之前遺跡 神奈川県教育委員会 平安時代

78 須恵器把手付短頸壺 横浜市栄区上郷猿田遺跡 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代

79 灰釉陶器小壺 平塚市六ノ域遺跡 神奈川県教育委員会 平安時代

80 須恵器小型長頸瓶 葉山町三ヶ岡遺跡 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代

81 灰釉陶器小型長頸瓶 平塚市向原遺跡 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代

82 灯明皿(土師器・須恵器坏) 厚木市下荻野中三嶽遺跡 厚木市教育委員会 平安時代

83 灯明皿(土師器坏) 小田原市千代廃寺 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代

84 灯明皿(土師器坏) 茅ヶ崎市下寺尾官衛遺跡群(小出川周辺) 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代

85 須恵器短頸壺(薬壺形) 平塚市真田・北金目遺跡群 38区 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

86 銅鏡 平塚市真田・北金目遺跡群 30A・D区 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

87 銅鈴 平塚市真田・北金目遺跡群 4区 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

88 銅鈴 平塚市真田・北金目遺跡群 12G区 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

89 瓦塔片 平塚市真田・北金目遺跡群 8G区 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

90 須恵器盤 平塚市真田・北金目遺跡群 8C区 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

91 「佛八」墨書土器 平塚市真田・北金目遺跡群 11区 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

92 「佛」墨書土器 平塚市真田・北金目遺跡群 12A区 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

93 「寺」墨書土器 平塚市真田・北金目遺跡群 8G区 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

94 白毫のある人物の墨書土器 平塚市真田・北金目遺跡群 38区 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

95 「寺」墨書土器 平塚市真田・北金目遺跡群 11区 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

96 「寺」墨書土器 平塚市真田・北金目遺跡群 12G区 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

97 「井」墨書土器 平塚市真田・北金目遺跡群 12G区 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

98 「九」墨書土器 千葉県市原市草刈遺跡K区 千葉県教

育委員会 平安時代

99 須恵器小壺 千葉県市原市草刈遺跡K区 千葉県教育委員会 平安時代

100 須恵器花瓶 千葉県市原市草刈遺跡K区 千葉県教育委員会 平安時代

101 灰釉陶器浄瓶 千葉県市原市草刈遺跡K区 千葉県教育委員会 平安時代

102 瓦塔A 千葉県印西市馬込遺跡 千葉県教育委員会 奈良・平安時代

103 瓦塔B 千葉県印西市馬込遺跡 千葉県教育委員会 奈良・平安時代

104 土師器仏鉢形土器 千葉県印西市馬込遺跡 千葉県教育委員会 奈良・平安時代

105 金銅製小仏像 平塚市六ノ域遺跡 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代

106 灰釉陶器托 平塚市真土六の域遺跡第9地点 平塚市教育委員会 平安時代

107 緑釉陶器稜皿 平塚市六ノ域遺跡 神奈川県教育委員会 平安時代

108 土師器仏鉢形土器 平塚市山王A遺跡 第4地点 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

109 須恵器仏鉢形土器 平塚市天神前遺跡 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

110 須恵器仏鉢形土器 平塚市中原御殿D遺跡 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

111 須恵器仏鉢形土器 平塚市大会原遺跡第3地点 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

112 瓦塔片 平塚市神明久保遺跡第3地区 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

113 瓦塔片 平塚市神明久保遺跡第8地点 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

114 温石(2点) 平塚市山王B遺跡 第7地点 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

115 飾り金具 平塚市高林寺遺跡第9地区 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

116 銅製火熨斗 平塚市神明久保遺跡第1地区 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

117 佐波理匙 平塚市山王A遺跡 第4地点 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

118 須恵器小型長頸壺 平塚市稲荷前A遺跡第2地点 平塚市教育委員会 平安時代

119 灰釉陶器浄瓶 平塚市真土六の域遺跡 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

120 灰釉陶器水瓶 平塚市天神前遺跡 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

121 須恵器変形小壺 平塚市中原上宿遺跡 区 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

122 高环形香炉 平塚市六ノ域遺跡 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代

123 梵字墨書土器 平塚市四之宮下郷2区 平塚市教育

委員会 奈良・平安時代

124 「大佛」墨書土器 平塚市天神前遺跡 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

125 「浄足」(僧名)刻書土器 平塚市四之宮下郷1区 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

126 須恵器獣足付壺 平塚市梶谷原B遺跡 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

127 灰釉陶器花瓶(広口壺) 平塚市六ノ域遺跡 神奈川県教育委員会 平安時代

128 土師器脚付大鉢 平塚市高林寺遺跡 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

129 緑釉壺 平塚市林B遺跡 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

130 緑釉陶器香炉蓋 平塚市構之内遺跡 平塚市教育委員会 平安時代

131 緑釉陶器稜皿 平塚市六ノ域遺跡 神奈川県教育委員会 平安時代

132 緑釉香炉 平塚市諏訪前遺跡 平塚市教育委員会 奈良・平安時代

133 鬼瓦 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(下寺尾廃寺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代

134 「拾内如件徂」「者」刻書土器 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(下寺尾廃寺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代

135 須恵器瓶 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(下寺尾廃寺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代

136 須恵器仏鉢形土器 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(下寺尾廃寺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代

137 高环形香炉 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(下寺尾廃寺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代

138 須恵器有蓋脚付壺の蓋 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(下寺尾廃寺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代

139 土師器香炉蓋 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(下寺尾廃寺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代

140 灰釉陶器小型長頸瓶 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(小出川周辺) 神奈川県教育委員会 平安時代

141 灰釉陶器小型長頸瓶 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(小出川周辺) 神奈川県教育委員会 平安時代

142 須恵器小型長頸瓶 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(小出川周辺) 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代

143 須恵器短頸壺(獣脚) 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(小出川周辺) 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代

144 鬼瓦 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(小出川周辺) 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代

145 灰釉陶器浄瓶 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(小出川周辺) 神奈川県教育委員会 平安時代

146 須恵器仏鉢形土器 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(小出川周辺) 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代

147 人面墨書土器 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(小出川周辺) 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代

- 148 人形 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(小出川周辺) 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代
- 149 刀形木製品 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(小出川周辺) 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代
- 150 木製弓か(部分) 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(小出川周辺) 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代
- 151 木札状木製品 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(小出川周辺) 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代
- 152 「神」刻書紡錘車 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(小出川周辺) 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代
- 153 銅製鈴 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(小出川周辺) 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代
- 154 単弁蓮華軒丸瓦 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(下寺尾廃寺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 155 「浄」墨書土器 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(小出川周辺) 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代
- 156 「太寺」墨書土器 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(小出川周辺) 神奈川県教育委員会 平安時代
- 157 絵馬 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(小出川周辺) 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代
- 158 習書木簡 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(駒寄川周辺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 159 木製祭祀具か 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(駒寄川周辺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 160 人面墨書土器 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(駒寄川周辺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 161 「埋力・病・精・横・高・真・力力」墨書土器 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(駒寄川周辺) 茅ヶ崎市教育委員会 平安時代
- 162 「寺」墨書土器 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(駒寄川周辺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 163 「寺」墨書土器 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(駒寄川周辺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 164 「具」墨書土器 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(駒寄川周辺) 茅ヶ崎市教育委員会 平安時代
- 165 陶製相輪か 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(下寺尾廃寺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 166 須恵器浄瓶 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(駒寄川周辺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 167 円面硯 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(駒寄川周辺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 168 須恵器水瓶 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(駒寄川周辺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 169 銅匙 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(下寺尾廃寺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 170 懸仏 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(下寺尾廃寺) 茅ヶ崎市教育委員会 中世
- 171 軸端 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(下寺尾廃寺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 172 二彩陶器火舎 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(下寺尾廃寺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 173 二彩火舎香炉 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(下寺尾廃寺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 174 二彩陶器壺蓋 茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群(下寺尾廃寺) 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 175 複弁蓮華文軒丸瓦 松田町からさわ瓦窯 青山学院大学 奈良時代
- 176 木簡(千代1号木簡) 小田原市千代南原遺跡第 地点 小田原市教育委員会 奈良・平安時代
- 177 木簡・木札 小田原市千代廃寺 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代
- 178 木簡(千代2号木簡) 小田原市千代南原遺跡第 地点 小田原市教育委員会 奈良・平安時代
- 179 馬形 小田原市千代廃寺 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代 銅・鉛等製品
- 180 鍬形木製品 小田原市千代南原遺跡第 地点 小田原市教育委員会 奈良・平安時代
- 181 刀形木製品(2点) 小田原市千代南原遺跡第 地点 小田原市教育委員会 奈良・平安時代
- 182 齋串 小田原市千代南原遺跡第 地点 小田原市教育委員会 奈良・平安時代
- 183 ささら棒か 小田原市千代南原遺跡第 地点 小田原市教育委員会 奈良・平安時代
- 184 重弧文軒平瓦 松田町からさわ瓦窯 青山学院大学 奈良時代
- 185 細弁蓮華文軒丸瓦 松田町からさわ瓦窯 青山学院大学 奈良時代
- 186 埴仏 小田原市千代廃寺 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代
- 187 蓮弁形土製品 小田原市千代廃寺 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代
- 188 珠文形土製品 小田原市千代廃寺 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代
- 189 螺髪 小田原市千代廃寺 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代
- 190 埴 小田原市千代北町遺跡・千代南原遺跡 小田原市教育委員会 奈良・平安時代
- 191 埴 小田原市千代廃寺 神奈川県教育委員会 奈良・平安時代
- 192 居村B遺跡二号木簡 茅ヶ崎市本村居村B遺跡 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 193 「東」墨書土器 茅ヶ崎市本村居村B遺跡 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 194 「真」墨書土器 茅ヶ崎市本村居村B遺跡 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 195 居村B遺跡四号木簡 茅ヶ崎市本村居村B遺跡 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 196 「市」力 墨書灰釉陶器 茅ヶ崎市本村居村B遺跡 茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代
- 197 「市」力 墨書灰釉陶器 茅ヶ崎市本村居村B遺跡

茅ヶ崎市教育委員会 奈良・平安時代

198 須恵器短頸壺(葉壺形)・蓋 川崎市多摩区生田 8601 火葬墓 川崎市市民ミュージアム 奈良時代

199 石櫃 川崎市多摩区生田 8601 火葬墓 川崎市市民ミュージアム 奈良時代

200 須恵器短頸壺(葉壺形) 川崎市宮前区有馬 2509 火葬墓 川崎市市民ミュージアム 平安時代

201 灰釉陶器碗 川崎市宮前区有馬 2509 火葬墓 川崎市市民ミュージアム 平安時代

202 須恵器短頸壺(葉壺形)・蓋 川崎市宮前区有馬 2511 火葬墓 川崎市市民ミュージアム 奈良時代

203 須恵器短頸壺(葉壺形)・蓋 川崎市宮前区野川 2623 火葬墓 川崎市市民ミュージアム 奈良時代

204 短冊形鉄板(墓誌か) 川崎市宮前区野川 2623 火葬墓 川崎市市民ミュージアム 奈良時代

205 鏡 愛川町八菅山経塚 八菅神社 平安末~鎌倉

206 常滑三筋壺 愛川町八菅山経塚 八菅神社 平安末~鎌倉

207 常滑壺 愛川町八菅山経塚 八菅神社 平安末~鎌倉

208 渥美壺 愛川町八菅山経塚 八菅神社 平安末~鎌倉

209 常滑壺 愛川町八菅山経塚 八菅神社 平安末~鎌倉

210 常滑三筋壺 愛川町八菅山経塚 八菅神社 平安末~鎌倉

211 常滑壺 愛川町八菅山経塚 八菅神社 平安末~鎌倉

212 常滑三筋壺 愛川町八菅山経塚 八菅神社 平安末~鎌倉

213 常滑三筋壺 愛川町八菅山経塚 八菅神社 平安末~鎌倉

214 渥美壺 愛川町八菅山経塚 八菅神社 平安末~鎌倉

215 木製合子形念持仏(愛染明王) 愛川町八菅山経塚 愛川町教育委員会 平安末~鎌倉

216 木製合子形念持仏(観音) 愛川町八菅山経塚 愛川町教育委員会 平安末~鎌倉

217 経筒 伊勢原市比々多神社経塚 比々多神社 平安末~鎌倉

218 丸瓦 伊勢原市比々多神社経塚 比々多神社 平安末~鎌倉

219 渥美壺 伊勢原市比々多神社経塚 比々多神社 平安末~鎌倉

220 須恵質壺 伊勢原市比々多神社経塚 比々多神社 平安末~鎌倉

221 山茶碗系こね鉢 伊勢原市比々多神社経塚 比々多神社 平安末~鎌倉

222 常滑三筋壺 伊勢原市比々多神社経塚 比々多神社 平安末~鎌倉

223 古瀬戸四耳壺 伊勢原市比々多神社経塚 比々多神社 平安末~鎌倉

224 経筒 南足柄市御嶽神社裏山経塚 個人 奈良・平安時代

225 渥美壺 南足柄市御嶽神社裏山経塚 個人 奈良・平安時代

226 青白磁小壺 南足柄市御嶽神社裏山経塚 個人 奈良・平安時代

227 常滑三筋壺 南足柄市御嶽神社裏山経塚 個人 奈良・平安時代

228 銅製提子 南足柄市御嶽神社裏山経塚 個人 奈良・平安時代

229 経筒 平塚市南金目琉球山経塚 平塚市教育委員会 平安時代末期

230 経筒 永福寺跡内経塚 鎌倉市教育委員会 中世

231 数珠 永福寺跡内経塚 鎌倉市教育委員会 中世

232 白磁小壺 永福寺跡内経塚 鎌倉市教育委員会 中世

233 渥美控鉢 永福寺跡内経塚 鎌倉市教育委員会 中世

234 渥美甕 永福寺跡内経塚 鎌倉市教育委員会 中世

部 中世

235 木製不動明王像 北条時房・顕時邸跡 鎌倉市教育委員会 中世

236 鉛?製阿弥陀如来立像 円覚寺旧境内遺跡 鎌倉市教育委員会 中世

237 銅製観音菩薩立像 由比ヶ浜中世集団墓地遺跡 鎌倉市教育委員会 中世

238 銅製観音立像 大倉幕府周辺遺跡群 鎌倉市教育委員会 中世

239 土製布袋像 長谷小路南遺跡 鎌倉市教育委員会 中世

240 木製地蔵立像 武蔵大路周辺遺跡 鎌倉市教育委員会 中世

241 木製地蔵菩薩立像 智岸寺跡 鎌倉市教育委員会 中世

242 木製地蔵尊立像 若宮大路周辺遺跡群 鎌倉市教育委員会 中世

243 土製小型地蔵像 由比ヶ浜中世集団墓地遺跡 鎌倉市教育委員会 中世

244 木製木彫立像 覚園寺旧境内遺跡 鎌倉市教育委員会 中世

245 銅製如来座像 由比ヶ浜中世集団墓地遺跡 鎌倉市教育委員会 中世

246 銅製如来立像 若宮大路周辺遺跡群 鎌倉市教育委員会 中世

247 銅製如来立像 永福寺跡 鎌倉市教育委員会 中世

248 銅製懸仏 名越 鎌倉市教育委員会 中世

249 土製五輪塔 南御門遺跡 鎌倉市教育委員会 中世

250 土製宝塔 不明 鎌倉市教育委員会 中世

251 木製五輪塔 4-1・2 若宮大路周辺遺跡群 鎌倉市教育委員会 中世

252 木製宝塔 出土地不明 鎌倉市教育委員会 中世

253 土製宝塔 若宮大路周辺遺跡群 鎌倉市教育委員会 中世

- 254 土製五輪塔 今小路西遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 255 銅製五輪塔 藤内定員邸跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 256 水晶製五輪塔 円覚寺門前遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 257 数珠玉 鎌倉市光触寺橋やぐら 神奈川県教育委員会 中世
- 258 鏡板または御正体 鎌倉市千葉地東遺跡 神奈川県教育委員会 中世
- 259 木製数珠玉 北条時房・顕時邸跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 260 水晶宝珠 今小路西遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 261 水晶数珠玉 材木座町屋遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 262 水晶数珠玉 若宮大路周辺遺跡群 鎌倉市教育委員会 中世
- 263 水晶片(41点) 極楽寺中心伽藍跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 264 鏡板 長谷小路周辺遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 265 鏡板または御正体 鎌倉市真言院北やぐら群 神奈川県教育委員会 中世
- 266 「地蔵」他墨書かわらけ 若宮大路周辺遺跡群 鎌倉市教育委員会 中世
- 267 仏線刻画硯 若宮大路周辺遺跡群 鎌倉市教育委員会 中世
- 268 青白磁仏像手 千葉地遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 269 仏像鑄型 若宮大路周辺遺跡群 鎌倉市教育委員会 中世
- 270 堂宇形瓦質ミニチュア 材木座町屋遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 271 板碑(花瓶陰刻) 鎌倉市松葉ヶ谷奥やぐら群 神奈川県教育委員会 中世
- 272 銅製六器 永福寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 273 銅製六器 由比ヶ浜中世集団墓地遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 274 銅製六器 若宮大路周辺遺跡群 鎌倉市教育委員会 中世
- 275 銅製六器 若宮大路周辺遺跡群 鎌倉市教育委員会 中世
- 276 銅製六器 天王館跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 277 銅製六器 蓋 不明 鎌倉市教育委員会 中世
- 278 銅製六器 若宮大路周辺遺跡群 鎌倉市教育委員会 中世
- 279 銅製六器 鎌倉市千葉地東遺跡 神奈川県教育委員会 中世
- 280 板碑(花瓶陰刻) 横浜市都筑区新宮台横六墓 神奈川県教育委員会 中世
- 281 銅製六器 下馬周辺遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 282 銅製六器 杉本寺周辺遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 283 銅製小碗 千葉地遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 284 銅製六器托 長谷小路周辺遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 285 銅製六器 鎌倉市西御門東やぐら群 神奈川県教育委員会 中世
- 286 銅製六器の鑄型 若宮大路周辺遺跡群 鎌倉市教育委員会 中世
- 287 五鈷杵 鎌倉市平等寺跡 鎌倉国宝館 中世
- 288 磬 今小路西遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 289 鉄製磬 米町遺跡第10地点 鎌倉市教育委員会 中世
- 290 五輪塔形塔婆 鶴岡八幡宮収蔵庫用地 鎌倉市教育委員会 中世
- 291 引磬 若宮大路周辺遺跡群 鎌倉市教育委員会 中世
- 292 板塔婆(方頭形) 鶴岡八幡宮収蔵庫用地 鎌倉市教育委員会 中世
- 293 柿経 仏法寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 294 板塔婆 北条時房・顕時邸跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 295 塔婆 北条小町邸跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 296 木製板塔婆 今小路西遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 297 笹塔婆 永福寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 298 古瀬戸仏花瓶 若宮大路周辺遺跡群 鎌倉市教育委員会 中世
- 299 古瀬戸仏花瓶 若宮大路周辺遺跡群 鎌倉市教育委員会 中世
- 300 瓦質燭台 無量寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 301 仏花瓶 鎌倉市山王堂東谷やぐら群 神奈川県教育委員会 中世
- 302 仏花瓶(1対) 長谷小路周辺遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 303 古瀬戸香炉 長楽寺南やぐら 鎌倉市教育委員会 中世
- 304 香炉 若宮大路周辺遺跡群 鎌倉市教育委員会 中世
- 305 香炉 由比ヶ浜南遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 306 白磁香炉 横小路周辺遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 307 瓦質香炉 鎌倉市西御門東やぐら群 神奈川県教育委員会 中世
- 308 瓦質香炉 新善光寺跡内やぐら 鎌倉市教育委員会
- 309 土器香炉 鎌倉市覚園寺総門跡東やぐら群 神奈川県教育委員会 中世
- 310 鉄製柄香炉 瑞泉寺周辺遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 311 銅製燭台 鎌倉市宅間谷西やぐら群 神奈川県教育委員会 中世か
- 312 瓦質燭台(台のみ遺存) 鎌倉市千葉地東遺跡 神奈川県教育委員会 中世
- 313 仏供 鎌倉市下馬周辺遺跡 神奈川県教育委員会 中世
- 314 仏供 鎌倉市下馬周辺遺跡 神奈川県教育委員会 中世
- 315 「三界」墨書かわらけ 華光院跡やぐら群 鎌倉市教育

- 委員会 中世
- 316 「大小佛神・・・」墨書かわらけ 鎌倉市千葉地東遺跡 神奈川県教育委員会 中世
- 317 古瀬戸仏花瓶 由比ヶ浜南遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 318 古瀬戸仏花瓶 長谷小路周辺遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 319 仏花瓶 鎌倉市松葉ヶ谷奥やぐら群 神奈川県教育委員会 中世
- 320 古瀬戸仏花瓶 由比ヶ浜中世集団墓地遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 321 仏花瓶 笹目遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 322 仏花瓶(2個体) 杉本寺周辺遺跡内やぐら 鎌倉市教育委員会 中世
- 323 木製盆 北条時房・顕時邸跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 324 青白磁相輪 若宮大路周辺遺跡群 鎌倉市教育委員会 中世
- 325 木製仏具? 北条時房・顕時邸跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 326 銅製仏具? 今小路西遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 327 線刻文字瓦 宝蓮寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 328 鬼面土器 宇都宮辻子幕府跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 329 鳳凰文土製品 材木座町屋遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 330 銀製菊花皿 由比ヶ浜中世集団墓地遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 331 土鈴 由比ヶ浜中世集団墓地遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 332 木印(宝塔印) 佐助ヶ谷遺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 333 懸仏 長谷寺 長谷寺 中世
- 334 鏡板 長谷寺 長谷寺 中世
- 335 飾り金具、鏡板 長谷寺 長谷寺 中世
- 336 常滑三耳壺 長谷寺 長谷寺 中世
- 337 金彩宝篋印塔相輪 長谷寺 長谷寺 中世
- 338 白磁四耳壺 新善光寺跡内やぐら 鎌倉市教育委員会 中世
- 339 火葬骨 新善光寺跡内やぐら 鎌倉市教育委員会 中世
- 340 写経石 新善光寺跡内やぐら 鎌倉市教育委員会 中世
- 341 経石 鎌倉市山王堂東谷やぐら群 神奈川県教育委員会 中世
- 342 金銅製瓔珞? 永福寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 343 螺鈿燈台 永福寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 344 螺鈿器物(4点) 永福寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 345 台座の雲形か 永福寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 346 板塔婆 永福寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 347 板塔婆 永福寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 348 蓮刷刻板 建長寺境内 建長寺 中世
- 349 木製飾り 建長寺境内 建長寺 中世
- 350 蓮華座 建長寺境内 建長寺 中世
- 351 飾り板 建長寺境内 建長寺 中世
- 352 装飾 建長寺境内 建長寺 中世
- 353 金銅製飾り金具 永福寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 354 花菱形座金 建長寺境内 建長寺 中世
- 355 荘厳具 建長寺境内 建長寺 中世
- 356 僧の顔墨書土器 建長寺境内 建長寺 中世
- 357 香炉 建長寺境内 建長寺 中世
- 358 燭台 建長寺境内 建長寺 中世
- 359 人形 建長寺境内 建長寺 中世
- 360 舟形 建長寺境内 建長寺 中世
- 361 舟形 建長寺境内 建長寺 中世
- 362 剣刻印木簡 建長寺境内 建長寺 中世
- 363 板塔婆(梵字と諸行無常) 建長寺境内 建長寺 中世
- 364 金銅製吊り金具 永福寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 365 塔婆 建長寺境内 建長寺 中世
- 366 祈願文焼文字木簡 建長寺境内 建長寺 中世
- 367 蓮華蕾 永福寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 368 飾り隅金 永福寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 369 銅製飾り金具 永福寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 370 木製仏像の手(2点) 永福寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 371 漆製仏像断片 永福寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 372 蓮弁 永福寺跡 鎌倉市教育委員会 中世
- 373 土製仏像・台座 伊勢原市大山上山頂遺跡 神奈川県教育委員会 中世
- 374 青銅製五層小塔 伊勢原市大山上山頂遺跡 神奈川県教育委員会 中世
- 375 青銅製如来座像 藤野町柵戸中原遺跡 神奈川県教育委員会 中世
- 376 懸仏(十一面観音) 箱根町大芝遺跡 箱根町教育委員会 中世
- 377 懸仏(地藏菩薩) 箱根町大芝遺跡 箱根町教育委員会 中世
- 378 懸仏鏡板 箱根町大芝遺跡 箱根町教育委員会 中世
- 379 円盤状銅製品 箱根町大芝遺跡 箱根町教育委員会 中世
- 380 懸仏獅子噛座 箱根町大芝遺跡 箱根町教育委員会 中世
- 381 懸仏獅子噛座 箱根町大芝遺跡 箱根町教育委員会 中世
- 382 仏像宝冠破片 箱根町大芝遺跡 箱根町教育委員会 中世
- 383 垂木隅飾り 箱根町大芝遺跡 箱根町教育委員会 中世
- 384 鈴 箱根町大芝遺跡 箱根町教育委員会 中世
- 385 絵馬 平塚市真田・北金目遺跡群 15区 平塚市教育委員会 中世

386 銅製六器 厚木市首野 1 遺跡 厚木市教育委員会 中世	委員会 戦国時代
387 引磬 厚木市中依知遺跡群 神奈川県教育委員会 中世	401 五輪塔水輪 小田原市山角町遺跡第 地点 小田原市 教育委員会 戦国時代
388 鉦鼓 葉山町間門遺跡 葉山町教育委員会 中世	402 宝篋印塔相輪 小田原市山角町遺跡第 地点 小田原 市教育委員会 戦国時代
389 金剛盤 海老名市河原口坊中遺跡 神奈川県教育委員 会 中世	403 宝篋印塔相輪 小田原市御組長屋遺跡 小田原市教育 委員会 戦国時代
390 銅製燭台 東京都日野市栄町遺跡 日野市教育委員会 中世	404 宝篋印塔相輪未製品 小田原市御組長屋遺跡 小田原 市教育委員会 戦国時代
391 銅製花瓶 東京都日野市栄町遺跡 日野市教育委員会 中世	405 灰釉香炉 小田原城三の丸杉浦平太夫邸跡 神奈川県 教育委員会 中世
392 銅製香炉 東京都日野市栄町遺跡 日野市教育委員会 中世	406 数珠玉 茅ヶ崎市上ノ町遺跡 神奈川県教育委員会 中世
393 銅製護摩杓 東京都日野市栄町遺跡 日野市教育委員 会 中世	407 浮き彫り五輪塔 小田原市御組長屋遺跡 小田原市教育 委員会 戦国時代
394 五輪塔空風輪未製品 小田原市山角町遺跡第 地点 小田原市教育委員会 戦国時代	408 板塔婆 小田原市御組長屋遺跡 小田原市教育委員会 鎌倉時代
395 宝篋印塔塔身 小田原市御組長屋遺跡 小田原市教育 委員会 戦国時代	409 数珠 小田原城三の丸弁財天跡第 地点 小田原市教育 委員会 戦国時代
396 宝篋印塔基礎 小田原市御組長屋遺跡 小田原市教育 委員会 戦国時代	410 陶器香炉 小田原市杉浦平太夫邸跡他 小田原市教育 委員会 戦国時代
397 五輪塔空風輪 小田原市山角町遺跡第 地点 小田原 市教育委員会 戦国時代	411 懸仏 伊勢原市上粕屋・小山遺跡 神奈川県教育委員会 中世か
398 五輪塔火輪未製品 小田原市山角町遺跡第 地点 小田原市教育委員会 戦国時代	412 銅製燭台 清川村表の屋敷遺跡 神奈川県教育委員会 中世か
399 五輪塔火輪 小田原市山角町遺跡第 地点 小田原市 教育委員会 戦国時代	413 懸仏 清川村表の屋敷遺跡 神奈川県教育委員会 中世
400 五輪塔水輪 小田原市御組長屋遺跡 小田原市教育	

ウ フリーゾーン等における「馬車道を描く日曜画家展 歴代金賞作品」展示

概要：昭和 55(1980)年から始められ 33 回目となった「馬車道を描く日曜画家展」の歴代金賞受賞作品を、当館フリーゾーン等に展示した。なお、当館角田学芸員が審査員の一人として協力した。

会期：平成 26 年 10 月 25 日(土)～11 月 3 日(月・祝)

会場：神奈川県立歴史博物館 フリーゾーン廊下、会議室

共催：馬車道商店街協同組合

展示場所及び点数：合計 33 点(馬車道側廊下(2ヶ所・11 点)、会議室(22 点))

エ フリーゾーンにおけるパネル展示

(7) 「かながわの近代建築」

概要：神奈川県内には、現在も明治・大正・昭和戦前期に建てられた数多くの近代建築が残されている。これらの近代建築の多くは、横浜における開港場や居留地に由来する建築、湘南地域に幅広く分布する避暑・避寒のための別荘建築、海軍の軍都として発展した横須賀などに見られる軍事関連の建築、箱根を中心とした観光地に建てられた旅館やホテル建築、京浜工業地帯の一角を占める横浜・川崎の臨海部の工場建築という、五つの要素に大別してとらえることができる。これは神奈川県内の近代建築の特色を表現しているだけでなく、神奈川県内の近代の歩みを考える上で重要な要素でもある。

本展示では、神奈川県内に現存する近代建築のうち、当館の建物である旧横浜正金銀行本店本館や「キングの塔」と通称される神奈川県庁本庁舎をはじめとする24棟の建物を取り上げ、その魅力を紹介した。

会 期：通年

会 場：神奈川県立歴史博物館 フリーゾーン 廊下

展示資料点数：25点（番外のマップを含む）

出品目録(いずれも写真パネル)

(凡例) 名称 所在地 竣工年月

番外 かながわの近代建築 MAP(神奈川県内の近代建築のうち60棟を地図上に示し、各建物の写真と概要データを紹介したもの)	12 横浜税関本関庁舎 横浜市中区海岸通 1934(昭和9)年3月
1 旧横浜正金銀行本店本館(神奈川県立歴史博物館) 横浜市中区南仲通 1904(明治37)年7月	13 横浜郵船ビル(日本郵船歴史博物館) 横浜市中区海岸通 1936(昭和11)年10月
2 神奈川県庁舎(神奈川県庁本庁舎) 横浜市中区日本大通 1928(昭和3)年10月	14 旧内田家住宅(外交官の家) 横浜市中区山手町 1910(明治43)年
3 旧新港埠頭煉瓦二号倉庫(横浜赤レンガ倉庫2号館) 横浜市中区新港 1911(明治44)年5月	15 旧英国総領事公邸(横浜市イギリス館) 横浜市中区山手町 1937(昭和12)年
4 旧三井物産横浜支店(三井物産横浜ビル) 横浜市中区日本大通1号ビル - 1911(明治44)年8月、2号ビル - 1927(昭和2)年	16 旧大倉精神文化研究所(横浜市大倉山記念館) 横浜市港北区大倉山 1932(昭和7)年4月
5 旧開港記念横浜会館(横浜市開港記念会館) 横浜市中区本町 1917(大正6)年6月	17 福住旅館金泉楼・萬翠楼 足柄下郡箱根町湯本 1877(明治10)・1878(明治11)年
6 旧川崎銀行横浜支店(日本興亜馬車道ビル) 横浜市中区弁天通 1922(大正11)年	18 富士屋ホテル本館 足柄下郡箱根町宮ノ下 1891(明治24)年
7 旧生糸検査所(横浜第2合同庁舎) 横浜市中区北仲通 1926(大正15)年2月	19 旧日本爆発物製造株式会社支配人執務室(旧海軍火薬廠将校クラブ、旧横浜ゴム平塚製造所記念館) 平塚市浅間町 1912(明治45)年頃
8 ホテルニューグランド本館 横浜市中区山下町 1927(昭和2)年11月	20 旧木下邸 中郡大磯町大磯 明治時代末期
9 旧横浜商工奨励館(横浜情報文化センター) 横浜市中区日本大通 1929(昭和4)年4月	21 旧近藤邸 藤沢市鵠沼東(同市内より移築) 1925(大正14)年
10 旧三井銀行横浜支店(三井住友銀行横浜支店) 横浜市中区本町 1931(昭和6)年3月	22 旧華頂家住宅主屋(旧華頂宮邸) 鎌倉市浄明寺 1929(昭和4)年
11 旧横浜英国総領事館(横浜開港資料館旧館) 横浜市中区日本大通 1931(昭和6)年	23 旧藤沢ゴルフ倶楽部クラブハウス(神奈川県立体育センター食堂) 藤沢市善行 1932(昭和7)年
	24 旧前田家別邸(鎌倉文学館本館) 鎌倉市長谷 1936(昭和11)年8月

(1) 「写真で見る馬車道の歴史」

概 要： 馬車道。本町4丁目の交差点から吉田橋までのわずか500メートルほどの通りであるが、歌謡曲でも歌われたヨコハマを代表する道路のひとつである。幕末横浜開港とともに生まれ、港と市街地を結ぶ往来として発展し、明治4(1871)年の地図には「馬車道」の名前が記されている。

輸出入の品々を運んだ荷馬車や外国人などが乗った馬車が通行していたことから「馬車道」とよばれ、多くの人たちが往来し、さまざまな商店が建ち並ぶ一方、貿易商社や金融機関が軒を並べる通りでもあった。馬車道150年の歩みを写真パネルで紹介した。

会 期：通年

会 場：神奈川県立歴史博物館 フリーゾーン 廊下

展示資料点数：11点

出品目録(いずれも写真パネル)

(凡例) 名称(作者) 時代 所蔵・写真提供者

1 横浜一覽之真景(部分) 橋本玉蘭齋(五雲亭)貞秀 明治4年(1871) 所蔵 神奈川県立歴史博物館	7 オート三輪が走る馬車道 昭和35年(1960) 写真提供 神奈川県新聞社
2 横浜吉田橋通繁盛之図 歌川国輝(二代) 山本平吉版 明治3年(1870) 所蔵 神奈川県立歴史博物館	8 東宝会館(現リッチモンドホテル) 昭和34年(1959) 写真提供 神奈川県新聞社
3 (絵葉書)横浜正金銀行 明治末 所蔵 神奈川県立歴史博物館	9 国際仮装行列の仮面ライダー 昭和48年(1973) 写真提供 神奈川県新聞社
4 (絵葉書)明治時代の馬車道 明治末 所蔵 神奈川県立歴史博物館	10 馬車道まつりパレード 昭和51年(1976) 写真提供 馬車道商店街協同組合
5 (絵葉書)横浜震災実況 横浜正金銀行付近の惨状 大正12年(1923) 所蔵 神奈川県立歴史博物館	11 馬車で歌うピンクレディー 昭和52年(1977) 写真提供 馬車道商店街協同組合
6 空襲で焼け野原になった馬車道 昭和20年(1945) 写真提供 アメリカ国立公文書館	

(5) 学習支援事業

県民の学習ニーズに応えるべく学習の機会を提供し、博物館で行う講座・講演会や各種行事などへの参加を通して、神奈川の歴史・文化や文化財についての知識関心を深めることを目的として実施した(一部再掲)。

ア 講座

県民に展示内容や文化財への興味関心を持ってもらい、より深い理解を図るため、県博講座をはじめとした次の講座を実施した。

(ア) 県博セミナー[期](生涯学習課主管の県立機関活用講座、3回連続、有料 3,000円、全回申込者を優先するが定員に達しない場合は各回毎に単独受講可能。単独受講の場合は1,000円、14:00~16:00)

テーマ：「日仏文化交流をたどる」(応募者160名 単回を含む事前申込者)

概要：特別展「繭と鋼」にちなむ連続講座。幕末明治期の神奈川の姿や日仏交流を美術や文学、政治の面からの諸相をたどる。

内 容

・第1回 6月1日(日) (受講者41名)

「日仏交流の歩み」明治大学准教授 川嶋周一 氏

・第2回 6月8日(日) (受講者45名)

「文学における日仏交流 - 『レ・ミゼラブル』から21世紀まで - 」

早稲田大学文学学術院非常勤講師 辻村永樹 氏

・第3回 6月15日(日) (受講者39名)

「日仏美術交流の諸相 日米美術交流と比較しながら 」埼玉県立近代美術館学芸員 五味良子 氏

(イ) 県博セミナー[期](生涯学習課主管の県立機関活用講座、3回連続、有料 3,000円、全回申込者を優先するが定員に達しない場合は各回毎に単独受講可能。単独受講の場合は1,000円、14:00~16:00)

テーマ：「白をめぐるかたちの系譜」(応募者90名 単回を含む事前申込者)

概要：特別展「白絵」にちなむ連続講座。生命のかかわる場に現れる 白 の造形には、どのような祈りが込められていたのか。白一色による表現を選び取った「白絵」という かたち に注目し、人々の意識の奥底に受け継がれた、祈りと寿ぎの美のあり様を考えていく。

内 容：

- ・第1回 10月25日(土) (受講者27名)
「白のかたち - 白絵とはなにか」学芸員 小井川 理
- ・第2回 11月1日(土) (受講者24名)
「仏教美術と 白」奈良女子大学教授 加須屋誠 氏
- ・第3回 11月8日(土) (受講者31名)
「有職故実と 白」立正大学准教授 佐多芳彦 氏

(ウ) 県博講座(当館の学芸員等による4回連続講座、無料、ただし常設展観覧券が必要、14:00~16:00)

テーマ：「災害資料を読み解く - 神奈川の災害史 - 」(応募者180名)

概要： 自然災害に対する人々の関心がたかまっている現在、私たちが暮らしているかながわという地域で、過去に発生した自然災害に人々がどう対処し、復興を図ってきたのか。中世以降に神奈川県域に生じた地震や火山噴火などの自然災害関係資料を読み解く。

内 容：

- ・第1回 9月13日(土) (受講者38名)
「鎌倉を襲った災害 - 鎌倉~室町時代 - 」専門学芸員 永井 晋
- ・第2回 9月20日(土) (受講者31名)
「元禄地震の記録 - 『祐之地震道記』を読み解く - 」非常勤学芸員 根本 佐智子
- ・第3回 9月27日(土) (受講者34名)
「富士山宝永噴火 - 被災・救済・復興 - 」企画普及課長 古宮 雅明
- ・第4回 10月4日(水) (受講者30名)
「関東大震災 - 様々な記録と記憶 - 」学芸部長 寺崎 弘康

(I) 博物館入門講座(無料、ただし常設展観覧券が必要)(応募者78名・受講者74名)

概要： 普段見ることのできない、博物館の様々な活動や学芸員の仕事について紹介するとともに、当館の展示についても学ぶ。なお、当館のボランティア募集に際しては、当講座を受講済であることを応募の条件としている。

内 容(全2日間)：

1月17日(土) 10:00~15:30

当館の概要・博物館とその機能・博物館活動と学芸員の仕事・当館の企画普及事業・館内見学

1月24日(土) 10:00~15:30

学芸員の技・学芸員の目(1),(2)・ワークショップ

イ 特別展記念講演会等行事(特別展のテーマに沿った内容の講演会等の実施。無料、ただし(ア)、(イ)、(ウ)は特別展観覧券、(I)は常設展観覧券が必要。応募者数を記していない場合は自由参加。)

(ア) 特別展「明治大学 クリスチャン・ポラックコレクション 繭と鋼 - 神奈川とフランスの交流史 - 」
関連講演会等

記念講演会(応募者122名・受講者119名)

日 時：5月11日(日)

演 題：「コレクションの形成とその概要」

講 師：明治大学客員教授 クリスチャン・ポラック 氏

現地見学会「横浜山手のフランス史跡をめぐる」(応募者79名・受講者31名)

日 時：5月25日(日) 14:00~17:00

講 師：学芸員 角田 拓朗

(イ) 特別展「『白絵』 - 祈りと寿ぎのかたち - 」関連講演会等

記念講演会(応募者73名・受講者66名)

日 時：10月18日(土) 14:00~16:00

演 題：「『白絵屏風』から語り出す日本美術史」

講 師：岡崎市美術博物館長 榊原悟 氏

子ども向け行事「体験教室」（応募者 12 名(付添保護者 10 名)・参加者 12 名(付添保護者 10 名)

日 時：11 月 9 日(日) 13:30～16:00

内 容：「むかしの子もたちのお守り人形・這子(ほうこ)をつくろう」のテーマで、江戸時代の資料を参考に、布を縫って「這子」を作る。

講 師：学芸員 小井川 理

- (ウ) 特別展「『陸にあがった海軍』 - 連合艦隊司令部日吉地下壕からみた太平洋戦争 - 」関連講演会等
記念講演会（応募者 211 名・受講者 67 名）

日 時：2 月 21 日(土) 14:00～16:00

演 題：「海底に沈む太平洋戦争の痕跡」

講 師：水中写真家 古見きゆう 氏

記念シンポジウム「戦争遺跡を残し、伝える意義を考える」（事前申込不要・参加者 142 名）

日 時：2 月 7 日(土) 13:00～16:00

パ ー ト：日吉地下壕勤務経験者、慶應義塾大学考古学研究会会員、石巻市役所職員、当館学芸員
現地見学会「連合艦隊司令部日吉地下壕をあぐる」

日 時：3 月 1 日(日)（応募者 581 名）

第 1 回：10:30～12:00（参加者 26 名） 第 2 回：14:00～15:30（参加者 24 名）

講 師：学芸員 千葉 毅、慶應義塾大学考古学研究会会員

日 時：3 月 7 日(土)（応募者 695 名）

第 3 回：10:30～12:00（参加者 24 名） 第 4 回：14:00～15:30（参加者 30 名）

講 師：学芸員 千葉 毅、日吉台地下壕保存の会会員

- (イ) その他の展示「特別陳列『よみがえる東京オリンピック』関連講演会等」

記念講演会（応募者 73 名・受講者 66 名）

日 時：8 月 3 日(日) 14:00～16:00

演 題：「オリンピックを語る」

講 師：神奈川県教育委員会委員長 具志堅幸司 氏

特別解説（事前申込不要・参加者 26 名）

日 時：8 月 2 日(土) 13:30～14:30

演 題：「オリンピックを見ていた少女が語る 1964 あの時」

講 師：学芸部長 寺寄 弘康

子ども向け行事 クイズ「君もオリンピックメダリストになろう」

内 容：クイズを楽しみながら、オリンピックのことを学ぶ。

第 1 回（事前申込不要・参加者 92 名）

日 時：8 月 9 日(土) 10:00～16:00

講 師：学芸部長 寺寄 弘康

第 2 回（事前申込不要・参加者 72 名）

日 時：9 月 23 日(火・祝) 10:00～16:00

講 師：学芸部長 寺寄 弘康

- (オ) その他の展示「平成 26 年度かながわの遺跡展 『発掘された御仏と仏具 - 神奈川の古代・中世の
仏教信仰 - 』」関連行事

記念講演会

特別講演 第 1 回(応募者 88 名・受講者 80 名)

日 時：12 月 13 日(土) 14:00～16:00

演 題：「仏教考古学における出土の仏像と仏法具」

講 師：立正大学名誉教授 坂詰秀一 氏

特別講演 第2回(応募者 106 名・受講者 94 名)

日 時：1月10日(土) 14:00～16:00

演 題：「鎌倉出土の仏像彫刻」

講 師：神奈川県立歴史博物館館長 薄井 和男

入門講座(応募者 60 名・受講者 50 名)

日 時：12月20日(土)14:00～16:00

演 題：「神奈川県の古代寺院と村落内の仏堂」

講 師：神奈川県教育局生涯学習部 文化遺産課 (埋蔵文化財センター)副主幹 富永 樹之

ウ 学芸員による展示解説(特別展・コレクション展・特別陳列等の担当学芸員による展示解説、時間は別記のない場合は13:30～、自由参加)

特別展「明治大学 クリスチャン・ポラックコレクション『繭と鋼』 - 神奈川とフランスの交流史 - 」

- ・4月26日(土) 担当：学芸員 角田 拓朗 参加者 42 名
- ・4月29日(火・祝) 担当：学芸員 角田 拓朗 参加者 40 名
- ・5月3日(土) 担当：学芸員 角田 拓朗 参加者 30 名
- ・5月5日(月・祝) 担当：学芸員 角田 拓朗 参加者 32 名
- ・5月17日(土) 担当：学芸員 角田 拓朗 参加者 27 名
- ・5月31日(土) 担当：学芸員 角田 拓朗 参加者 40 名
- ・6月7日(土) 担当：学芸員 角田 拓朗 参加者 27 名
- ・6月21日(土) 担当：学芸員 角田 拓朗 参加者 55 名

特別展「『白絵』 - 祈りと寿ぎのかたち - 」

- ・10月12日(日) 担当：学芸員 小井川 理 参加者 53 名
- ・10月19日(日) 担当：学芸員 小井川 理 参加者 35 名
- ・10月26日(日) 担当：学芸員 小井川 理 参加者 31 名
- ・11月2日(日) 担当：学芸員 小井川 理 参加者 65 名
- ・11月15日(土) 担当：学芸員 小井川 理 参加者 50 名

特別展「『陸にあがった海軍』 - 連合艦隊司令部日吉地下壕かたみだ太平洋戦争 - 」

- ・2月1日(日) 担当：学芸員 千葉 毅 参加者 68 名
- ・2月14日(土) 担当：学芸員 千葉 毅 参加者 104 名
- ・2月28日(土) 担当：学芸員 千葉 毅 参加者 102 名
- ・3月15日(日) 担当：学芸員 千葉 毅 参加者 82 名
- ・3月22日(日) 第1回 担当：学芸員 千葉 毅 参加者 112 名
- ・3月22日(日) 第2回 担当：学芸員 千葉 毅 参加者 83 名

コレクション展「庶民の祈り - 御札・御守りのさまざま - 」

- ・7月26日(土) 担当：学芸員 新井 裕美 参加者 21 名
- ・8月23日(土) 担当：学芸員 新井 裕美 参加者 25 名

その他の展示 「特別陳列『よみがえる東京オリンピック』」

- ・7月27日(日) 担当：学芸部長 寺寄 弘康 参加者 34 名
- ・8月24日(日) 担当：非常勤学芸員 武田 周一郎 参加者 32 名
- ・9月21日(日) 担当：非常勤学芸員 武田 周一郎 参加者 34 名

その他の展示 「平成26年度かながわの遺跡展 『発掘された御仏と仏具 - 神奈川の古代・中世の仏教信仰 - 』」

- ・12月14日(日) 担当:神奈川県教育局生涯学習部 文化遺産課 副主幹 富永 樹之 参加者 14名
- ・12月23日(火・祝) 担当:神奈川県教育局生涯学習部 文化遺産課 副主幹 富永 樹之 参加者 21名
- ・1月11日(日) 担当:神奈川県教育局生涯学習部 文化遺産課 副主幹 富永 樹之 参加者 44名

エ ミュージアムトーク(常設展示室で展示資料を解説、自由参加)

日 時:7月6日(日) 13:30~14:30

テーマ:「浮世絵とうちわ絵」

担 当:主任学芸員 桑山 童奈

参加者:30名

オ その他の行事(無料、ただし常設展観覧券が必要)

(ア) 博物館建物見学会

概 要:国の重要文化財、史跡に指定されている当館建物について、通常は見ることのできない地下金庫扉や屋上ドームを公開し、学芸員が解説。

日 時:5月4日(日・祝) 第1回 10:30~12:00、第2回 14:00~15:30

講 師:主任学芸員 丹治 雄一

応募者:78名

参加者:第1回 31名、第2回 28名

日 時:9月14日(日) 第1回 10:00~11:30、第2回 13:30~15:00

講 師:主任学芸員 丹治 雄一

応募者:44名

参加者:第1回 16名、第2回 19名

日 時:10月12日(日) 13:30~15:00

講 師:主任学芸員 丹治 雄一

応募者:26名

参加者:26名

日 時:11月23日(日・祝) 第1回 10:00~11:30、第2回 13:30~15:00

講 師:主任学芸員 丹治 雄一

応募者:75名

参加者:第1回 22名、第2回 23名

日 時:3月8日(日) 第1回 10:00~11:30、第2回 13:30~15:00

講 師:主任学芸員 丹治 雄一

応募者:185名

参加者:第1回 27名、第2回 26名

(イ) ミュージアムコンサート

「浦賀ウインドオーケストラによる吹奏楽演奏会」

日 時:5月24日(土) 14:00~15:00

内 容:特別展「『繭と鋼』- 神奈川とフランスの交流史 - 」にちなんだ、「吹奏楽で巡る世界旅行」をテーマとした曲を演奏。

演奏者:浦賀ウインドオーケストラ

会 場:当館講堂

応募者:75名

参加者:43名

「クラシック・ヨコハマ2014 ミュージアムコンサート in 県立歴史博物館」

日 時:12月14日(日) 14:00~15:00

内 容:「クラシック・ヨコハマ2014」の一環として行われた。ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロによる弦楽四重奏。

演奏者：「ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン修了生等」による弦楽四重奏
会 場：当館講堂
応募者：124名
参加者：90名

カ 子ども・青少年向け教育普及事業

(ア) ミュージアムクイズ(自由参加)

内 容：常設展示資料から出題したクイズシートを配布。
開催日：毎週土・日、祝日(のべ91日間)
参加者：322名
担 当：非常勤学芸員 泉山 花江

(イ) ミュージアムクイズGWスペシャル2014(自由参加)

内 容：子どもの日にちなんだ行事。資料に関するクイズを解きながら、展示室を回る。参加者には景品あり。例年常設展示からのみの出題としていたが、本年度は試験的に特別展示からの出題も行った。
開催日：5月3日(土・祝)~5月6日(火・祝)
参加者：422名
担 当：非常勤学芸員 泉山 花江

(ウ) ミュージアム・クイズラリー よこはま 2014

内 容：夏休み期間に、近隣の博物館施設と共同で開催するクイズラリー。当館主催で参加館との連絡会を作り実施。参加者はクイズを解きながら各館を回り、クイズノートに館ごとのスタンプを押してもらおう。スタンプ数に応じた賞品あり。
平成26年度はテーマを「50年前にタイムトリップ」と題し、東京オリンピック開催前後の高度経済成長の時代に焦点を当てた。
また、当館キャラクター「パンチの守」が参加館を訪問し、地域連携を推進し事業を盛り上げた。

開催期間：7月19日(土)~8月31日(日)

参加館園：合計13館

横浜みなと博物館・JICA横浜 海外移住資料館・横浜税関資料展示室・横浜開港資料館・シルク博物館・日本新聞博物館・放送ライブラリー・横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化館・横浜人形の家・大佛次郎記念館・神奈川近代文学館

参加者：全体5,375名(自由参加)

関連行事：パンチの守訪問

大佛次郎記念館・神奈川近代文学館

8月7日(木) 14:20~15:00

情報文化センター(日本新聞博物館・放送ライブラリー・横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化館)

8月8日(金) 14:00~15:30

JICA横浜 海外移住資料館

8月20日(水) 11:10~11:30

横浜開港資料館

8月23日(土)11:00~11:20

当初8月10日(日)の予定だったが、台風のため延期

担 当：非常勤学芸員 泉山 花江

(I) 子ども博物館教室

a 名 称：「紙漉き体験 植物から紙を作ろう！」

内 容：「子ども博物館教室」は、子どもたちに当館の存在を知らせるとともに、体験型行事を通して、楽しみながら学習し、博物館に興味を持ってもらうことを目的に、毎年、夏休み期間中に開催している学習支援事業の一つである。

本年度は「紙漉き体験 植物から紙を作ろう！」と題し、世界文化遺産登録を果たした和紙づくりを体験してもらった。講師の指導の下原料である植物(楮)の皮を剥くところから始め、最終的に3種類の和紙を漉いた。

開催日： 7月26日(土) 9:45～12:30 / 13:30～16:15

対 象： 小学4年生～中学生(小学生は保護者の付き添いが必要)

参加者： 午前 応募 16名、参加 14名(外保護者14名)

午後 応募 15名、参加 13名(外保護者15名)

講 師： 田村 正 氏(夷正工房 主人)、村田 篤美 氏(講師アシスタント)

担 当： 非常勤学芸員 泉山 花江

b 名 称：「はにわ」ってなあに!? 馬のはにわを紙でつくってみよう」

内 容：当館で展示している馬の「はにわ」を、ペーパークラフトで製作する。製作をとおして展示物をよく観察し、細部まで目を向けさせて、新たな発見を導くことを目的とする。

開催日： 9月28日(日)11:00～12:00/ 14:00～15:00

・「はにわ」について説明

・作り方の説明後、ペーパークラフトを作成

対 象：小学生～中学生(小学校3年生以下は、保護者付添必須。展示室へは保護者付添は希望者のみ。)

参加者： 9月28日(日)応募 14名、参加 11名

講 師：齋藤弘 氏、学芸員 千葉 毅

担 当：非常勤学芸員 田辺 可奈

c 名 称：「まがたまづくり」

内 容：古代のアクセサリーであるまがたまを作ることを通して、古代の人々の暮らしや技術を知り、歴史をより身近に感じられるようにすることを目指す。

開催日： 12月7日(日) 10:30～12:00/14:00～16:00

対 象：午前の部/高校生以上

午後の部/小学生～中学生の子どもとその保護者

参加者：午前 応募11名、参加 7名

午後 応募16名、参加16名(内子ども10名、保護者6名)

講 師：非常勤学芸員 田辺 可奈

担 当：非常勤学芸員 田辺 可奈

キ 学校連携事業の状況

(ア) 展示見学学習等、小中高等学校及び特別支援学校の当館利用状況

	県 内									
	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		県内合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	校数	校数	人数	校数	人数
4月	3	348	1	60	4	310	0	0	8	718
5月	2	69	28	967	9	423	0	0	39	1,459
6月	2	210	14	510	2	22	1	2	19	744
7月	2	133	4	46	4	35	0	0	10	214
8月	0	0	3	47	2	39	0	0	5	86
9月	1	80	3	146	2	55	1	27	7	308
10月	2	236	4	86	6	84	1	4	13	410
11月	18	1,377	5	185	4	39	0	0	27	1,601

12月	2	66	6	116	1	5	0	0	9	187
1月	2	187	6	195	0	0	0	0	8	382
2月	4	223	9	275	2	183	0	0	15	681
3月	1	30	2	24	1	59	0	0	4	113
合計	39	2,959	85	2,657	39	1,261	3	33	166	6,910

	県外									
	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		県外合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4月	0	0	15	185	5	283	0	0	20	468
5月	2	135	31	576	24	523	0	0	57	1,234
6月	1	56	10	131	2	179	0	0	13	366
7月	0	0	5	283	1	22	0	0	6	305
8月	0	0	2	45	2	8	0	0	4	53
9月	1	5	13	434	0	0	0	0	14	439
10月	2	40	3	144	0	0	0	0	5	184
11月	0	0	11	355	6	328	0	0	17	683
12月	0	0	1	5	1	124	0	0	2	129
1月	0	0	6	186	1	12	0	0	7	198
2月	0	0	18	515	1	2	0	0	19	517
3月	0	0	14	329	2	11	0	0	16	340
合計	6	236	129	3,188	43	1,485	0	0	178	4,909

	平成26年度総計		平成25年度総計		平成24年度総計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4月	28	1,186	31	1,457	54	1,217
5月	96	2,693	95	2,741	98	3,033
6月	32	1,110	43	1,315	52	1,538
7月	16	519	10	127	8	235
8月	9	139	3	24	1	7
9月	21	747	19	769	29	2,048
10月	18	534	38	1,346	21	822
11月	44	2,284	32	1,672	36	1,888
12月	11	316	15	636	19	933
1月	15	580	18	499	18	526
2月	34	1,198	30	1,207	27	958
3月	20	453	7	208	17	326
合計	344	11,819	341	12,002	380	13,531

(1)当館の利用目的

(単位：校数)

	利用目的	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
県内	社会科(歴史学習)	8(22%)	4(14%)	4(19%)	0(0%)	16(18%)
	総合的な学習の時間	27(73%)	19(65%)	12(57%)	1(33%)	59(65%)
	学校行事(遠足、社会見学等)	2(5%)	6(21%)	5(24%)	2(67%)	15(17%)
県外	社会科(歴史学習)	0(0%)	10(25%)	5(50%)	0(0%)	15(27%)
	総合的な学習の時間	1(20%)	17(42.5%)	4(40%)	0(0%)	22(40%)
	学校行事(遠足、社会見学等)	4(80%)	13(32.5%)	1(10%)	0(0%)	18(33%)

事前連絡校による統計

(ウ) 学校の博物館利用の状況

(単位：校数)

校種	事前準備				歴博活用			利用形態			付帯施設利用			利用目的		
	来館校数	下見来館	電話打合	資料提供	課題持参	ボラ活用	特別依頼	全員一斉	グループ	個人	駐車場	講堂	会議室	歴史学習	総合学習	社会見学
小学校	42	33	9	33	31	18	0	36	6	0	4	24	15	8	28	6
中学校	69	26	43	26	52	6	2	14	55	0	0	1	1	14	36	19
高等学校	31	6	25	10	21	7	5	11	20	0	0	2	2	9	16	6
特別支援学校	3	1	2	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	2
合計	145	66	79	71	104	31	7	60	84	0	4	27	18	31	80	34

事前連絡校による統計

課題持参 = 学校がワークシートなどを用意して見学。質問などにボランティアが対応。

ボラ活用 = ボランティアによる展示解説や質問への対応要請が事前にあったもの。

特別依頼 = 学芸員による館の概要説明や建物の解説など。

付帯施設利用 = 展示室等の一般利用施設以外に、駐車場(バス等)や講堂等の利用があったもの。

(I) 見学学習(社会科の歴史学習、総合的な学習の時間等)への対応状況

a 見学に際し当館の概要などを説明

小学校 24校、中学校 14校、高等学校 5校、大学 13校

b 見学に際し、学習を支援していくためのワークシート(素材)を提供

小学校 33校、中学校 26校、高等学校 10校、特別支援学校 2校

c 解説ボランティアが展示資料を解説

小学校 18校、中学校 6校、高等学校 7校、大学 16校

(ウ) 社会科の歴史学習、総合的な学習の時間(調べ学習)への対応状況

上記(I)の見学学習において、特定テーマの解説などの求めに対応したもの。

(単位：校数)

依頼テーマ	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
全般 テーマ1~5	1	2	3	0
テーマ1 さがみの古代に生きた人びと	3	0	2	1
テーマ2 都市鎌倉と中世人	3	0	2	0
テーマ3 近世の街道と庶民文化	10	1	1	0
テーマ4 横浜開港と近代化	14	4	3	0
テーマ5 現代の神奈川と伝統文化	3	1	0	0
特別展示・その他 (含む専門解説)	0	2	4	0

(カ) インターンシップ(就業体験・職場訪問等)への対応状況

目的： インターンシップは、生徒が学校に在学している期間中に、「勤労体験」「職業体験」活動を通じて、自主的に望ましい勤労観、職業観及び職業に関する知識や技術に触れ自己個性を理解して、進路選択ができる能力及び態度を身につけることを目的とする。

当館のインターンシップは、簡略化した講座と見学を中心とした職場訪問的なものと、複数日にわたり、博物館という職場の役割や学芸員の仕事について紹介し、また、実際に資料を扱うことで、博物館の仕事をより具体的に知ることを目的とする就業体験的なものがある。

対応状況：

- a 就業体験的なもの(複数日にわたり博物館の業務・学芸員の仕事についての概要説明、施設の見学、就業体験等を実施)
 - 鎌倉女子大学高等部、函嶺白百合学園高等部、星槎高等学校(2名)合計4名
 - ・日時：8月26日(火)～29日(金) 9：30～17：00
 - ・内容：8月26日(火)：ガイダンス、館内見学、書庫の見学、図書整理業務補助
 - 8月27日(水)：企画普及業務補助(利用促進に関わる発送作業)
 - 8月28日(木)：古書修復の見学、写真資料の整理
 - 8月29日(金)：キャプションの修正・確認、ワークシートの作成、4日間の振り返り
 - b 職場訪問的なもの(博物館の業務・学芸員の仕事についての概要説明を行い、施設見学を実施。2～3時間程度)
 - 5月20日(火) 横須賀市立浦賀中学校 2年 19名
 - 6月11日(水) 県立横浜清陵総合高等学校1年 15名
 - 7月15日(火) 県立大磯高等学校 1年 20名
- (イ) 『歴史博物館の展示(常設)目録 - 学習指導要領・教科書との対照表 - 』の更新
学校連携検討会議等での検討を受けて作成した『歴史博物館の展示(常設)目録 - 学習指導要領教科書との対照表 - 』(当館の常設展示資料と学習指導要領、教科書の主な単元項目が対照でき、さらに学芸員が適宜見学のポイントを記したもの)について、平成17年度で小・中・高等学校の3種類の校種別目録が揃った。また、平成23年度からの小学校を初めとして中学校、高等学校と順次行われてきた新学習指導要領の全面实施を受けて、随時改訂作業を進めている。さらに、平成24年度には、県立高等学校等で実施された日本史必修化の教科書である「郷土史かながわ」との対照表を作成し、全県立高等学校・特別支援学校へ配付した。この資料を基に独自のワークシート作りを行う学校が増えてきている。
- (ロ) 『常設展示品キャプション』の更新
学校連携検討会議等での検討を受けて作成した『常設展示品キャプション』について、展示替えなどによる情報の更新を適宜行った。平成26年度は、キャプション集の見直しを図り作成し直すと共に、特に頻繁に展示替えのある浮世絵の所はキャプション集の外枠にだし、展示替えしたことをホームページ上で確認できるようにしている。
- (ハ) ワークシートの作成と更新
学校の見学学習の参考として活用するために作成した『ワークシート』について、実際の活用場面の調査をするとともに、広く現場の教員からも意見を聞くなどして内容の改訂を行っている。
- (ニ) 教員向け研修会の実施
- a 「教員のための博物館講座」の開催
 - 日 時：7月31日(木) 13:30～17:00
 - 受講者：31名
 - 概 要：講義「教科書だけでは学べない神奈川の歴史～ペリーの顔! 貌! カオ!～」と「資料の読み取り方を学ぶ」についての講義とワークショップ、バックヤード見学
 - b 5年経験者研修「社会体験実習」の受入
 - 日 時：7月31日(木)・8月9日(土)・10日(日) 9:00～17:45
 - 受講者：県立深沢高等学校 河内 卓矢 教諭
県立武山養護学校 横山 佳子 教諭
 - c 10年経験者研修「社会体験実習」の受入
 - 日 時：8月9日(土)・10日(日) 9:00～17:45
 - 受講者：県立鶴見高等学校 平野 岳 教諭

(サ) ホームページ上で「こどものページ」の公開

児童・保護者や学校関係者に親しみを感じてもらうことで館の利用促進を図るため、ホームページ上に小学生・中学生向けの「こどものページ」を設け、当館で見学学習を行った小・中学生から作文や絵画などを募り、公開している。

掲載期間	学校名	内容
25年 8月17日～26年6月20日	神奈川県立大磯高等学校1年	感想文 3名
25年 10月29日～26年9月19日	公文国際学園中等部1・2年	感想文 10名
25年 11月12日～27年7月 3日	神奈川学園中学校3年D組	壁画(文化祭)
25年 11月26日～27年7月 3日	川崎市立玉川中学校1～3年	新聞 9名
25年 12月17日～26年9月19日	千葉大学教育学部附属中学校1～3年	感想文 29名
26年 1月21日～27年4月14日	横浜市立瀬谷小学校6年	感想文 15名
26年 3月 1日～27年4月14日	JICA 日本語学校生徒研修第2陣	感想文 36名
26年 6月13日～27年7月 3日	逗子市立逗子小学校6年	感想文 14名
26年 9月 4日～27年7月 3日	横須賀市立浦賀中学校2年	感想文 11名
26年 9月17日～27年9月29日	横浜市立汲沢小学校6年	感想文 10名
26年 9月19日～27年9月29日	神奈川県立横浜清陵総合高等学校1年	感想文 11名
26年 9月19日～27年9月29日	神奈川県立大磯高等学校1年	感想文 11名
26年 12月19日～27年12月 1日	神奈川県立横浜翠嵐高等学校1年	感想文 2名

(6) ミュージアムライブラリー

県民の学習活動を支援する場として、1階フリーゾーンにミュージアムライブラリーを設置している。図書、映像、情報システム(デジタルミュージアム)などがあり、展示を中心とした神奈川の歴史や文化について学ぶことが出来る。

職員が1名以上常駐し、質問等を受け付けるなど、生涯学習の場として広く利用されるように運営している(図書、映像、情報システムの内容についてはそれぞれの項目に記載)。平成26年度の利用者総数は8,002名、フリーゾーンを含めた入館者に対する比率は5.6%である。

ア 閲覧用座席数：14席、映像ブース：3ヶ所7名分、来館者用情報システム端末：3台

イ 利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
小学生	34	39	73	39	37	12	14	44	10	40	34	31	407
中学生	2	168	13	60	18	9	0	8	31	16	11	13	349
高校生	10	4	17	22	16	5	16	4	0	0	3	5	102
大学生	5	68	7	15	27	4	9	12	13	4	4	5	173
一般成人	268	420	368	354	428	369	421	512	350	361	440	520	4,811
65歳以上	133	184	164	152	158	165	215	224	119	148	229	265	2,156
生徒引率	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	4
合計	452	883	642	643	686	564	675	804	523	569	722	839	8,002
開館日数	27	28	24	28	27	23	28	27	23	23	24	26	308
1日平均	16.7	31.5	26.8	23.0	25.4	24.5	24.1	29.8	22.7	24.7	30.1	32.3	26.0

ウ 利用形態

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	
映像利用	0	0	0	1	0	7	2	3	2	0	1	3	19	
情報システム	22	61	72	27	24	15	13	20	24	17	20	31	346	
図書閲覧	211	378	308	315	327	373	353	336	236	328	299	355	3,719	
各種照会	6	18	18	19	18	20	17	12	16	51	81	51	327	
コピー・サービス	(件数)	15	22	34	33	37	28	33	28	15	18	30	27	320
	(枚数)	197	352	277	281	456	256	183	270	190	152	341	283	3,238

写真資料の特別利用手続き、ポスター掲出・チラシ配架依頼、周辺施設の所在地に関する照会などへの対応

(7) 普及印刷物

ア 図録

- ・特別展図録「白絵 - 祈りと寿ぎのかたち - 」
平成 26 年 10 月 11 日発行
- ・特別展図録「陸にあがった海軍 - 連合艦隊司令部日吉地下壕からみた太平洋戦争 - 」
平成 27 年 2 月 11 日発行

イ 広報印刷物

- ・「明治大学 クリスチャン・ポラック コレクション「繭と鋼」 神奈川とフランスの交流史 」ハガキ (平成 26 年 6 月 7 日～22 日配布)
- ・「よみがえる東京オリンピック」ポスター・チラシ
- ・「白絵 - 祈りと寿ぎのかたち - 」ポスター・チラシ
- ・「陸にあがった海軍 連合艦隊司令部日吉地下壕からみた太平洋戦争 」ポスター・チラシ
- ・神奈川県立歴史博物館および県庁本庁舎建物案内リーフレット (英語版)
- ・「開館記念日」チラシ
- ・「催し物のご案内 (平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)」

ウ 神奈川県立歴史博物館だより

- 『神奈川県立歴史博物館だより』VOL.20 No.1 通巻 196 号 平成 26 年 6 月 20 日 (2,000 部)
- 『神奈川県立歴史博物館だより』VOL.20 No.2 通巻 197 号 平成 26 年 9 月 1 日 (2,000 部)
- 『神奈川県立歴史博物館だより』VOL.20 No.3 通巻 198 号 平成 26 年 12 月 3 日 (2,000 部)

(8) ボランティアの活動

平成 9 年度から登録を行った博物館ボランティアは、平成 24 年度中の入門講座及び面接の結果、新たに 21 名の登録を行い、登録更新者 88 名を含めて 109 名となった。その内訳は、展示解説ボランティアが 97 名、情報処理ボランティアが 2 名(行事補助との兼任)、行事補助ボランティアが 12 名である。

また平成 14 年度から活動期間を 5 年間とし、なお平成 26 年 3 月 31 日での任期満了者(活動期間 5 年間)は 12 名である。

ア 活動状況及び実績

展示解説ボランティアは、常設展展示解説のほか、特別展開催中には 1 日 2 回の定時解説(11 時、15 時)を行っている。

情報処理ボランティアは、所蔵資料のフィルムデータから電子データへの画像入力作業を行っている。

行事補助ボランティアは、子ども向け行事の指導補助をはじめ、受付や案内など、学習支援事業の補を行っている。

また、ボランティア会は、幹事会(各曜日ごとの班から 2 名選出)を組織し、月 1 回、館側の担当者

と様々な調整や、情報の交換を行なっている。さらに、『ボランティアニュース』を年3回、編集・発行している。

(ア) 活動日数及び人数

月	活動日数(日)	活動人数(人)
4	27	290
5	28	316
6	24	348
7	28	346
8	27	354
9	23	342
10	28	366
11	27	337
12	18	237
1	23	295
2	24	270
3	26	318
合計	303	3,909

(イ) 年代別・男女別人数等

年代	男	女	計
20	0	2	2
30	1	2	3
40	0	9	9
50	1	17	18
60	40	28	68
70	7	2	9
合計	49	60	109
平均年齢	66.8	57.7	62.3

(ウ) 曜日別ボランティア数(展示解説ボランティアのみ)

ボラン

火曜班：16名、水曜班：16名、木曜班：17名、金曜班：15名、土曜班：17名、日曜班：16名

(I) 情報処理ボランティア 2名(行事補助ボランティアと兼務)

(オ) 行事補助ボランティア 12名

(カ) 画像入力実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	43	45	41	45	46	45	30	33	0	35	0	36	399

イ 博物館入門講座(応募者140名・受講者第1日目75名、第2日目75名)

普段見ることのできない博物館の様々な活動や学芸員の仕事について紹介するとともに、当館の展示についても学ぶ。当講座の受講が当館ボランティア応募の条件となる。

・第1回 1月17日(土) 10:00~15:30

講義名：当館の概要・博物館活動と学芸員の仕事・館内見学

・第2回 1月24日(土)10:00~15:30

講義名：「学芸員の目」(1)(2)・ワークショップ「学芸員の目を学ぶ」・「学芸員の技」

ウ 専門研修

展示解説に必要な当館の常設展示に関する知識や、資料の保存、教育普及活動について、その内容を知ってもらうために実施する。なお実地研修として、現役のボランティアとともに解説の演習を行う。

・日 時：平成26年4月5・12・19日、5月10・17・24・31(日) 10:00～15:00

エ その他の研修

(7) 特別展研修

特別展の展示解説に資する研修として、解説に必要な図録や資料を配布するとともに、展示された資料について、担当学芸員から解説の実地研修を行った。

(1) フォローアップ研修

常設展示解説のフォローアップとして、個々のテーマで研修講座を実施した。

実施日	テ - マ
7月20日(日)・ 22日(火)	特別陳列「よみがえる東京オリンピック」及びコレクション展示「庶民の祈り」に関する勉強会
11月8日(土)	博物館における「複製」資料 その意義と製作過程
12月6日(土)	かながわの遺跡展「発掘された御仏と仏具」に関する勉強会
12月9日(火)	

(9) 博物館実習生の受け入れ

「神奈川県立歴史博物館 博物館実習生受け入れ要領」に基づき、見学実習と実務実習を受け入れた。

ア 見学実習

当館の概要(歴史・施設・組織・展示や事業概要など)について説明した後、展示室、バックヤード等の見学を行う。

受入数 11大学 232名

受入校(来館日・大学名・人数)

来館日	大学名	人数
平成26年6月1日	神奈川大学	16名
平成26年6月22日	大正大学	12名
平成26年6月28日	成城大学	20名
平成26年7月19日	宮城学院女子大学	18名
平成26年7月26日	法政大学	11名
平成26年8月7日	日本女子大学	20名
平成26年9月9日	法政大学	34名
平成26年9月10日	龍谷大学	57名
平成26年11月2日	京都造形芸術大学	7名
平成26年11月15日	日本大学	15名
平成26年12月14日	目白大学	15名
平成27年2月4日	鶴見大学	7名

イ 実務実習

前期3日間と後期4日間にわたって行なう。前期は企画情報部が担当し、受講者全体で博物館運営に関わる業務及び教育普及事業などについて学ぶ。後期は学芸部の各分野に分かれ、資料の取り扱いや整理の方法などについて学ぶ。

受入数 26 大学、34 名

受入校(大学名・受入人数)

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
文教大学	1名	青山学院大学	2名	日本女子大学	2名
清泉女子大学	2名	日本大学	2名	実践女子大学	1名
駒澤大学	2名	帝京大学	1名	桜美林大学	1名
神奈川大学	2名	立正大学	1名	法政大学	1名
筑波大学	1名	関東学院大学	2名	大正大学	1名
昭和女子大学	2名	東海大学	1名	武蔵大学	1名
鎌倉女子大学	1名	学習院大学	1名	多摩美術大学	1名
大妻女子大学	1名	専修大学	1名		
京都造形芸術大学	1名	成城大学	2名		

(7) 実務実習(前期実習) 実施日順 担当：企画情報部(全員参加、日程、内容)

a 1日目：5月28日(水) 10:00～17:00

- ・前期実習のガイダンス
- ・当館の概要について(施設の概要、当館の活動について)
- ・教育普及活動の実践 (全体説明)
- ・教育普及活動の概要(当館の教育普及事業、学校連携事業、子ども向け事業)
- ・館内見学(常設展示室)
- ・館内見学(バックヤード、収蔵庫周辺、設備・防災・防犯関係、屋上ドームなど)
- ・広報活動について(博物館における広報、広報担当の役割、広報活動の現状)

b 2日目：5月29日(木) 10:00～17:00

- ・当館のボランティア活動について(沿革、現在の活動)
- ・博物館と図書資料について(収集方針、所蔵資料、書庫・ミュージアムライブラリー見学)
- ・博物館情報システムについて(収蔵品管理システム、デジタル・ミュージアム、セキュリティ、情報バリアフリー)
- ・博物館と写真資料について(博物館における写真とは、撮影対象について、撮影後のこと)
- ・写場、情報システム見学
- ・資料の保存・IPMについて

c 3日目：5月30日(金) 10:00～17:00

- ・教育普及活動の実践 (文化の日のイベント企画、作業)
- ・教育普及活動の実践 (発表、講評)

(1) 実務実習(後期実習) 実施日順 担当：学芸部(実習分野・グループ別参加者数、日程、内容)

a 近現代 11名、6月17日(火)～20日(金) 10:00～17:00

- ・現代資料の整理と保管(整理と保管の方法)
- ・現代資料の展示(キャプション・パネルの製作)
- ・保存環境整備の実際(温湿度自記記録紙の交換/害虫駆除の実践)
- ・近代歴史資料の調査(資料調書の作成)

b 考古 4名、6月24日(火)～27日(金) 10:00～17:00

- ・考古部門で収蔵している資料の概要説明
 - ・資料の取り扱い・梱包
 - ・寄贈コレクションの整理
 - ・考古資料の展示方法
 - ・考古資料の記録
 - ・常設展示パネルの修正案検討・作成・設置
- c 民俗4名、9月2日(火)~5日(金) 10:00~17:00、2日目 11:00~18:00
- ・シェイクアウト(避難訓練)
 - ・コレクション展の撤収作業、梱包材の作成
 - ・衣装資料の取り扱い
 - ・館内巡回
 - ・季節展示の作成
 - ・資料の整理
- d 中世9名、10月21日(火)~24日(金) 10:00~17:00
- ・歴史資料の取り扱い(中世古文書の形態と分類、中世古文書の保存及び取り扱い 掛幅・卷子、書跡・典籍の取り扱い 点検・梱包、資料の点検と調書の作成)
 - ・歴史資料の取り扱い(中世古文書の保存及び取り扱い、展示見学と巡回)
 - ・美術資料の取り扱い(特別展示見学、絵画作品 掛幅・絵巻 の鑑賞と取り扱い 点検・梱包、絵画資料の展示と保管環境について、博物館の環境管理について)
 - ・美術資料の取り扱い(工芸作品の鑑賞と取り扱い 点検・梱包、梱包材の作成、彫刻作品の取り扱い 点検・梱包)
- e 近世6名、10月28日(火)~31日(金) 10:00~17:00
- ・版画資料整理
 - ・調書の取り方
 - ・美術資料の扱い方
 - ・近世文書の取り扱い

6 資料

(1) 条例・規則

ア 神奈川県立の博物館条例

〔昭和41年10月7日
条例第43号〕

最終改正 平成21年3月27日条例第25号

(趣旨)

第1条 この条例は、神奈川県立の博物館の設置、管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき、次のとおり神奈川県立の博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

名 称	位 置	目 的
神奈川県立歴史博物館	横浜市中区南仲通5丁目60番地	神奈川の文化及び歴史に関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援すること。
神奈川県立生命の星・地球博物館	小田原市入生田499番地	地球及び生命の営みに関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援すること。

(職員)

第3条 博物館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(観覧料の納付)

第4条 博物館に展示している博物館資料を観覧しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納めなければならない。ただし、公開の施設に展示している博物館資料の観覧については、この限りでない。

2 前項本文の規定にかかわらず、特別な企画の展覧会を開催する場合の観覧料は、神奈川県教育委員会(以下「教育委員会」という。)がその都度定めることができる。

3 前2項の観覧料は、前納とする。

(観覧料の減免)

第5条 前条第1項本文及び第2項の規定にかかわらず、教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者については、観覧料を減免することができる。

(1) 教育委員会が開催する行事に参加する者

(2) 教育課程に基づく教育活動として入館する高校生(学校教育法(昭和22年法律第26号。別表備考において「法」という。)第1条に規定する高等学校及び中等教育学校の後期課程並びにこれらに準ずる教育施設に在学する者をいう。別表において同じ。)並びに児童及び生徒の引率者

(3) その他教育委員会が適当と認めた者

(観覧料の不還付)

第6条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が災害その他特別の事情により還付するのを適当と認めたときは、この限りでない。

(資料の特別利用)

第7条 博物館資料を学術上の研究のため特に利用しようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

(利用の制限)

第8条 教育委員会は、博物館の利用者が次の各号のいずれかに該当する場合には、その利用を制限することができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 他の利用者に著しく迷惑をかけるおそれがあると認めるとき。

(3) 施設、博物館資料等を損傷するおそれがあると認めるとき。

(4) その他教育委員会が必要と認めるとき。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理等に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して6月をこえない範囲内で教育委員会規則で定める日から施行する。(昭和41年11月18日教育委員会規則第8号で、同41年11月21日から施行。ただし、第4条から第9条までの規定の施行期日にあつては昭和42年3月22日とし、第10条の規定の施行期日にあつては昭和42年4月1日とする。)(略)

附 則(平成21年3月27日条例第25号)

この条例は、平成21年7月1日から施行する。

別表(第4条関係)(抄)

区 分		個 人		20人以上の団体	
神奈川県立歴史博物館	20歳以上65歳未満の者 (学生及び高校生を除く。)	1人につき	300円	1人につき	250円
	20歳未満の者(高校生を除く。)	同	200円	同	150円
	学生(65歳以上の者を除く。)	同	200円	同	150円
	65歳以上の者 高 校 生	同	100円	同	100円

備考 1 学生とは、法第1条に規定する大学及び高等専門学校、法第124条に規定する専修学校並びに法第134条第1項に規定する各種学校に在学する者をいう。

2 学齢に達しない者、並びに法第1条に規定する小学校、中学校、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校並びにこれらに準ずる教育施設に在学する者は、無料とする。

イ 神奈川県立の博物館組織規則

昭和41年11月18日
教育委員会規則第10号

最終改正 平成18年3月31日教育委員会規則第13号

(趣旨)

第1条 この規則は、神奈川県立の博物館の組織に関し必要な事項を定めるものとする。

(部等の設置)

第2条 神奈川県立の博物館に、次の部及び課を置く。

管理課

企画情報部

企画普及課

情報資料課

学芸部

(管理課の事務)

第3条 管理課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 公印に関すること。
- (2) 文書の收受、発送、保存、閲覧等に関すること。
- (3) 個人情報の開示、訂正、利用停止等に関すること。
- (4) 人事に関すること。
- (5) 財産の管理及び館内の秩序の維持に関すること。
- (6) 予算の経理に関すること。
- (7) 観覧料の徴収に関すること。
- (8) 物品の調達及び処分に関すること。
- (9) 寄贈品の受納並びに寄託品の受納及び返納に関すること。
- (10) その他他部課の主管に属しないこと。

第4条 削除

(企画普及課の事務)

第5条 企画普及課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 博物館活動の企画及び調整に関すること。
- (2) 博物館活動の普及及び広報に関すること。
- (3) 博物館活動に関する講演会、講習会、研究会等の開催に関すること。

(4) 他の博物館その他教育、学術又は文化に関する施設、団体等との連絡、協力及び情報の交換に関すること。
(情報資料課の事務)

第6条 神奈川県立歴史博物館の情報資料課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 人文科学等に関する図書等の収集、整理、保管及び閲覧に関すること。
- (2) 博物館情報システムの運用に関すること。

2 神奈川県立生命の星・地球博物館の情報資料課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 自然科学等に関する図書等の収集、整理、保管及び閲覧に関すること。
- (2) 博物館情報システムの総合的企画及び調整並びに運用に関すること。

(学芸部の事務)

第7条 学芸部においては、次の事務を分掌する。

- (1) 博物館資料の収集、製作、整理、保管、展示、解説及び指導に関すること。
- (2) 博物館資料の専門的及び技術的な調査研究に関すること。

(委任)

第8条 この規則の施行に関し必要な事項は、神奈川県教育委員会教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和41年11月21日から施行する。

(略)

附 則(平成18年3月31日教育委員会規則第13号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

ウ 神奈川県立の博物館の利用等に関する規則

〔 昭和41年11月18日
教育委員会規則第9号 〕

最終改正 平成12年12月15日教育委員会規則第25号

(趣旨)

第1条 この規則は、神奈川県立の博物館の利用等に関し必要な事項を定めるものとする。

(権限の委任)

第2条 次に掲げる神奈川県教育委員会の権限は、神奈川県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)に委任する。

- (1) 神奈川県立の博物館条例(昭和41年神奈川県条例第43号。以下「条例」という。)第4条第2項の規定により観覧料を定めること。
- (2) 条例第5条の規定により観覧料を減免すること。
- (3) 条例第6条ただし書の規定により観覧料の還付を認めること。
- (4) 条例第7条の規定により利用を承認すること。
- (5) 条例第8条の規定により利用を制限すること。

(休館日等)

第3条 神奈川県立歴史博物館及び神奈川県立生命の星・地球博物館(以下「博物館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「国民の祝日等」という。)に当たるときを除く。)
- (2) 国民の祝日等の翌日(土曜日、日曜日又は国民の祝日等に当たるときを除く。)
- (3) 12月28日から翌年の1月4日まで
- (4) その他教育長が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育長は、必要があると認めるときは、臨時に博物館を開館することができる。

(開館時間等)

第4条 開館時間は、次のとおりとする。

名 称	開 館 時 間
神奈川県立歴史博物館	午前9時30分から午後5時まで。ただし、午後4時30分以降は、入館することができない。
神奈川県立生命の星・地球博物館	午前9時から午後4時30分まで。ただし、午後4時以降は、入館することができない。

2 前項の規定にかかわらず、教育長は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(観覧券の交付)

第5条 教育長は、博物館に展示している博物館資料を観覧するため、条例第4条の規定により観覧料を納めた者に観覧券を交付するものとする。

(観覧料の減免申請)

第6条 観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書を教育長に提出し、観覧料減免承認書の交付を受けなければならない。

(観覧料の還付申請)

第7条 観覧料の還付を受けようとする者は、観覧料還付申請書に観覧券を添えて教育長に提出し、観覧料還付承認書の交付を受けなければならない。

(資料の特別利用)

第8条 条例第7条の規定により博物館資料の特別利用の承認を受けようとする者は、特別利用承認申請書を教育長に提出し、特別利用承認書の交付を受けなければならない。

(利用の方法)

第9条 博物館を利用する者は、博物館の管理上必要な事項を守り、職員の指示に従わなければならない。

(資料の館外貸出し)

第10条 次に掲げるものは、教育長の承認を受けて博物館資料の館外貸出しを受けることができる。

- (1) 国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により文部科学大臣の指定した博物館に相当する施設
- (2) 社会教育法(昭和24年法律第207号)第21条に規定する公民館
- (3) 国立の図書館及び図書館法(昭和25年法律第118号)第2条第1項に規定する図書館
- (4) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校
- (5) その他教育長が適当と認めるもの

2 前項の規定による承認を受けようとするものは、館外貸出承認申請書を教育長に提出し、館外貸出承認書の交付を受けなければならない。

(館外貸出しの期間)

第11条 博物館資料の館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、教育長は、特に必要があると認めるときは、これを延長することができる。

2 前項の館外貸出しの期間は、博物館が当該博物館資料を引き渡した日から起算してその返還を受ける日までの日数により算定するものとする。

3 教育長は、館務の都合により必要があるときは、博物館資料の館外貸出しの期間中であつても、当該博物館資料の返還を求めることができる。

(館外貸出しをした資料の利用方法)

第12条 博物館資料の館外貸出しを受けたものは、当該博物館資料を、承認を受けた利用の目的又は場所以外の目的又は場所で、利用してはならない。

(資料滅失等の届出)

第13条 博物館資料の館外貸出しを受けたものは、当該博物館資料を滅失し、又は損傷したときは、直ちに資料滅失(損傷)届出書を教育長に提出しなければならない。

(寄託を受けた資料の利用の制限)

第14条 寄託を受けた博物館資料の館外展示及び館外貸出しは、寄託者の承諾がある場合のほかは、行なうことができない。

(委任)

第15条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和41年11月21日から施行する。ただし、第2条から第9条までの規定は、昭和42年3月22日から施行する。

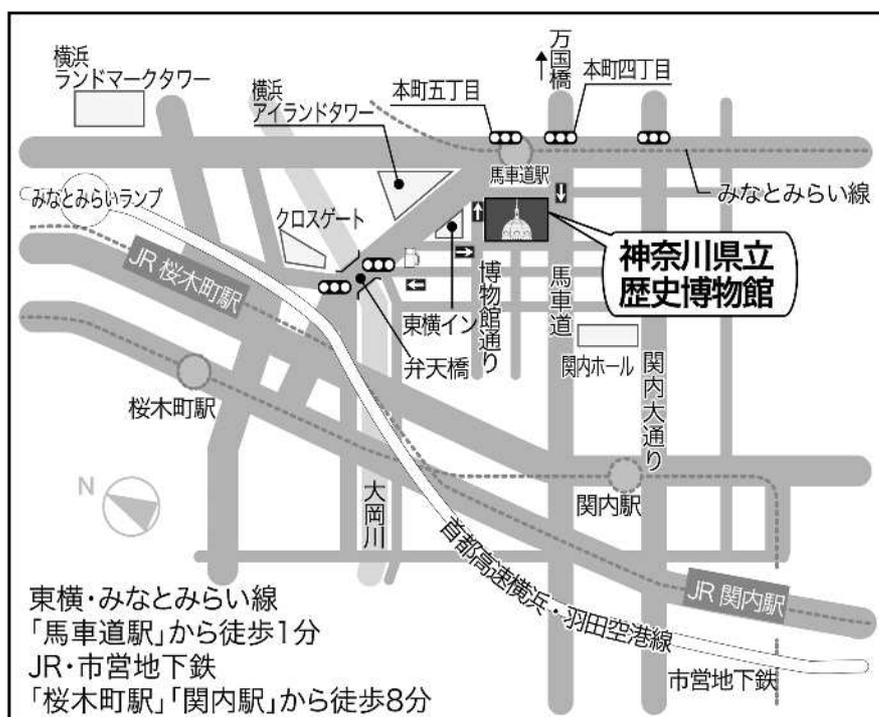
(略)

附 則(平成12年12月15日教育委員会規則第25号)

この規則は、平成13年1月6日から施行する。

(2) 利用案内

- 1 名称 : 神奈川県立歴史博物館 (Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History)
- 2 所在地 : 横浜市中区南仲通 5-60 〒231-0006
- 3 電話 : 045-201-0926(代表)
- 4 F A X : 045-201-7364
- 5 ホームページ : <http://ch.kanagawa-museum.jp/>
- 6 交通 : 東横・みなとみらい線「馬車道」駅5番出口より徒歩1分、
JR 京浜東北・根岸線、横浜市営地下鉄ブルーライン「桜木町」駅または「関内」駅より
徒歩8分
- 7 休館日 : 月曜日(ただし、祝日の場合は開館)、資料整理休館日、年末年始
- 8 観覧料 : 常設展
 - ・20歳以上(学生を除く) : 300円(250円) ()内は20名以上の団体
 - ・20歳未満及び学生 : 200円(150円)
 - ・高校生及び65歳以上 : 100円(100円)
 - ・中学生以下及び障がい者手帳をお持ちの方は無料特別展
 - ・常設展とは別料金となり、金額は展示ごとに別途定める。コレクション展
 - ・無料
- 9 団体見学 : 事前にご連絡ください。
- 10 地図



神奈川県立歴史博物館年報 平成 26 年度

2016 年 3 月 20 日

編集・発行 〒231-0006

横浜市中区南仲通 5-60

神奈川県立歴史博物館

本書の無断転載を禁ず

ISSN 1346-6127

Kanagawa Kenritsu Rekishi Hakubutsu-kan

Nen-po

Annual Report of the Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

(2014.4 ~ 2015.3)

Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

Naka-ku, Yokohama, Kanagawa, JAPAN

2015